
ズ × run for money 逃走中-エピソード1 ハンター誕生&エピソード2 狙われたハンター-

横浜学園都市部

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

プリキュアオールスターズxrun for money 逃走中・エピソード1 ハンター誕生&エピソード2 狙われたハンター -

【Nコード】

N2056T

【作者名】

横浜学園都市部

【あらすじ】

ゲームマスター月村サトシの手によって作られた実際の逃走中の逃走劇を、プリキュアオールスターズが完全再現。

記念すべき1弾の舞台は逃走中のために用意された、巨大なショッピングモールで構成された「エリア01」。そして、賑やかな「江戸の町」の2本立て。

果たして伝説の戦士・プリキュアは、謎に包まれたハンターの追跡を掻い潜り逃げ切れるのか!?

そして、ゲームマスター・月村も予期せぬ事態がゲーム内で展開される。

禁断の扉が、今開かれる。

序章・具体的な注意点（前書き）

先ずは注意点からスタートです。駄文なのでご注意下さい。

序章：具体的な注意点

ここでは、ゲームマスター月村サトシの手によって作られた実際の逃走中の逃走劇を、プリキュアオールスターズで再現するパロディシリーズの本編を始めるにあたり、作品を知らない人でも楽しめるように、注意点を紹介します。（この注意は次回作以降共通です）

注意1：実際の逃走中に参加した有名人を、プリキュアオールスターズ置き換えます（誰が何を担当するかは、配役で説明します。なるべくキャラは原作に忠実にしようと務めますが、やるやつ次第では半壊していますのでご注意ください）。配役の詳細は確保された順番で、確保した回の後書きで説明します。

注意2：この作品の時系列は、2011年4月10日に放送された「エピソード1 ハンター誕生」のステージから開始されます。ネタバレを含みますので、実際に放送を見てなかったり、キャラクターの設定に納得がいかないと思う人は、見ない方が良いと思います。

注意3：番組のドラマパートの人物は置き換えません（サブキャラなんか知りません状態なのと、余り他の作品に関与したくないのが理由です。）

注意4：プリキュア達は、全員変身前の名前のままですが、格好は変身後です。但し装備品の効果で本来の力は有りません（頭のリボンやその類いを尊重し、ヘッドギアとハーフグローブは使いません）。

注意5：一緒に居る筈のスタッフ（謂わば話し掛ける相手）は、それぞれのパートナーの妖精達が担当します。（但し、一部相棒不在

を理由に別の妖精と組んだりします)

注意6：携帯電話型アイテムで変身するプリキュア（キュアモ又はリンクルン所持者のみ）は、アイテム自体そのままモバイルとして機能します。

注意7：再現にあたり、かなり奇妙なカップリングが見れます。また、キャラは毎回関係が異なります。

注意8：くどいかもかもしれませんが、これは自己満足同然の作品ですので、文句や抗議のコメントの入力や作品の不满がある人は見ない方がいいでしょう。

注意9：次回からのプロフィールは、全てのシリーズを知らない人向けに詳しく説明いたします。

以上を踏まえた上で楽しんでください。

序章・具体的な注意点（後書き）

さらに詳しい事や、裏話は活動報告をご覧ください。

次回から6回に分けてプロフィールに突入です。

番外編1：逃走者紹介（ふたりはプリキュアMax Heart編）（前書き）

プロフィール編のスタートです。

第一回は「ふたりはプリキュアMax Heart」です。

番外編1：逃走者紹介（ふたりはプリキュアMax Heart編）

美墨なぎさ（キュアブラック）

ベローネ学院女子中等部3年生で、ピンクチーム所属。

ハートフルコミュニケーションに成ったメッブルのハートセンサーに手を通した後、ほのかと手を繋ぐ事でキュアブラックに変身する。

ラクロス部のキャプテンを務めていることもありスポーツ万能。仲間への想いと正義感が強く、足が速く指令にも積極的。

欠点は無鉄砲故に行動が裏目に出て、それがマイナスイメージに成ること。

本作でもその正義感と行動が健在で、特に同じチームにいる響（メロディ）には自分のためにやってくれたあることが切っ掛けになんとか助けようと頑張ります。

CV：本名陽子

雪城ほのか（キュアホワイト）

ベローネ学院女子中等部3年生で、ブルーチーム所属。

ハートフルコミュニケーションに成ったミッブルのハートセンサーに手を通した後、なぎさと手を繋ぐ事でキュアホワイトに変身する。

周囲から「蘊蓄女王」と渾名あだなされる程の博学で、物腰は柔らかく礼儀正しいが、行いが間違っているのを黙っていられない芯の強さと毅然とした態度を持つ。

淑やかな第一印象とは裏腹に、好奇心旺盛且つ結構足が速い行動派でもある。

本作でもその行動力によってなぎさ（ブラック）のみならず、意外な人物を助けます。

CV：ゆかな

九条ひかり（シャイニールミナス）

ベローネ学院女子中等部1年生で、イエローチーム所属。

タッチコミュニケーションに成ったポルンの力で、シャイニールミナスに変身する。優しく謙虚で引つ込み思案だが、大人しい外見とは裏腹に芯が強い。元々はクイーン（CV：松谷彼哉）の「生命」であったが、ドックゾーンとの最終決戦後、全ての生み出す力によって、クイーンの「生命」とは別の存在として蘇生された。

初志貫徹の精神故に、指令にはかなり積極的で、全てを挑む意思を持っている。その為、本作は最初の動くこうとしたが……。

CV：田中理恵

メップル

なぎさ（ブラック）の相棒で、プリズムストーンを守る使命を帯びて光の園からやって来た「選ばれし勇者」。

性格はミップル曰く「我儘で大食い寝てばかり」。

CV：関智一

ミップル

ほのか（ホワイト）の相棒で、プリズムストーンを守る使命を帯びて光の園からやって来た「希望の姫君」。

確り者で母性的な一面を持つ。

CV：矢島晶子

ポルン

ひかり（ルミナス）の相棒で、無印時代に7つのプリズムストーンが集まったときに光の園からやってきた「未来へ導く光の王子」。

当初の性格や思考は幼稚で我儘だったが、ルルン登場後は振り回されつつも、兄として奮闘している。

CV：池澤春菜

ルルン

ひかり（ルミナス）のもう一人のパートナー妖精にして「未来を紡ぐ光の女王」。

おっとりしていて泣き虫で、当初はポルン不在だと泣き出すこともあった（光の園にいた頃から、妹のように離れようとせず、離ればなれになるのが嫌みたい）。

本シリーズでは、相棒不在のくるみ（ローズ）の臨時パートナーになる。

CV：谷井あすか

番外編 1：逃走者紹介（ふたりはプリキュアMax Heart編）（後書き）

今回は「ふたりはプリキュア Splash Star」の面々の紹介です。

番外編 2 : 逃走者紹介 (ふたりはプリキュア Splash Star 編) (前書)

今回は「ふたりはプリキュア Splash Star」組です。

番外編2：逃走者紹介（ふたりはプリキュア Splash Star 編）

日向咲（キュアブルーム・キュアブライト）

夕凧中学校2年生で、ピンクチーム所属。

クリスタルコミュニケーションになったフラツピの先端にあるフェアリー・ドロップを回した後、舞と手を繋ぐ事でキュアブルーム及びキュアブライトに変身する（基本的に衣装はブルーム）。

ソフトボール部の投手を務めているムードメーカー的な性格で、その明るさから人と人とのパイプ役を無意識に務めることもしばしば。運の悪さが如実に出るのが玉に瑕だが、ソフトボールで鍛えられた瞬発力を武器に逃げきりを狙う。

CV：樹元オリエ

美翔舞（キュアイーグレット・キュアウィンディ）

夕凧中学校2年生で、ブルーチーム所属。

クリスタルコミュニケーションになったチョップの先端にあるフェアリー・ドロップを回した後、咲と手を繋ぐ事でキュアイーグレット及びキュアウィンディに変身する（基本的に衣装はイーグレット）。

美術部に所属し、絵を描くのが大好き。感動した物事に集中すると名前を呼ばれても気づかないことが多いが、感性豊かでその美意識は高い上に、勘も鋭く心情を察して仲間を励ます。

底無しの持久力を武器に逃げきりを狙うが、本作ではのぞみ（ドリム）に振り回されます。

CV：榎本温子

フラツピ

咲専属のパートナー妖精で、泉の郷からやってきた「花の精霊」。

少々ワガママなところもあるが元氣一杯な性格で、活発なところなどは相棒の咲と似ているところがある。

CV：山口勝平

チヨツピ

舞専属のパートナー妖精で、泉の郷からやってきた「鳥の精霊」。悩みを自分の中だけで溜め込んでしまう性格なのが偶にきず。

CV：松来未祐

ムーブ

泉の郷にある空の泉からやってきた月の精。人魂のような姿をしていて、身体は薄い緑色。尻尾と小さな手がついており、空中を浮遊して移動する。フラッピやチヨツピに比べると若干性格は子供のようである。咲がキュアブライトに変身するとき力を与える

本シリーズでは、相棒不在のかれん（アクア）の相棒として登場します。

CV：淵崎ゆり子

フープ

泉の郷にある空の泉からやってきた風の精。ムーブと似た姿をしており、身体は薄いピンク色。舞がキュアウィンディに変身するとき力を与える。

本シリーズでは、相棒不在の祈里（パイン）の相棒として登場します。

CV：岡村明美

番外編 2 : 逃走者紹介 (ふたりはプリキュア Splash Star 編) (後書)

次回は「Yes!プリキュア5 GOGO!」編です。

番外編3：逃走者紹介（Yes！プリキュア5GoGo！編）（前書き）

第3回は「Yes！プリキュア5GoGo！」の面々です。

本作では、くるみは基より、のぞみやうららまでも余り印象の良くないキャラとして描かれるかも知れませんが、ファンの皆さん御免なさい。

番外編3：逃走者紹介（Yes！プリキュア5GoGo！編）

夢原のぞみ（キュアドリーム）

サンクルミエール学園2年生で、ピンクチーム所属。

キュアモのコマンドを、左・右・中央の順にボタンを押して、溢れ出た光を通じてキュアドリームに変身する。

やや天然ボケでドジだが自分より人の為に一生懸命になれる喜怒哀楽に富んでいて活発である。精神が非常に強く、何事にもめげずに前進する前向きな性格で誰とでも仲良くなれる。それはいわば天性の才ともいえ、敵対する相手の冷たい心さえも氷解させる魅力にもなる。

元々体力が皆無に等しいが、行動力はピカイチでもある。但し、天然で感情の赴くままのマイペース振りを発揮してしまい、トラブルメーカーの一人に・・・。

CV：三瓶由布子

夏木りん（キュアルージュ）

サンクルミエール学園2年生で、イエローチーム所属。

キュアモのコマンドを、左・右・中央の順にボタンを押して、溢れ出た光を通じてキュアルージュに変身する。

ボーイッシュで男勝り。家業や幼い弟妹の世話を手伝うしつかりした性格だが、美形に弱く惚れっぽかったり、暗所や幽霊、怪談を怖がるといった可愛らしい面も。家事をよく手伝うためか料理は5人の中で一番上手く、幼少からの親友であるのぞみに教えたこともある。実家が花屋の為、花に詳しく生けるのも得意。

運動部から助っ人を求められるほどスポーツ万能（本人は一応フットサル部所属）。

リリカルショーバイさんの作品「プリキュアオールスターズ×逃走中」水面に眠る海神わたつみ」において、オールスターズでは唯一の逃走

成功を経験している。

本作では、狙われたハンター編から参戦します。

CV：竹内順子

春日野うらら（キュアレモネード）

サンクルミエール学園1年生で、イエローチーム所属。

キュアモのコマンドを、左・右・中央の順にボタンを押して、溢れ出た光を通じてキュアレモネードに変身する。

基本的に明るくはきはきした性格。プリキュア5のメンバーでは最年少だが、学校に通いながら新人アイドルとして早くから社会に出ているため、時折非常に大人びた思考を覗かせる。また私生活でも年上の人物に囲まれているためか、普段から敬語で話すことが多い。積極的であるが、運があまり無い上に、天然が出てトラブルメーカーの一人に・・・。

CV：伊瀬茉莉也

秋元こまち（キュアミント）

サンクルミエール学園3年生で、ブルーチーム所属。

キュアモのコマンドを、左・右・中央の順にボタンを押して、溢れ出た光を通じてキュアミントに変身する。

図書委員の仕事で校内の図書館にすることが多く、読書が趣味。普段は温厚だが怒らせると恐ろしく、大切なものを守るために悪にどつしり構える芯の強さも併せ持つ。また5人の中で一番度胸が据わっている一方で、感覚がズレており、真顔で突拍子もない言動をすることもあり、他者に理解され難い行動をとることもしばしば。

肝っ玉が大きく、（恐らくカチューシャ繋がり）美希（ベリー）と連絡する事が多い。

CV：永野愛

水無月かれん（キュアアクア）

サンクルミエール学園3年生で、ブルーチーム所属。

キュアモのコマンドを、左・右・中央の順にボタンを押して、溢れ出た光を通じてキュアアクアに変身する。

生徒会長を務めており、才色兼備で周囲の憧れの的。意志が強いため表情にはあまり出ないが、根は感情的になりやすく短気、仲間を思いやる気持ちは人一倍強い。また、責任感、使命感の強さも併せ持つが、一方でそれが災いして失敗することも多い。

かなり行動的だが、指令には結構消極的。

CV：前田愛

美々野くるみ（ミルクイローズ）

サンクルミエール学園2年生で、イエローチーム所属。

ミルクイパレットを取り出してタッチペンでボタンを押すことで、ミルクイローズに変身する。

ココとナッツのお世話役であったミルクが、青い薔薇の力で人間の少女に変身した姿。

多種多芸で、5組の得意分野においてもそれぞれに匹敵する才能を見せ付けているが、多少ドジを踏むこともある。常識的な観点からメンバーの非常識な行動に対し鋭く毒突いたり、自身の容姿に自信を持っているような発言をすることも見られる。

ハンターにビビりまくりで、指令には結構消極的。

CV：仙台エリ

ココ

パルミエ王国からやってきた、次期王位継承者候補。

基本的に明るく実直ではあるが、時折羽目を外すこともあり、どこか飄々としたところのある懐の深い性格。一方で無計画であったり、自分のことを後回しで考える傾向もあるのが欠点。

本シリーズでは、深い信頼関係を築いてたのぞみ（ドリーム）のパートナーとして登場します。

CV：草尾毅

ナッツ

パルミエ王国からやってきた、次期王位継承者候補。

基本的に気難しくて歯に衣着せぬ辛辣な物言いが多いが、それは何事にも真摯に向き合う性格ゆえであり、貸し借りもあまり作りたがらない。王国一の読み手で、アイテムの製作も担当している。

本シリーズでは、深い信頼関係を築いてたこまち（ミント）のパートナーとして登場します。

CV：入野自由

シロップ

キュアローズガーデンで生まれ育つペンギンのような生き物で、燕のような翼を持つ巨大な鳥にも変身できる。他の者と異なり飛行能力を持つ自分に大きな疎外感を覚えており、どこの世界に行っても自分から壁を作ってしまう、融けこめずにいた。この過去を持つために皮肉屋で意地っ張りだが、気遣いのある面あり、優しい性格でもある。

本シリーズでは、深い信頼関係を築いているつらら（レモネード）のパートナーとして登場します。

CV：朴口美

番外編3：逃走者紹介（Yes！プリキュア5GOGO！編）（後書き）

次回は「フレッシュプリキュア！」の面々です。

番外編 4：逃走者紹介（フレッシュシュプリキュア！編）（前書き）

今回は「フレッシュシュプリキュア！」編です。

番外編4：逃走者紹介（フレッシュシュプリキュア！編）

桃園ラブ（キュアピーチ）

四つ葉中学校2年生で、ピンクチーム所属。

桃色のリンクルンにクローバーキーを差し込んで開き、ローラーを回すことによつてキュアピーチに変身する。

自分のことよりも他人のことで熱くなれる、人懐っこく天真爛漫で元気いっぱいな女の子。思い込んだら一直線な夕子で、裏表のない純粋な性格の持ち主である反面、その純粋さ故に傷つきやすく、深く悩んだり落ち込んでしまうこともしばしば。

指令には参加する意思は気紛れで、自首する気満々らしい。

CV：沖佳苗

蒼乃美希（キュアベリー）

鳥越学園中等部2年生で、ブルーチーム所属。

青いリンクルンでクローバーキーを差し込んで開き、ローラーを回すことによつてキュアベリーに変身する。

「どんなピンチの時でも希望は忘れない」という強い信念を持つ。

4人の中では一番大人びており、取り乱したラブを叱責するのは主に彼女である。勝気な性格に似てかなりの自信家で、あらゆる物事を完璧にこなせる様にするための努力は怠らない。その一方で自分の弱みを見せたり、言い訳を極端に嫌う。

運動神経抜群を生かしつつ、チームのよしみでこまち（ミント）と行動・連絡を取り合う事が多い。

CV：喜多村英梨

山吹祈里（キュアパイン）

白詰草女子学院中等部2年生で、イエローチーム所属。

黄色のリンクルンでクローバーキーを差し込んで開き、ローラーを回すことによりてキュアパインに変身する。

親に似ておっとりとした性格ののんびり屋だが自分に自信が持てず、少々引つ込み思案な所がある。そんな内向的な自分を変えようと、ラブ達の結成したダンスユニットに参加することを決意した。勉強は得意だが、天然気質の若干ズレた感性を持つ。近かるうが遠かるうが、指令には必ず参加するつもりではいるみたい。

CV：中川亜紀子

東せつな（キュアパッション）

四つ葉中学校2年生で、イエローチーム所属。

赤いリンクルンでクローバーキーを差し込んで開き、ローラーを回すことによりてキュアパッションに変身する。

寿命を迎えたラビリンスの幹部であるイスが、アカルンの力によりキュアパッションとして転生した姿。元々はイスが一般人を装う際の仮の姿であったが、プリキュアとして転生した際にこちらが本来の姿となった。ラビリンスから離反した後は桃園家に同居し、四つ葉中学校でラブと同じクラスに通う。生真面目で優しく、健気で聡明な性格だが、物事を伝えるのは不器用。

足は結構速いが、相当なビビリであるが、本作は彼女の精一杯な姿が功績になってきます。

CV：小松由佳

シフォン

スウィーツ王国からやってきた女の子の赤ちゃん。

様々な超能力を持っており、額のマークを光らせる（同時に耳を動かすこともある）ことで物を飛ばしたりプリキュア達を覚醒へ導いたり、自らも瞬間移動したりすることが出来る。悪戯好きで、超能力を使ってしばしばトラブルを起こしラブ達を困らせるが、時にはそれがプリキュアの助けになることもある。タルト曰く、「みんな

の笑顔が大好き」で、悪戯も周りの人が喜んで笑えるような内容が多い。額のマークはその時の体調や機嫌などによって色が変わる。その正体は無限メモリー「インフィニティ」にして王国の予言書に記されていた「世界の命運を握る四つ葉の赤子」。

本シリーズではある程度喋れる状態で、ソリーに通訳されつつラブ（ピーチ）のパートナーとして登場します。

CV：こおるぎさとみ

タルト

プリキュアを探すために、シフォンとともにラブ達の世界へやってきたスウィーツ王国の自称『可愛い可愛い妖精さん』。青い襟飾りをつけたフェレットのような姿をしている。

シフォンの世話役的な立場にあるが、悪戯にいつも手を焼いている。かなりの苦労性であるが、自身がトラブルメーカーになることもしばしば。

少々愚痴っぽく心配性な性格だが、プリキュアを支えたり導いたりするなど、彼女達への想いは真剣であり、一時期は4人目のプリキュアを探し出すために一人奔走していた。

本シリーズではせつな（パッション）のパートナーとして登場します。

CV：松野太紀

番外編 4：逃走者紹介（フレッシュプリキュア！編）（後書き）

今回は「ハートキャッチプリキュア！」です。

番外編 5：逃走者紹介（ハートキャッチプリキュア！編）（前書き）

今回は「ハートキャッチプリキュア！」編です。

番外編5：逃走者紹介（ハートキャッチプリキュア！編）

花咲つぼみ（キュアブロッサム）

明堂学園中等部2年生で、ピンクチーム所属。

シプレの「プリキュアの種」が装填されたココロパフォームを吹き掛ける事により、キュアブロッサムへと変身する。

花が大好きで、花言葉をよく知っている。自身の内気な性格だが、デザトリアンの媒体にされた犠牲者たちの悩みを理解し、共感することが出来る豊かな感受性を持つ。一方で思い込みが激しく、直情的な行動をとつたり面食いな一面もある。

瞬発力も持久力も運も全く無いが、自分を変える為に常に英雄に成りたがっている。

CV：水樹奈々

来海えりか（キュアマリン）

明堂学園中等部2年生で、ブルーチーム所属。

コフレの「プリキュアの種」が装填されたココロパフォームを吹き掛ける事により、キュアマリンへと変身する。

感情によつて表情が非常に激しく変化する、物語のムードメーカー的存在。元気一杯なお節介焼きで、その行動力で相手を強引に引っ張ることが多い。基本的に前向きで明るいマイペースな性格だが、涙もろい一面もある。他人と心の垣根を作らない反面、内向的な相手の感情に合わせることは苦手で、思ったことをすぐ口に出して相手を傷つけることもしばしば。

金にかなり貪欲だが、行動派で積極的でもある。

CV：水沢史絵

明堂院いつき（キュアサンシャイン）

明堂学園中等部2年生で、イエローチーム所属。

ポプリの「プリキュアの種」が装填されたシャイニーパフォームを吹き掛ける事により、キュアサンシャインへと変身する。

生徒会長を務めている。女の子だが実家の道場の跡継ぎとなる為、男装している。穏やかな性格の持ち主で常に笑顔を絶やさない。可愛いものに目がないという年相応の少女らしい一面もある。足の速い行動的でもある。

CV：桑島法子

月影ゆり（キュアムーンライト）

明堂学園高等部2年生で、イエローチーム所属。

ココロポットによって修復された「プリキュアの種」の力で、キュアムーンライトへと変身する。

聡明かつ物静かな性格で生身でも身体能力は高い。ハートキャッチ組の中では最年長であることもあって非常に大人びており、ミステリアスな雰囲気醸し出している。先輩として先頭に立ち、他のメンバーを鼓舞し、戦闘時には指示を飛ばすなど、リーダー・司令塔としての役割を担う。

全編通して幸せとは縁が薄かったが、苦境からは決して逃げなかった。

なお、歴代の現役のプリキュアの中では最年長かつシリーズ初の高校生プリキュアであり、「1人目でありながら4人目」のプリキュア戦士でもある。

洞察力も高く、作戦を立てながら逃げるのが基本戦法。

CV：久川綾

シプレ

つぼみのパートナー。模様の色はペパーミントグリーン。後述のコフレと瓜二つで、装飾品の色がピンクで耳が上に立っているのが特徴。性格はおっとりしているが、つぼみに対しては姉貴分。

CV：川田妙子

コフレ

えりかのパートナー。シプレと瓜二つで、装飾品の色がブルーで耳が横に倒れているのが特徴。やんちゃで少し生意気な性格であり、少々子供っぽく、えりかの弟分。

CV：くまいもとこ

ポプリ

いつきのパートナー。「こころの大樹」から生まれた赤ん坊で、シプレとコフレの妹分。模様の色はオレンジ。シプレとコフレより体が小さい。少し舌足らずな口調で喋る。甘えん坊な性格で、若干直情的な面もあるが、赤ん坊らしからぬ賢い一面も見せる。

CV：菊池こころ

番外編 5：逃走者紹介（ハートキャッチプリキュア！編）（後書き）

次回は紹介編の最後で「スイートプリキュア」です。

番外編 6：逃走者紹介（スイートプリキュア 編）（前書き）

遂に紹介編の最終回「スイートプリキュア」組です。

核心に触れていなかったり、端折っていたりしますが、あくまで性格の確認と詳細を兼ねての紹介なので、悪しからず。

番外編6：逃走者紹介（スイートプリキュア 編）

北条響（キュアメロディ）

私立アリア学園中学校2年生で、ピンクチーム所属。

ハーモニーパワーによって奏と共鳴した時、ドリーが装着されたキュアモジューレの吹き口を押す事で、キュアメロディに変身する。明るく少しおつちよこちよいな性格だが、誰よりも負けず嫌いで、正義感も人一倍強い。運動そのものが好きなため特定の部活には所属せず、助っ人に徹しており、運動神経は抜群でりんに次ぐ本命的存在。

リリカルショーバイさんの作品「ごちゃまぜ逃走中」闇に狙われた「テーマパーク」において、後一步のところまで逃走成功に成りそうな所で捕まる苦い経験をしている。

CV：小清水亜美

南野奏（キュアリズム）

私立アリア学園中学校2年生で、ブルーチーム所属。

ハーモニーパワーによって響と共鳴した時、レリーが装着されたキュアモジューレの吹き口を押す事で、キュアリズムに変身する。才女かつしっかりとしているが、納得のいかないことは決して譲らない頑固な一面もある。

体力には自信は無いが、かなりの根性持ちで逃げ切る自信はあるようです。

CV：折笠富美子

黒川エレン（キュアビート）

私立アリア学園中学校2年生。

ラリーが装着されたキュアモジューレの吹き口を押す事で、キュアビートに変身する（一応単独でも変身は可能）。

メイジャーランドの妖精であり、マイナーランドに仕えていたセイレーンが悪のノイズから解放された状態。妖精の姿には戻れないが詳細は不明。

一見するとクールな容姿だが、繊細かつ臆病な性格で人見知りが多い。メイジャーランド時代から人付き合いが不得手でもあったが、徐々にその問題は解決した。

本作では、狙われたハンター編から参戦します。

CV：豊口めぐみ

調辺アコ（キュアマミューズ）

市立加音小学校3年生。

ドドリーが装着されたキュアモジューレの吹き口を押す事で、キュアマミューズに変身する（一応単独でも変身は可能）。

非常に寡黙で大人びた性格をしており、醒めた表情をしているが、年相応の反応を見せたり、身軽な運動神経や手先に器用さを見せている、メイジャーランドのお姫様。

なお、歴代の現役のプリキュアの中では最年少かつシリーズ初の小学生プリキュアであり、「3人目でありながら4人目」のプリキュア戦士でもある。

本作では、狙われたハンター編から参戦します。

CV：大久保瑠美

ハミィ

メイジャーランドにいる伝説の楽譜に書かれた幸福のメロディの歌唱役である白猫のような歌の妖精。

かなりのマイペースで、天然でもある。本来は響と奏の相棒ではあるが、本シリーズでは相棒不在（厳密にはかつてはいた）になっているゆり（ムーンライト）の臨時パートナー（スタッフ）に成りま

す。
CV：三石琴乃

ドリー

ドリームメモロディ

「夢の旋律」を司る桃色のフェアリートーンで、響の変身時のパートナー。

本シリーズでも専属のスタッフとして登場します。

CV：工藤真由

レリー

レジェンドメモロディ

「伝説の旋律」を司る白色のフェアリートーンで、奏の変身時のパートナー。

本シリーズでも専属のスタッフとして登場します。

CV：工藤真由

ミリー

ミラクルメモロディ

「奇跡の旋律」を司る、響（メモロディ）がミラクルベルティエを使用する際に装着される橙色のフェアリートーン。

本シリーズではりん（ルージュ）専属のスタッフとして登場します。

CV：工藤真由

ファリー

ファンタスティックメモロディ

「魅惑の旋律」を司る、奏（リズム）がファンタスティックベルティエを使用する際に装着される黄色のフェアリートーン。実は腕が短すぎて、腕を組むことが出来なかつたりする。本シリーズでは美希（ベリー）専属のスタッフとして登場します。

CV：工藤真由

ソリー

ソウルフルメモロディ

「魂を揺さぶる旋律」を司る、エレン（ビート）がラブギターロッドからソウルロッドに変形する際に装着される緑色のフェアリートーン。

本シリーズあまり喋れないシフォンを通訳する形で、ラブのスタッフとして登場します。

CV：工藤真由

ラリー

ラブリーメロディ

「愛の旋律」を司る水色のフェアリートーンで、エレンの変身時のパートナー。

本シリーズでも専属のスタッフとして登場します。

CV：工藤真由

シリー

シャイニングメロディ

「輝く旋律」を司る、アコ（ミュージズ）がキュアモジューレを攻撃用に使用する際に装着される藍色のフェアリートーン。

本シリーズでは狙われたハンター編以降、ルルン共々くるみ（ローズ）専属のスタッフとして登場します。

CV：工藤真由

ドドリー

ドリームエカセレントメロディ

「素晴らしき夢の旋律」を司る水色のフェアリートーンでアコの変身時のパートナー。

本シリーズでも専属のスタッフとして登場します。

CV：工藤真由

番外編 6：逃走者紹介（スイートプリキュア 編）（後書き）

次回から本格的に逃走開始ゲームスタートするにあたり、主な配役を説明します。

それぞれのキャラクターへのメッセージをお願いします

質問は受け付けません。

最後に、執筆に先立ち、設定の提供に協力してくれたりリカルシヨ
ーバイさんには、本当に有難う御座います。

詳しい配役（前書き）

それでは、本編を始める前に主な配役を説明します。

詳しい配役

蛇川美穂子（北陽） 〃 水無月かれん（キュアアクア）
AMO 〃 来海えりか（キュアマリン）
井岡一翔 〃 北条響（キュアメロディ）
井上裕介（NON STYLE） 〃 蒼乃美希（キュアベリー）
上野由岐子 〃 日向咲（キュアブルーム）
梅宮アンナ 〃 美々野くるみ（ミルキイローズ）
片山裕介（ヒカリゴケ） 〃 九条ひかり（シャイニールミナス）
狩野英孝 〃 花咲つぼみ（キュアブロッサム）
川田広樹（ガレッジセル） 〃 美翔舞（キュアイーグレット）
具志堅用高 〃 夢原のぞみ（キュアドリーム）
ゴリ（ガレッジセル） 〃 美墨なぎさ（キュアブラック）
芹那（SDN48） 〃 秋元こまち（キュアミント）
田中卓志（アンガールズ） 〃 南野奏（キュアリズム）
テレンス・リー 〃 月影ゆり（キュアムーンライト）
長友光弘（響） 〃 山吹祈里（キュアパイン）
濱口優（よるこ） 〃 雪城ほのか（キュアホワイト）
水無昭善 〃 春日野うらら（キュアレモネード）
misono 〃 桃園ラブ（キュアピーチ）
道端アンジェリカ 〃 明堂院いつき（キュアサンシャイン）
山崎邦正 〃 東せつな（キュアパッション）
（逃走者側に50音順に紹介）

詳しい配役（後書き）

それぞれがどうしてこの役になったかは、確保された回の後書きで説明します。

それでは、ゲームスタート逃走開始です。

逃走開始（ゲームスタート） - 最初に確保された伝説の戦士 - （前書き）

遂に逃走開始に漕ぎ着けました。

基本的に開始の時は「集められた場所での現地変身」 「名乗り」 「鼓舞」の一連をやった後に本編が始まります。

逃走開始(ゲームスタート) - 最初に確保された伝説の戦士 -

ゲーム前・

美墨なぎさ・雪城ほのか「デュアル・オーロラ・ウェイブ！」

九条ひかり「ルミナス・シャイニング・ストリーム！」

日向咲・美翔舞「デュアル・スピリチュアル・パワー！」

夢原のぞみ・春日野うらら・秋元こまち・水無月かれん「プリキュア・メタモルフォーゼ！」

美々野くるみ「スカイローズ・トランスレイト！」

桃園ラブ・蒼乃美希・山吹祈里・東せつな「チェインジ・プリキュア・ビートアップ！」

花咲つぼみ・来海えりか・明堂院いつき・月影ゆり「プリキュア！
オープン・マイ・ハート！」

北条響・南野奏「レッツプレイ！プリキュア・モジュレーション
！」

光輝いて伝説の戦士に変身を遂げる少女達。

美墨なぎさ(キュアブラック)(以後：なぎさ(ブラック))「光の使者！！キュアブラック！！！」

雪城ほのか（キュアホワイト）（以後：ほのか（ホワイト））「光の使者！！キュアホワイト！！」

九条ひかり（シャイニールミナス）（以後：ひかり（ルミナス））
「輝く命、シャイニールミナス！！」

日向咲（キュアブルーム）（以後：咲（ブルーム））「輝く金の花！！キュアブルーム！！」

美翔舞（キュアイーグレット）（以後：舞（イーグレット））「煌めく銀の翼！！キュアイーグレット！！」

夢原のぞみ（ドリーム）（以後：のぞみ（ドリーム））「大いなる！！希望の力！！キュアドリーム！！」

春日野うらら（キュアレモネード）（以後：うらら（レモネード））
「弾ける檸檬^{レモン}の香り！！キュアレモネード！！」

秋元こまち（キュアミント）（以後：こまち（ミント））「安らぎの、緑の大地…キュアミント！！」

水無月かれん（キュアアクア）（以後：かれん（アクア））「知性の青き泉！！キュアアクア！！」

美々野くるみ（ミルクイローズ）（以後：くるみ（ローズ））「青い薔薇は秘密の印…ミルクイローズ！！」

桃園ラブ（キュアピーチ）（以後：ラブ（ピーチ））「ピンクのハートは愛ある印！！もぎたてフレッシュ！！キュアピーチ！！」

蒼乃美希（キュアベリー）（以後：美希（ベリー））「ブルーのハートは希望の印、摘みたてフレッシュ、キュアベリー!!!」

山吹祈里（キュアパイン）（以後：祈里（パイン））「イエローハートは祈りの印!!!採れたてフレッシュ!!!キュアパイン!!!」

東せつな（キュアパッション）（以後：せつな（パッション））「真っ赤なハートは幸せの証!!!熟れたてフレッシュ!!!キュアパッション!!!」

花咲つぼみ（キュアブロッサム）（以後：つぼみ（ブロッサム））「大地に咲く、一輪の花!!!キュアブロッサム!!!」

来海えりか（キュアマリン）（以後：えりか（マリン））「海風に揺れる一輪の花!!!キュアマリン!!!」

明堂院いつき（キュアサンシャイン）（以後：いつき（サンシャイン））「陽の光浴びる、一輪の花!!!キュアサンシャイン!!!」

月影ゆり（キュアムーンライト）（以後：ゆり（ムーンライト））「月光に冴える一輪の花：キュアムーンライト!!!」

北条響（キュアメロディ）（以後：響（メロディ））「爪弾くは荒ぶる調べ!!!キュアメロディ!!!」

南野奏（キュアリズム）（以後：奏（リズム））「爪弾くはたおやかな調べ!!!キュアリズム!!!」

プリキュア一同「我等、プリキュアオールスターズ!!!」

全員が名乗りを終えて、一塊になり、手を重ねつつ宣言する。

なぎさ(ブラック)「それじゃあ今日はりんは居ないけど皆で、最後まで逃げ切るうー!」

なぎさ(ブラック)以外「オーツ!!」

意気込みを見せ、装備品(サポーターや小型ポケット)を着けつつ、エリアに散らばる20人の逃走者達^{ブリキユア}。

咲(ブルーム)「何か…こういうのは好きなので、楽しみなのよね。」

フラッピ「咲はこういうの好きなのかラピ!?!」

咲(ブルーム)「うん!何というか…ゲームみたいなのはね。」

ハンターは、何処から現れるか…解らない

ほのか(ホワイト)「此処を曲がったらこう行くのね。……不^ま味い、想像してたら足がガクガクしてきたわ!追われると思ったら…怖いわ」(ゲームセンターのUFOキャッチャー辺りにて立ち止まる)

ゆり(ムーンライト)「私はね、基本は隠れるなんですよ。ただ隠れて発見された場合の…逃走経路をやっぱり考えなきゃいけないので、ここは難しいわ。」

いつき(サンシャイン)「ううう…何だか怖いわどうしよう(汗)」

なぎさ(ブラック)「息苦しいわ…考えられないくらい凄く息苦しいわ。怖さが尋常じゃない!」

ゲームを直前に控えた、第1回「逃走中」。
クロノス社では、その準備が最終段階を迎えていた。

「逃走中」を開発した男：月村サトシ

彼が作り上げた最初のハンターが・・・起動する

月村サトシ（演：細田よしひこ）（以後：月村）「では・・・最終確認を行う！」

望月ミレイ（演：北川弘美）（以後：望月）「はい！」（スキヤナーを手渡す）

月村の助手である望月ミレイが、月村に渡したものは、小さい法螺貝ほらを模したものに、響と奏が所持してるハートコンパクト型変身アイテム「キュアモジュール」みたいに4つの宝石が埋め込まれたスキヤナーだった。

ハンターの顔をスキャンした後、横たわっていたベッドが立ち上がる。そして月村はハンターにサングラスを装着させた。

ハンターはサングラスに記憶された月村の姿を確認した。

望月「ハンター一号機・・・セッティング完了です！」

ゲームの様子を映し出す、巨大会場スタジアム。此処では、大勢の観客が詰めかけ、開始の瞬間スタートを待つ。

のぞみ（ドリーム）「…^{かわ}躲す！…：…：…：躲す！！」 軽快なデンプシー
ロールを披露しながら、観覧車ビルのテラスを走り回る。

かれん（アクア）「嗚呼どうしよう…此処（ボウリング場）に最
初に居ようと思ったけど、一人じゃ此処には居られない。ヤバイわ
（汗）」

場所は変わり、クロノス社の指令室

望月「愈々（いよいよ）ですね」

月村「ああ…遂にこの日が来た！」

そして月村は、高々と宣誓する。

月村「これより…第1回「逃走中」を開催する！」

身に付けているスカウターみたいな物を外して、更に彼は宣言する。

月村「さあ…ゲームを始めよう！！」

次の瞬間、『GAME START』の文字が出た巨大モニターが
表れ、それと同時にハンターの横たわっていたベッドがボックスに
変わり、ハンター共々エリアに転送された。

エリアに設置された1体のハンター。

愈々、第1回目の逃走中が幕を開ける。

ガチャン！ ボックスからハンターが放出

ゲームが、始まった。

えりか（マリン）「はっ…始まつちゃった…始まつちゃった！どうしよう（汗）！」

タッタッタッタッ！！ ハンターの走る音

ラブ（ピーチ）「聞こえた！？聞こえたということは、絶対この辺にいるじゃん！！」 ハンターの走る音を間近で聞く。

なぎさ（ブラック）「何処だ…ハンターはどこにいるんだ！？」

ゆり（ムーンライト）「……………」
俯せうつせ

ハンターは視界に捉えた逃走者を、見失うまで…追跡する。

ピーーーーーー……………ピピッ
壁面に描かれた顔をポインターが反応

ほのか（ホワイト）「すっごく緊張する…何これ！？」

つぼみ（ブロッサム）「…！！…殺気！！…！！」

見つければ、逃げ切るのは容易ではない。

舞（イーグレット）「あつ、祈里さん」

祈里（パイン）「舞ちゃん！？」

屋内エリアで出会った美翔舞と山吹祈里。
そこへ近づくと黒い影……

舞（イーグレット）「ハンターが居たわ、どうしようかなあ!？」

ピーーーーー
徐々に舞と祈里に近づくハンター

祈里（パイン）「本当ですか!?!いきなり来たそうなので舞ちゃん気をつけて!？」

ピーーーーー
ハンターの視界に祈里が映り、左下に祈里のマークが表示された。

見付かった。

祈里（パイン）「わあ…来た!？」

舞（イーグレット）「来た来た!？」

ハンターが視界に捉えたのは、キュアパインこと山吹祈里。

一目散に逃げる祈里。
階段を駆け降り、アイランドエリアの曲がり角を何度も利用するが、その差を縮められ、最早、逃走不可能……

祈里（パイン）「うっ!」 ポンッ

ゲーム残り時間：128分19秒

賞金：10,100円

山吹祈里（キュアパイン）確保

残り19人

祈里（パイン）「わあっ！は……速い！」

舞（イーグレット）「こっ……怖かった、怖かった！」

ピリリリリッピリッ

ピリリリリッピリッ

メール

美希（ベリー）「『山吹祈里確保』！……ええ……ブツキーが！！未だ始まって……1分2分しか経っていないのに」

くるみ（ローズ）「えっ、もう捕まったの！？本気で！！？」

祈里（パイン）「私、開始スタートを押したばかりなのに……！ええええ」

ハンターから逃げた時間に応じて賞金を獲得出来る、それが……

r u n f o r m o n e y 逃走中

舞（イーグレット）「わあっ……またこの……トラックが又怖いわ
！」

舞台は、逃走中のために用意された、専用ステージ「エリア01（ゼロワン）」。

様々な店舗テナントや、娯樂施設アミューズメントが立ち並ぶ中、中央の駐車場には、多くの貨物コンテナが怪しげに配置されている。

広さは東京ドームおよ凡そ2個分。このエリアを19人の逃走者が、逃げ回る。

咲（ブルーム）「逃げ切るしかないよ！目標はそれに限るナリー！」

賞金は1秒、100円ずつ上昇。130分間逃げ切れれば78万円を手に出来る。

ラブ（ピーチ）「待ってて！………一時間半後ね！」 自主用電話に抱きつき、話し掛ける。

更にこのゲームは自首も可能。エリア内に設置された自首用電話から、申告すればその時点までの金額を獲得し、脱落リタイヤとなる。

エリアには1体のハンター

捕まれば、即失格！ 賞金は…0！

逃走開始（ゲームスタート） - 最初に確保された伝説の戦士 - （後書き）

祈里の確保で始まった第1回「逃走中」。彼女達は無事に逃げ切るのか！？

残る逃走者は19人！

~~~~~

配役情報？

山吹祈里（キュアパイン） 〃 長友光弘（響）

個人的に大好きなキャラである祈里は、リリカルシヨーバイさんの作品でも大活躍していますので、今回は休憩的役割をやる事にしました。  
ボジション

因みに、長友さんは過去に3回出場しましたが、私は王国で自首に失敗して捕まった印象が強かったりします。

**最初の指令（ミッション）発動・観覧車出現・（前書き）**

祈里の確保で始まった第1回「逃走中」！

残る逃走者は18人。

ゲームを制御する月村が、開始早々動き出す。

## 最初の指令（ミッション）発動・観覧車出現・

持ち前の活発な性格で、どんな状況下であつても前向きに勇気付けた、ソフトボール部のエースを務めるキュアブルームこと日向咲。

咲（ブルーム）「まあマウンドに立つてるときでも自信は有るけど、まあ余程の事が無い限りは私は結構臆病になつたりするのよね〜」

このゲームでも、勝利を収める事は出来るか!?

響（メロディ）「ホントにいざ自分がこの場に立つと、…何時もより緊張するんだけど……」

今年2月、新たにプリキュアとして覚醒を果たし、人気急上昇中の、抜群の運動神経と音感を持つキュアメロディこと北条響。

響（メロディ）「ホントに…気を引き締めないと痛い目に遭うわ!」

前向きな性格と包容力で、絶大な人気を誇る、プリキュア5の隊長・キュアドリームこと夢原のぞみ。

のぞみ（ドリーム）「いやあさあやっぱりね〜、皆の為に頑張ろうとしているし、隊長として私には誇りは有るもん! うん…………… 凄いと! ……私だつて遣る時はやると! 速いと! そういう雰囲気で見せてあげたいわ!」

果たして、各々の隊長格のプリキュア達は、ハンターとの勝負に、どう挑むのか!?

かれん（アクア）「ホントに怖いわね！果たして自分が此処にいるのが平気なのかすらも自信が無くなる！」　店の外で屈みながら怯える

一方、響と共にプリキュアとして覚醒を果たした、キュアリズムと南野奏は、キュアベリーこと蒼乃美希と合流。

奏（リズム）「あっ！今めっちゃ痛々しい子だ！」

美希（ベリー）「誰がなのよ（怒）！」

奏（リズム）「メンバーの中で！今めっちゃ痛々しい子だ！」

美希（ベリー）「奏の方が、一番痛々しいから…！」

奏（リズム）「モデル雑誌とかで見ても…一番痛々しいから」

美希（ベリー）「断トツ青が映えてないよ！」

奏（リズム）「いやいやそっちもよ！…一緒に後つぼみを入れて…」

美希（ベリー）「いやいや、全然違う！全然違う！」

奏（リズム）「3人で、『痛い子3人組』として今日は頑張るのよ！」

！

美希（ベリー）「悪いけど、本当に一緒にするのは止めて貰いたい！」

そして、その『痛い子3人組』<sup>トリオ</sup>に勝手に入れられたキュアブロッサムこと花咲つぼみは…

つぼみ（ブロッサム）「今日は私、英雄<sup>ヒーロー</sup>になります！英雄<sup>ヒーロー</sup>になって見せます…！」　悠然とカメラ目線で宣言

時は2900年。巨大企業「クロノス社」は、この世界で大きな影響力を誇っていた。



クロノス社の若き天才科学者・月村サトシは、研究を重ね「逃走中」を開催する為の人造人間アンドロイド・「ハンター」を完成させる。

「逃走中」は、人々を楽しませる娯楽大会エンターテインメントゲーム。

ハンターの恐怖と、逃走者それぞれの人間模様スタジアムに、会場は、盛り上がりを見せていた。

そして、ゲームを制御する司令室では…

幹部A「順調だな、月村」

月村「はい、有難う御座います。」

幹部B「なかなか面白い人造人間アンドロイドね。」

幹部C「ふひひひ…然しかしこの繰り返しでは、余りに単調だなあ。」

月村「勿論ゲームを盛り上げる為に、色々な仕掛けを用意しています。実は…ハンターは1体ではありません。既に量産化に成功しています。」

幹部B「へえ楽しみね。」

幹部と一通りの会話を終えた月村は中央にパネルを、向かって右側にハンターの映像モニターを展開させ、中央のパネルに表示された「MISSION 発動」をタッチした。

次の瞬間、会場スタジアムから指令ミッションの発動を報せる実況の声が響き渡った。ゲームマスター・月村サトシによって「最初の指令ミッション」が発動される！

突如、エリアに出現した観覧車。その籠コングの中には…3体のハンター。この存在が、逃走者に大きな選択を迫る。

プルルルル プルル

美希（ベリー）「メールが来たわ！えっ何！？」

なぎさ（ブラック）「えっ！？…指令！？…君達に賞金上昇アップの好機チャンスを与える」

ゆり（ムーンライト）「…貨物コンテナの中にあるハンター放出レバーを下ろし、ハンターを放出すれば…」

奏（リズム）「…残り110分以降の賞金を1秒100円ずつ上昇アップする」

えりか（マリン）「…レバーは全部で3つ」  
うらら（レモネード）「うん」  
えりか（マリン）「…やるかやらないかは君達の自由だ」

MISSION？ 賞金単価を選択せよ！

エリア内に出現した観覧車。その籠コングの中には、3体のハンター。駐車場の貨物コンテナの中にあるハンター放出レバーを下ろせば、残り110分にハンターが1体追加され、それ以降、全員の賞金が1秒100円ずつ上昇アップする。

つまり、1体放出すれば1秒200円。2体放出すれば1秒300円。3体放出すれば1秒400円と成り、賞金は最大276万円に

跳ね上げる。

尚、ハンター放出レバーは、21・22・23の貨物コンテナの中に置かれている。

奏（リズム）「このままだったら1体でいいのね……（ハンターは）1体でしょ！これは」

いつき（サンシャイン）「うん（指令ミツクオン）遣らない！（笑）」

咲（ブルーム）「まあ別にハンターは増えても楽しいとは思うけどね〜」

くるみ（ローズ）「3体放出すれば276万円だなんて、わあ！凄いわねどうしよう！魅力的じゃないその数字！」

つぼみ（プロッサム）「賞金を増やすと逃げにくくなる……ハンター増やさなければ賞金は上がらない……いやこれは微妙ですよ！」

やや葛藤

ほのか（ホワイト）「賞金じゃないのよ私は！逃げたいのよ！逃走にげるための指令ミツクオンだったら参加するけど……賞金アップ上昇はこれは畏よ！」

舞（イーグレット）「のぞみさんどうしましょ！？ハンター放出レバー……」

のぞみ（ドリーム）「……」 聞く耳持たずで貨物コンテナを眺める

舞（イーグレット）「あの…のぞみさん」

のぞみ（ドリーム）「ちょっと静かにしてよ舞ちゃん！（怒）」

舞（イーグレット）「どうするの！？どうするのよ！？（焦）」

のぞみ（ドリーム）「今ハンターが見えたんだから！！（怒）」

舞（イーグレット）「だからどうするの！？どうするって言ってん

の！！レバーを下ろすか下ろさないかで値段が変わって来るのよ！  
（焦）」

賞金上昇アップの為、ハンターを増やすか…危険リスクを避け、ハンター1体の  
ままか！？その選択は逃走者の自由だ。

せつな（パッション）「あそこね貨物コンテナは！皆はどうすると思う！？  
此処で東せつな14歳！今バリバリ……指令ミッション……しません！……うん  
！」 21番の貨物コンテナを遠巻きに眺めながら話す

1体だけとはいえ、ハンターとの恐怖から消極的に成る中で、賞金  
上昇アップを目指す者は…現れるのか！？

最初の指令（ミッション）発動・観覧車出現・（後書き）

逃走者達に課せられた指令ミッション

果たして伝説の戦士である逃走者達ブリキユアが選ぶのは、金か……身の安全か！？

残る逃走者は……19人！

貨物（コンテナ）へ出発・賞金の誘惑に負けた伝説の戦士・（前書き）

前回までの粗筋<sup>あらすじ</sup>

19人に課せられた最初の指令<sup>ミッション</sup>。

それは、観覧車のハンターを放出させれば、賞金単価を上げると言うもの！

ハンターの恐怖に消極的になる者がいる中で、放出レバーに向かう者は果たして居るのか！？

## 貨物（コンテナ）へ出発・賞金の誘惑に負けた伝説の戦士・

殆どの者がハンターの恐怖により指令に消極的になる者がいる中で、駐車場で動きが見えた。

えりか（マリン）「遣ろうよ、遣ろうよ！だって倍だよ！倍に成るのよ！」

うらら（レモネード）「取り敢えず…取り敢えずこっちに行けば良いのでしょうか！？先に…」

えりか（マリン）「これ…でも一寸待って！これ…指令遣ったら倍に成るのよね！？」

コフレ「はいですっ！下ろせば賞金が倍には成るですっ！」

えりか（マリン）「だったら…！ちよつとあたし指令遣るわ！遣るっ！」

賞金上昇か！？それとも…危険を回避するか！？

アイドルとしても活躍するキュアレモネードこと春日野うららは…

うらら（レモネード）「（指令）遣ります！」

行く！賞金上昇に、興味が有るようだ！

一方、シャイニールミナスこと九条ひかりは…

ひかり（ルミナス）「やっぱり賞金は上がるじゃないですか。78万円のままで全額終わった話にならないので、少しだけ上げる意味でも指令に行こうと思います。」

ハンター放出に向かうのは、うらら・えりか・ひかりの3人。

捕まる危険よりも、賞金上昇を目指す！！

3体のハンターを放出させれば、残り110分以降の賞金が、1秒400円となる！

ゆり（ムーンライト）「あのねやっぱり戦場ではね、問題はね危険リスクをどう軽減するかなのよ！」

ゴクツ　　固唾かたずを飲む

ゆり（ムーンライト）「確かにその報償金というより報酬は大きくても、それによって危険リスクが高くなるなら、やっぱり断るのには充分な理由になるから！」

つぼみ（ブロッサム）「あれ！？……まっ……まさか！」　　指令ミツモン  
に走るひかりを目撃

ほのか（ホワイト）「あっ……ひかり行ったんじゃないの！？指令ミツモンに……行ってる！ひかりが行ってる！！」　　指令ミツモンに走るひかりを目撃し遠避かる

ひかり（ルミナス）「少しだけお金を貰います！」

つぼみとほのかが指令ミツモンに行ってるひかりを目撃した。

一方、指令ミツモンに行かないキュアアクアこと水無月かれん

かれん（アクア）「もう何これ！？うう（汗）本当に誰もいないわ……ヤバイ……これは怖いわ（汗）！……ガチャガチャ音がするだけで人が誰もいないから！」



隠れ場所を求め、ゲームセンターの中へ！  
そのゲームセンターにハンターが侵入！  
ゲーム機の音が…鳴り響く！

かれん（アクア）「ちよつと怖いわね。」

ピーーーーー

かれん（アクア）「なんだか怖くないかな此は！？何なの？普通の黒い奴の方が良いと思うわ！」  
待受画面が、クロノス社のマークであった為、更に動揺

鳴り響くゲーム機の音で、気配を感知されず、何時までもプリクラコーナーで立ち止まっていたかれんがハンターに見付かった……

かれん（アクア）「うわーっ！やばいやばいやばいやばい！」

ゲームセンターの中を一目散に逃げ続けるかれん。然し出口に差し掛かるうとしたときに徐々に距離を詰められ最早、逃走不可能。

かれん（アクア）「いやーっ！」 ポンッ

ゲーム残り時間：120分37秒

賞金：56,300円

水無月かれん（キュアアクア）確保

残り18人

かれん（アクア）「嘘でしょ……！？呆気無さすぎるわ……！」  
景品キヤッチャーゲームの椅子の上に手を置き頂垂れる

せつな（パッション）「『水無月かれん確保、残り18人』！何を  
してるのよ！」

いつき（サンシャイン）「かれんさんが捕まっちゃった！私結構……  
かれんさんに連絡しようとしたのにな〜！」

ゲーム開始から……凡<sup>およ</sup>10分が経過し、残る逃走者は……18人となっ  
た！

ラブ（ピーチ）「1体だけど、ブッキーとかれんさんの二人が捕ま  
ってるのよ！……その二人にするだけで相当な危険<sup>リスク</sup>に成るから……  
……（ハンター放出レバーなんか）下ろさないでよ 誰も！」

誰もレバーを下ろさなければ、ハンターは1体のまま。ラブの願い  
は……通じるか!?

えりか（マリリン）「貨物<sup>コンテナ</sup>つて、これかあ！」

ハンター放出レバーがある、23番の貨物<sup>コンテナ</sup>にやって来た、キュアマ  
リンこと来海えりか。

えりか（マリリン）「扉を開いて、目の前に有るのよね!?!えっ開く  
のかな?普通に開くの?」

カチャン 扉が開いた

えりか（マリリン）「開いた開いた開いた開いた開いた……うおっ……  
あったあったあったあったあった！」

うららも、レバーを下ろしに来た。

えりか（マリリン）「ハンター増えるんだ！…でもっ…お金は2倍に成るんだ！…でもハンター増えるんだ！どうしよう…どうしよう！」

葛藤

うらら（レモネード）「でも、ハンター放出しますけど…」 実行に移すように合図で促す

えりか（マリリン）「どうしよう…皆にハンター増えたら、迷惑かけちゃうかも…」

此処はえりかに任せ、別のレバーへと向かう、うらら。

えりか（マリリン）「やっぱ…御免ね皆！」

ガラガラガラガラ 罪悪感に翻弄されつつレバー下げる

ゲーム残り時間：118分06秒

賞金：71,400円

ハンター1体 放出確定

えりか（マリリン）「ああ…ランプ点いた！ランプ点いた！」

ハンター1体が、放出した。

えりか（マリリン）「もう…あたし知らない！」 コンテナ 貨物の扉を閉める コンテナ そう言いながら

残り110分以降、賞金は1秒200円となる。

えりか（マリリン）「どうしよう…下ろしちゃった！」

観覧車のハンターは、後：2体。

放出させれば、全員の賞金が上昇<sup>アップ</sup>する！

貨物（コンテナ）へ出発・賞金の誘惑に負けた伝説の戦士・（後書き）

葛藤の末にハンターを放出したえりか。

これで、ハンターの数には2体になるのが確定したが、他のプリキュア達はうらら以外知らない。

果たして逃げ切れるのか!?

残る逃走者は18人!

~~~~~

配役情報?

水無月かれん（キュアアクア） 〃 虻川美穂子（北陽）

オンエアでは、ずっとテンパってばかりで碌な活躍をしていない虻川さんをやらせる際、キャラが近そうで、生徒会長つながりでもあるいつきとどつちかにやるうか迷っていました。ですが、ある逃走者が「ピコった」発言をしたので、泣く泣くキャラを半壊して、かれんにやらせました。

二つ目のハンター放出・背中合わせな欲望と危険（リスク） - （前書き）

前回までの粗筋^{あらすじ}

殆どの者が賞金より安全を優先し、ハンター放出を拒む者が居る中で、駐車場に居たえりかとうらら、そして観覧車ビルの中に居たひかりが指令参加^{ミッション}を表明。

そんな中、指令^{ミッション}に行かないかれんがゲームセンター内で発見され、
敢え無く確保。残る逃走者は18人になった。

そして放出レバーのある貨物^{コンテナ}に到着したえりかは、罪悪感と賞金との間で葛藤が生じたが、うららに後押しされレバーを下ろしてしまい、ハンター1体の放出が確定し、賞金は1秒200円になった。
だがその事はうららと当事者のえりか以外は知らない。

二つ目のハンター放出・背中合わせな欲望と危険（リスク）

なぎさ（ブラック）「何人の人が…お金が欲しいからハンターを放出したいと思っているかなのよ！其処なのよ！だって78万の時点でも私達からしたら相当な大金だもん！…居た！ハンター居た居た！」

駐車場に立ち止まったハンターを遠く（アミューズメントビル西端とアイランドエリアの東端の間にある大きな道路）で発見したなぎさ。其処へ響が通りかかる。

響（メロディ）「此処はめっちゃ見晴らしが良いですね！」

なぎさ（ブラック）「そうそうそう！だから…前から来たら、右側あっちの方に行くと一直線しかないでしょ！」

響（メロディ）「はい！」

なぎさ（ブラック）「案外あたしは、左側そこに入った方が逃げ切れると思うのよね…あっそうだ！DSソフト発売決定おめでとう！」

響（メロディ）「有難う御座います！」

なぎさ（ブラック）「御免ね。逃げてる途中で！」

響（メロディ）「いえいえ大丈夫よ！是非遊んでみてください！」

「スイートプリキュア メロディコレクション」というゲームが8月25日に発売予定です。

なぎさ（ブラック）「ちょっとだけさ…運動神経フットワークの良さというのをこの間見せたデンプシーロールで見れないかな！」

響（メロディ）「いいよ！此方こっちも鈍なまった体を動かしたかったし！」

デンプシーロールを披露してくれた

なぎさ（ブラック）「わあ…格好いいなあ…いいなあ…」

そんな時に…

なぎさ（ブラック）「来た来た来た来た来た！」
突然右側に逃げる

響（メロディ）「えっえっえっえっえっ…！？」
つられて左側に逃げる

なぎさ（ブラック）「嘘嘘嘘嘘嘘！」
笑いながら立ち止まった
響（メロディ）「ちよっちよっちよっ W W W W…！？」
笑いながら近づくと

お茶目な…嘘だ！

なぎさ（ブラック）「ごめんごめん！いやさゝ余りにもカッコいいからちよっただけ嫉妬しちゃった（笑）！」

響（メロディ）「冗談きついですよなぎささん…（笑）！」

美希（ベリー）「もしもし？」

一方、誰かに電話をかける美希。かけた相手は…

こまち（ミント）「美希さん？」

変身前は美希と同じ様にカチューシャを着けている、キュアミントこと秋元こまちである。

美希（ベリー）「大丈夫ですか？」

こまち（ミント）「私は大丈夫よ」

美希（ベリー）「こまちさん、指令如何します？」

こまち（ミント）「私はこの指令は如何しようか今迷っていて…」

美希（ベリー）「私も正直、行くかどうかを迷ってて…」

こまち（ミント）「あっ…そうですか？」

美希（ベリー）「やっぱり皆やこまちさんが、より笑顔になる方を
選択しようと思ってるわ！だって逃げる方が最優先でしょ！」

こまち（ミント）「そうですね…でも、私の意志だけで…ハンタ
ーを増やしてしまい、皆さんが捕まるのはなんだか嫌だなと思っ
たりもしているわ！」

美希（ベリー）「その意見に関しては、私も同感よ！」

こまち（ミント）「えっ（笑）！本当ですよね（笑）！？」

ハンターを放出させれば、全員の賞金が1秒100円ずつ上昇！
然し、確保される危険は増していく。

うらら（レモネード）「これですね」

うららがレバーのある、22番の貨物に到着。

ジュジュジュ…ジュジュジュ…

うらら（レモネード）「わっ…吃驚しました！」

レバーを下ろしたばかりのえりかから電話が来た

えりか（マリリン）「もしもし、うらら大丈夫？」

うらら（レモネード）「大丈夫です レバー下げちゃいます」

ガラガラガラガラ 躊躇ためらい無くレバー下げる

えりか（マリリン）「えっ！？（。・。）」

ゲーム残り時間：115分20秒

賞金：88,000円

ハンター2体 放出確定

うらら（レモネード）「放出です」

えりか（マリリン）「ちょ…ちょっと！（汗）」

これで、2体のハンター放出が…確定した。

うらら（レモネード）「私は敵が多い方が燃えるのです！」

えりか（マリリン）「う…うらら（汗）」

観覧車のハンターは、後…1体。

咲（ブルーム）「110分よね！後5分かあ…あと5分でレバーを下げるか下げないかって事よね？」

既に、ハンター2体の放出が確定。残り110分以降、賞金は1秒

300円となる。

こまち（ミント）「あれ！？あつ…うららさん、こっち駄目こっち駄目こっち駄目…こっち駄目…こっちは駄目よ！」
手で×印にして、うららに教える。

駐車場でハンターに気づいたこまち。

えりかと電話中のうららにも、危険を報せる。

こまち（ミント）「今誰と電話中ですか！？」

うらら（レモネード）「えりかさんですよ！」

こまち（ミント）「えりかさんね。」

うらら（レモネード）「なんか…居るらしいです！」

そして…見付かった…

うらら（レモネード）「ハンターが来た！」

こまち（ミント）「本当だわ！」

えりか（マリリン）「あつ…切れた！うららが逃げてる！」

一目散に逃げる二人。ハンターが視界に捕らえたのは…こまちだ。

駐車場の入り組んだ貨物コンテナを掻い潜りなおも逃げるも、距離を開くどころか逆に縮まり、体力スタミナの限界が出てしまい最早、逃走不可能…

こまち（ミント）「きゃっ！」
ポンッ

ゲーム残り時間…113分55秒

賞金：96,500円

秋元こまち（キュアミント）確保
残り17人

こまち（ミント）「捕まっちゃった！ハアツ…ハアツ…ハアツ…ハアツ…ハアツ…あ…あれじゃ逃げられないわ〜！」 そのまま座り込み
息絶え絶えに呟く

うらら（レモネード）「怖い…怖い…」 難を逃れ、アイランド
エリアへ向かう

ゆり（ムーンライト）「『秋元こまち確保、残り17人』」

美希（ベリー）「私の頼りになる奴が居ないわ…後はえりかだけよ！…えりかだけは守らなきゃ！」

残るは17人！更なる賞金上昇^{アップ}を目指す者は…現れるのか！？

二つ目のハンター放出・背中合わせな欲望と危険（リスク） - （後書き）

うららの手によって、さらに1体のハンター放出が確定した。

これで賞金は1秒300円になったが、捕まる危険は高まった。^{リスク}

こまちも捕まり、残る逃走者は17人。

~~~~~

配役情報？

秋元こまち（キュアミント） 〃 芹那（SDN48）

ミントに変身するこまちと、芹那さんの顔がなんとなく似ていたの  
で、執筆を開始する段階で配役を確定していました。違和感は無  
いと多分思います。

## 最後のハンター放出 - 欲望が招いた代償 - (前書き)

前回までの粗筋 あらすじ

ハンターを放出すればハンターの数が増える代わりに、賞金単価を上げる指令に挑戦し、様々な思いが交錯する中で、うらがが電話をかけてきたえりかとも碌な相談しないで、躊躇い無く放出レバーをおろしてハンターを放出し、これで2体のハンター放出が確定した。

一方、指令に挑もうかを美希と電話で相談していたこまちは、駐車場でハンターを発見。えりかと電話をしていたうららにも危険を知らせるが、確保されてしまい、これで残る逃走者は17人になった。

## 最後のハンター放出 - 欲望が招いた代償 -

ひかり（ルミナス）「レバーを下げればいいのですね！」

ハンター放出レバーに到着したひかり。

カチャン 扉が開いた

ひかり（ルミナス）「さ…下がってる！…じゃあ放出されてるわ！」

到着した23番の貨物のレバーは既に、えりかが下ろしている。

ひかり（ルミナス）「う…嘘！じゃあ離れないと…そんなにいっぱいハンターが出たら不味いわ！」

此処まで、ハンター2体の放出が確定。それと同時に賞金は1秒300円になる。

奏（リズム）「100万や200万は確かに美味しいけど、流石に…やっぱりなるべくハンターは少ない方が良いわ！えりかとかこまちさんが遣ったら…私には何とも言えないわ？…」へ…へえ、そうなんだ？あつ、放出させたのね…ふううん…」 徐々に妄想に浸る

そんな中…21番の貨物の近くにある観覧車ビルの上でじっとしていたのぞみが動き出す。

のぞみ（ドリーム）「なんか長くないかな此処に居るのが！？なんで皆集まってるの？」

ラブ（ピーチ）「いやいや、偶然近くに居ただけよ！」

のぞみ（ドリーム）「何で！？指令遣るよ私は！…だって、賞金を  
少しだけ増やしたいもん！」

突然、ハンター放出を宣言したのぞみ。彼女は残り110分以降、  
2体のハンターが放出され、賞金が1秒300円に成る事を知らな  
い。

ココ「レバーを下ろすと、ハンターが1体増えて他の人が捕まる可  
能性が増えるけどいいのかココ？」

のぞみ（ドリーム）「いいよそんなの！いいもん！」

ココ「それよりお金が欲しいのかココ？」

のぞみ（ドリーム）「欲しい！」

ココ「のぞみも捕まる可能性が高まるココよ！」

のぞみ（ドリーム）「そこがさあ…興奮して面白じゃん！だって  
見てよ…こんなにいっぱい残ってるもん！よし、放出させちゃう  
ぞ！けつて〜い！」

ハンター放出に挑む為に走るのぞみを目撃した、舞とつぼみ。

舞（イーグレット）・つぼみ（ブロッサム）「わっ！吃驚したあ！  
走るのぞみに驚く

舞（イーグレット）「何で急に走るの…のぞみさん！？何処行くの  
！？」

つぼみ（ブロッサム）「のぞみさん！？」

舞（イーグレット）「ハンター放出ですか！？」

ハンター放出まで：60秒



のぞみ（ドリーム）「もう時間無いよ！…110分までだし！」

のぞみがレバーを下ろせば、3体のハンター放出が、確定する。

のぞみ（ドリーム）「あつ…（ハンター放出）レバー見つけた！」

舞（イーグレット）「のぞみさん逃げて！ハンターが来ちゃうわ！」

ゆっくりとハンターがのぞみ達に近付く！

のぞみ（ドリーム）「えっ!?!」

舞（イーグレット）「のぞみさん来る来る来る来る！逃げた方が良いわ！」

ガラガラガラガラ 急いでレバー下げる

舞（イーグレット）「のぞみさん逃げて逃げて逃げて！」

ハンター放出まで：34秒

ハンター3体 放出確定

つぼみ（ブロッサム）「下げた…下げた…下げた！のぞみさんがレバーを下げた！」

これで賞金は、1秒400円となる。

間もなく、ハンター放出！

レバーを下ろした者も…下ろさなかった者も…全員がこの指令の結果を、受け入れなければならぬ！

1  
0  
∴

9  
∴

8  
∴

7  
∴

6  
∴

5  
∴

4  
∴

3  
∴

2  
∴

1  
∴

0  
∴  
ミツモンの  
指令終了

ガチャン 最初の籠コケが開いた

3体のハンターが、エリアに解き放たれる！

ブルルルル プルルルル 結果のメール

ほのか（ホワイト）「来海えりか∴・春日野つらら・夢原のぞみ  
によりハンターが3体放出！合計4体、賞金は1秒400円と成っ

た！』…えりかさんも！？」

えりか（マリリン）「御免ね…本当に御免ね皆、でも『賞金は1秒400円と成った！』おおっ！」

全てのハンターが放出され、その数は合計4体に増えた！

つぼみ（プロツサム）「いやいやいやいや！これは駄目ですよ！」

いつき（サンシャイン）「やだやだやだ…やだやだやだやだ（滝汗）！」

奏（リズム）「いやいや駄目よ！4体なんて…」

なぎさ（ブラック）「のぞみ…のぞみ…おまつ…何しっ…何してんのよっ！（憤慨）」

のぞみ（ドリーム）「400円、800円…600円…400円…800円！凄いな〜！」  
タイマーの賞金を歩きながら数える

ほのか（ホワイト）「うららさんって、芸能人活動アイドルしてて、私達より裕福な方よね！？…どんだけ物欲に刈られてるの！？（呆）」

うらら（レモネード）「えりかさん…自首しましょ…自首！」

えりか（マリリン）「ええっ駄目だよ、駄目だよ（汗）」

うらら（レモネード）「だから電話の側まで行きましょう！」

えりか（マリリン）「ええっ駄目よ、駄目駄目！（汗）」

美希（ベリー）「結構、お金好きな人多いのね…」

ハンター放出により、賞金は1秒400円！  
逃げ切れば、276万円を手に来る！

**最後のハンター放出 - 欲望が招いた代償 - (後書き)**

のぞみが土壇場でハンター放出を決意したのが基で、3体全てのハンター放出が確定して、賞金は1秒400円になった。

残る逃走者は…17人！

## 恐怖・ハンターの増加が招いた事態 - (前書き)

前回までの粗筋あらすじ

指令ミッシェンに挑戦する為、貨物コンテナにやってきたひかりだが、既にえりかの手よによつて下ろされていた事が分かり、これ以上のハンターの増加を恐れて指令ミッシェンを断念。

一方、21番の貨物コンテナに程近い観覧者ビルにいたのぞみが、賞金アップ上昇と他にも仲間が沢山残っているという動機から、土壇場になってハンター放出を宣言。舞とつぼみが見る中で、レバーを下してしまい3体の放出が確定した。

これにより、賞金は1秒400円。逃げ切れば276万円を手に入れることが出来る。その代償は、ハンター4体の増加…

恐怖・ハンターの増加が招いた事態 -

のぞみ（ドリーム）「大分はお金増えたでしょ！」

つぼみ（ブロッサム）「確かに賞金は増えましたけど…」

のぞみ（ドリーム）「凄いでしょ！」

つぼみ（ブロッサム）「でも、このままだと皆捕まっちゃうですよ…」

のぞみ（ドリーム）「増やしてあげたんだから、私に感謝しなさい…！」

つぼみ（ブロッサム）「いやいや、感謝しなさい」って言われても（汗）…」

牢獄

祈里（パイン）「ガンガン賞金が上昇していますね。」

こまち（ミント）「凄いわねえ…」

かれん（アクア）「これは時給にしたら相当に高いわね！」

祈里（パイン）「あつ、見て下さい！豪い札束ですよ！」 目の前の賞金（276万円）の箱を指さす。

こまち（ミント）「78万円の時より増えてるわね。」

祈里（パイン）「見た事有りませんよね、こんな札束！」

かれん（アクア）「確かに、見た事は無いわ。」

祈里（パイン）「目の前に276万円が有るのよね！」

こまち（ミント）「かれん（アクア）「凄いわね。」

祈里（パイン）「私達は如何にか成らないのかなあ！」

こまち（ミント）「確かに、如何にかしたいわねえ。」

かれん（アクア）「これを持ち帰る人がいるって事に成るのかしら！？」

祈里（パイン）「そうですね！」

こまち（ミント）「何だか羨ましいわね。」

賞金は誰かが必ず獲得出来るとは、限らない。ハンターに捕まれば即失格となり、賞金は0だ！

なぎさ（ブラック）「くそ、アフリカのインパラって、こんな気持ちで毎日生きているの。もう…耐えられないわ。あたしだったらこの逃げ惑う生活が一生続くと考えると、耐えられなくなって自分からライオンの方へ行くわよ。」

一方、観覧者ビルの外で俯せに寝て状況を読んでいるこの人は…

ゆり（ムーンライト）「何で皆はそんな事をしちゃうのかなあ、金に目が眩んでさ！もう絶対何があるうとも逃げ切るって気持ちに今は傾いてるわ。『お金じゃ無いのよ、逃げ切るのよ！』って。これはもう一種の主題テーマというよりこれはもう哲学…否、超哲学フィロソフィーですね。」

ゴクツ 固唾を飲んだ。

つぼみ（プロツサム）「あっ…20万を超えています！20万8400…20万8800と。ああ何なんでしょうこの高ぶる感覚は！」

いつき（サンシャイン）「此処まではいい感じね。あんまり『ピコリ』が感じられないわ。」

ポプリ「『ピコツた』ってどういう意味でしゅ？」

いつき（サンシャイン）「えっと…『ピコツた』って言うのは、えりかに教えられたんだけど所謂ピコピコよ。通信系の類たぐいに入るわね。ハンターが居るなあみたいな気配キウイよ。逢いたくないと思ってる時に限って逢っちゃうみたいなの。例えば友達に連絡しようと思ったら向こうから掛かって来るじゃない。あっ…今俺も電話しようと思っってたんだ！』みたいなの…そういうのを『ピコツた』って言うの。」



ハンターは神出鬼没。何時何処で現れるか、分からない。

ほのか（ホワイト）「ヤバい…ハンターが来てる。逃げよう！」

ハンターを目撃し、駐車場を離れてアイランドエリアの内部に侵入した、キュアホワイトこと雪城ほのか。

ほのか（ホワイト）「ハンターが、こっちに向かってるわ。」

咲（ブルーム）「向かってるのですか!？」

ほのか（ホワイト）「さっき、見たけどこっちに来そうなの。」

近くにいた咲も移動する。その前方に、先程の指令を断念したひかり。

ほのか（ホワイト）「あっ…ひかり。貴女、ハンターを放出しなかったの!？」

ひかり（ルミナス）「放出しようと思っていましたけど、皆が先に放出されていました。」

ほのか（ホワイト）「貴方は偉いわ！」

咲（ブルーム）「ヤバいわ!固まっちゃってる!」

ハンターが、3人に接近。

ほのか（ホワイト）「もう…後輩達は何て事をしてくれてるのよ!本当に。」

柱の陰に隠れるほのか。

ひかり（ルミナス）「ちょっと此処は怪しくなって来たから。向こ

うへ移動するわ。」

駐車場へ向かうひかり。

咲（ブルーム）「ハンターが1体いる！向こうへ行っただわね、よし離れよう！」

3人のいるアイランドエリアに、ハンターが侵入！そして見付かったのは…

ひかり（ルミナス）「来た。！」

駐車場へ向かうひかりだった。その間にほのかは、アイランドエリアの内部を走り難を逃れた。

一方ひかりは、駐車場の貨物コンテナを利用して走る続けるが距離が縮まらない。最早、逃走不可能…

ひかり（ルミナス）「きゃっ！」 ポンッ

ゲーム残り時間：103分46秒

賞金：269,600円

九条ひかり（シャイニールミナス）確保  
残り16人

ひかり（ルミナス）「さ…最悪だわ。私は何もしていないまま、終わっちゃった！」

一方ほのかは、アイランドエリアの内部を奥まで走り柱の陰に身を隠しながら、息絶え絶えに座り込む。

咲（ブルーム）「こっ…こえーよ、こえーよ！」

ほのか（ホワイト）「ヤバい！ハアツ…ハアツ…こっちに來てたわね…」

えりか（マリリン）「あつ…『九条ひかり確保！残り16人』」

奏（リズム）「何で、3人もレバーを下しちゃうのよ！えりか以外…絶対に許せない（激怒）！！」

これで、残る逃走者は16人となった！前の指令でハンターが4体に増え、発見される確率は、高まっている。

つぼみ（プロツサム）「如何しますか！？4体に増えちゃいましたし…」

奏（リズム）「如何するも何も、『痛い子グループ』どうする！？」

つぼみ（プロツサム）「いやいや勝手に『痛い子グループ』に入れないで下さい！」

奏（リズム）「貴方は私と同じで面食いな所が有るから、『痛い子グループ』だから協力しないといけないのよ！」

つぼみ（プロツサム）「違いますよ、奏さん！私は今日は本当に英雄に成りますから！」

奏（リズム）「つぼみも私と同じように自分の世界に入り易いんだから、其処は認めなきゃいけないのよ！」

つぼみ（プロツサム）「何を言ってるんですか、冗談は止めて下さい！今日は絶対覆して見せますから。その『痛い子』としての群像を！」

## 恐怖・ハンターの増加が招いた事態 - (後書き)

発見される確率が高まった逃走劇。

そしてこの後、プリキュア達とハンターだけのエリアに、招かれざる者が続々と登場する。

ひかりが捕まり、残る逃走者は…16人！

~~~~~

配役情報？

九条ひかり(シャイニールミナス) 〃 片山裕介(ヒカリゴケ)
状況が何であろうとも、全ての指令に挑戦する姿勢を構えていそ
うだったひかりは、動機はあれですが、最初の指令にも挑戦させる事
を決意させました。片山さんとは、決して「ひかり」繋がりではあ
りません。

指令開始（ミッションスタート） - 現れた偽装（ダミー）ハンターと一般客（オ

前回までの粗筋 あらすじ

前の指令でハンターが4体に増加してしまい、発見される危険性が高まったが、それと同時に賞金は1秒400円に跳ね上がった。これで逃げ切れば276万円を手にする事が、出来るようになった。

そんな中、ハンターを発見し駐車場から離れたほのかは、近くに居た咲と先程の指令を断念したひかりと合流したが、3人のいるエリアへハンターが侵入してしまう。そしてひかりが確保されてしまった。

残る逃走者は…16人。

指令開始（ミッションスタート） - 現れた偽装（ダミー）ハンターと一般客（オ

プリキユア達が逃走劇が繰り広げる中、クロノス社では…

月村「では、次の指令ミッションです！ハンターのサングラスに注目して下さい。」

幹部A「何か仕掛けがあるのか？」

月村「ハンターが装着しているサングラスには、逃走者の顔が記憶メモリーされています。彼等は逃走者がそうでないかを識別し、確保へ向かいます。」

幹部C「ふふふ…識別すると言ってもエリアに逃走者しか居ないから、意味が無いだろう…。」

月村「大丈夫です。」

識別を証明する為に、月村は世界地図から、エリアのある地点をタッチし、エリアに画面が変わった。

次の瞬間、エリアに大勢の『一般客』と、3体の『偽装ハンター』ダミーが現れた。

更に駐車場のトレーラーからは、『本物のハンター』ボックスが入った箱が出現した。

幹部A「どうするつもりだ？」

月村「此方を御覧下さい。…『偽装ハンター』ダミーを拡大！」

パネルに偽装ハンターダミーが映る。

月村「ミレイ…説明を！」

望月「はい！今投入した偽装ハンターダミーのサングラスに注目して下さい

い。」
幹部A「縁フレームに色が付いているな。」
望月「はい！彼等が装着しているサングラスには、逃走者を記憶メモリーしておりません。つまり、逃走者を見つけても、確保はしません。次はこの偽装ハンターダミーを使った指令ミッションを逃走者に発動します。」
幹部A「成る程…楽しみだな。」
望月「はい！有難う御座います。」

そして、指令発動により、会場スタジアムの熱気も上々だった。

そんな中、望月の下に「MESSAGE」の文字が現れ、『JUST do it - 実行せよ -』と書かれた内容を見るなり、望月は月村の下へ向かう。

望月「月村さん！…メインサーバーに予想以上の負荷が掛かっています。」

月村「分かった。直ぐに点検チェックして来てくれ。」

望月「はい！急いでいきます。」

こうして望月は司令室を後にしたが、その途端に表情が豹変。更にインカムから幹部Cの声がして来た。

幹部C「上手く抜け出せたな…ミレイ」

望月「そんな事よりお忘れ無く…巧くいけば、約束通り二階級昇進ですよ。」

幹部C「ふふふ…悪い女だ。抜かり無く遣れ！全ては『あの計画』の為に。」

エリアに戻り、ボウリング場にやって来たなぎさは驚く。

なぎさ（ブラック）「あれ？さっきまで誰も居なかったボウリング場に、一般人が入ってる。」

ガラン ストライクを決めた

なぎさ（ブラック）「これはどういう事なの？」

せつな（パッション）「人が普通に歩いてる。え…これは普通の人でしょ！？ほら…普通の人があんまり来てるわ！」

くるみ（ローズ）「ちよつと駐車場から離れよう！」

ブルルルル プルルルル

くるみ（ローズ）「んっ？」

メールだ！

いつき（サンシャイン）「ええ！？又『指令』だつて。」

のぞみ（ドリーム）「『コンテナ貨物に赤・青・黄のハンターボックスがある。』」

ゆり（ムーンライト）「『残り85分までにそれぞれのボックスと同じ色のカードキー鍵を挿入しなければ、ハンターが放出される。』」

舞（イーグレット）「『カードキー鍵はエリアに投入された3体のダミー偽装ハンターの…胸ポケット！？』偽装ハンターって何よ！？」

MISSION? ハンター放出を阻止せよ！

駐車場のトレーラーから、3つのハンターボックス出現。残り85分になると、3体のハンターがエリアへ解き放たれる。阻止するには、ボックスと同じ色の鍵を挿入しなければならぬ。

鍵を持つているのは、3体の偽装ハンター。本物のハンターと違い、色の付いたサングラスが目印となる。鍵は彼等の胸ポケットに入っている。

尚、偽装ハンターは、エリアを唯歩き続け、逃走者を視界に捉えても追わない。

せつな（パッション）「『赤・青・黄のサングラス』…ようしこれは見つけよう！」

咲（ブルーム）「やるよ。だってハンターを増やしたくないしさ！」

ほのか（ホワイト）「これは偽装ハンターを見つけて食い止めないと！自分の為にも…そして皆の為にも！」

つぼみ（プロッサム）「指令は勿論遣ります！私は今日、英雄に成りますから！」

えりか（マリリン）「エリアに投入したってことは、3体の偽装ハンターをその辺で見つけなきゃいけないのよね…」

うらら（レモネード）「あれ…」
駐車場で、遠ざかるハンター（赤の偽装）の後ろ姿を指差す

えりか（マリリン）「待ってよ、本物だったらどうするの？」

うらら（レモネード）「あれはハンターですよ…」

えりか（マリリン）「ハンターだけど、あれが本物だったら捕まっちゃうよ。」

偽装^{タミ}か本物かを見分けるには、危険^{リスケ}を冒し、近付かなければならぬい。

つぼみ（ブロッサム）「何処に居るんでしょう…偽装^{タミ}ハンターは！
？あれですかね？…ただよく解りません…眼鏡を持ってくれば良かったです。」
ハンター（赤の偽装^{タミ}）を発見したが、近付けない

本物のハンターは、サングラスに記憶^{メモリー}された逃走者だけを識別。発見次第、直ぐ様…確保へと動き出す。

ラブ（ピーチ）「全身が黒で一見ハンターかと思いきや、眼鏡は色違いだから、直ぐに判りやすいのね。」

但し、見付けたハンターが、偽装^{タミ}である保証はない！

ラブ（ピーチ）「その辺に止まってるのかなあ？…うろろろしてるよね。」

偽装^{タミ}か…

ラブ（ピーチ）「成程ね！」

それとも…本物か！？

ラブ（ピーチ）「!？」

いつき（サンシャイン）「何何何？」

いつきと鉢合わせしたラブが、アミューズメントビル1階通路から出てきた黄色の偽装^{タミ}ハンターを発見した。

ラブ（ピーチ）「あっ、偽装ハンターだ！」

いつき（サンシャイン）「??？」

ラブ（ピーチ）「はっけ〜ん これだ！これで幸せと鍵、ゲットだよ！」
抱き付いた後に鍵を抜き取る

ゲーム残り時間：97分05秒

賞金：430,000円

桃園ラブ（キュアピーチ）
黄鍵獲得

ラブが、黄色の鍵を、獲得！

ラブ（ピーチ）「鍵あげる！」

いつき（サンシャイン）「えっ…何で私に行かせるの？」

鍵を

渡された

ラブ（ピーチ）「いやいや行ってよ！」

いつき（サンシャイン）「ええええ…」

ハンター放出を阻止するには、此処からボックスまで移動しなければならぬ。

更に鍵を持ったまま捕まれば、同じ色のボックスからハンター放出が確定する。

責任は……重大だ！

いつき（サンシャイン）「でもまあ…追っ掛けて来たら、私は脚が速いので置いて行きますわよ！」

ラブ（ピーチ）「いやいやちょっと待ってよ〜！」

なぎさ（ブラック）「ヤバい上ってきた！」

アミューズメントビルのエスカレーターを上るハンターを見付け、

ボウリング場に逃げ込むなぎさ。

本物か！？偽装か！？^{ダミ}

なぎさ（ブラック）「今出るのは危険だわ！中に入ってしまった……こ
つち（入口の隅っこ）に来たらもうアウトよ。」

現れたのは……本物だ！

指令開始（ミッションスタート） - 現れた偽装（ダミー）ハンターと一般客（オ

果たして鍵を手に入れたラブといつき、そして本物のハンターに接
触寸前のなぎさの運命やいかに！？

残る逃走者は、未だ16人。

危機一髪・本物のハンターとの接触・（前書き）

前回までの粗筋あらすじ

ゲームマスター・月村が次に発動させた指令ミッション。

彼は、エリアに大勢の一般客と偽装ハンターを投入し、偽装ハンターの胸ポケットにある鍵を入手して、本物ハンターが入っているボックスを封印する指令ミッションを発動。

そんな中ラブが、アミューズメントビル1階通路から出てきた黄色の偽装ハンターと遭遇し、いつきと共に黄色の鍵を入手した。一方、アミューズメントビルのボウリング場に居たなぎさは、本物のハンターがボウリング場に侵入し、大危機ピンチに陥っていた。

危機一髪・本物のハンターとの接触・

なぎさがいるボウリング場に、本物のハンターが侵入。

なぎさ(ブラック)「今出るのは危険だわ！中に入ってしまった…こ
つち(入口の隅っこ)に来たらもうアウトよ。」

果たして…遣り過ごせるか！？

なぎさ(ブラック)「うっ…！！」 入口から奥を覗くが、直ぐ
に反応し再び隅っこに隠れる

出口を出てそのままアミューズメントビルのエスカレーターを降り
てしまい、気付かれなかったようだ。

なぎさ(ブラック)「ふう、ぶっちゃけ危なかったあ！」

ハンター放出を阻止出来なければ、その数は最大7体に増える。

ラブ(ピーチ)「あっ…託そう託そう託そう！」

いつき(サンシャイン)「え…託しちゃうの！？」

黄色の鍵カードキーを持つ、ラブ。

ラブ(ピーチ)「ここここ…！！ほのかさん此処よ」

いつき(サンシャイン)「ラブ…声でかい…でかいよ！」 叫ぶ

ラブにカメラ目線で指差す

ほのか(ホワイト)「あっラブさん！鍵カードキーを見付けたのね！」

ラブ(ピーチ)「はいやってー！」

ほのか（ホワイト）「ええっ！？（汗）」
鍵を渡された

ラブ（ピーチ）「早くやって下さい！」

ほのか（ホワイト）「私が！？…貨物は何処？」

ハンター放出を阻止するには、鍵を同じ色のボックスに、挿入しなければ成らない。

但し動けば、ハンターに見つかる危険が高まる。

咲（ブルーム）「急がなきゃ！85分：あと10分も無い」
手の時計とにらめっこ。（残り時間：94分15秒）

観覧車ビル2階のエスカレーター前の柱の影から周囲を窺う、キュアムーンライトこと月影ゆり。

ハミィ「Wikipediaで見たんニヤけど、ゆりは生身でも強
いって書いてあったけど本当かニヤ！？」

ゆり（ムーンライト）「えっ！？生身でも強い？」

ハミィ「そうニヤ！」

ゆり（ムーンライト）「そんなには力はないと思うわ。まあ確かに
スナッキー程度ならば蹴散らす事もあるけど…」

ハミィ「凄いニヤ〜！」

ゆり（ムーンライト）「私より凄い人はいっぱい居るわ。…ちよつ
と駄目ね、動けないわ。」

残り85分迄に、偽装ハンターが持っている鍵を獲得し、ボックス
に挿入しなければ、本物のハンターが放出される。

ポプリ「ハンターはどうでしゅ？」

いつき（サンシャイン）「まあ格好良いとは思っわ。だって私達よ
りは背は高くない？」

偽装^{タミ}ハンター」を探しに、アミューズメントビル^{タミ}の正面入口にやって来た咲。

咲（ブルーム）「くっ…」 ゲームセンターから出てきたハンターを発見し、壁を這^はう

近付かなければ、偽装^{タミ}かどうか見分けがつかない！

咲（ブルーム）「なんかさく見え方がさあ、皆黒に見えるんだけど…」

いつき（サンシャイン）「また…隠れよう！」

慎重派のキュアサンシャインこと明堂院いつき。

その近くに、アミューズメントビルから抜け出して来たハンター。

いつき（サンシャイン）「…不味い！」 ビルの非常階段前から近づくハンターに気付き、一本道を走る

気付かれていないようだ。

咲（ブルーム）「ヤバイ！来たっばい！…あっいつき！もしかしてハンターを見た!？」 いつきのいる方向へ一本道を走り、向こうから走ってくるいつきを発見

いつき（サンシャイン）「分かんない！来ちゃっつかも！」

咲（ブルーム）「でも、其処にも居るよ！」

いつき（サンシャイン）「えっ…！（汗）」

此処は…一本道だ！

いつき(サンシャイン)「どっ…どっちも不味いような気がするわ
!(汗)」

咲といつきの居る一本道にハンターは徐々に接近。そして非常階段
の下を潜り抜けたハンターが…

咲(ブルーム)「ちょっと判らなくな…来た!」
いつき(サンシャイン)「えっ…!(汗)」 つられて逃げる

逃げる咲といつき。最初は近くに居た咲がハンターの標的だったが、
一本道を走っている内に、咲が途中でいつきを追い越してしまい標
的はいつきに変わり、そのまま逃走不可能…

いつき(サンシャイン)「あっ…!!」 ポンッ

ゲーム残り時間：91分31秒

賞金：560,800円

明堂院いつき(キュアサンシャイン) 確保
残り15人

いつき(サンシャイン)「なっ…何で!? 発見したの私じゃないの
に…! えええええ」

咲(ブルーム)「怖い…本^{まじ}気で怖い。…如何しよう! 思わずいつ
きを追い抜いちゃった…」

くるみ(ローズ)「明堂院いつき確保、残り15人!」

のぞみ(ドリーム)「私は残ってるもんね」

危機一髪・本物のハンターとの接触・（後書き）

咲が追い越してしまったことにより、いつきが確保された。

残る逃走者は…15人！

~~~~~

配役情報？

明堂院いつき（キュアサンシャイン） 〃 道端アンジェリカ  
元々は執筆を開始する段階で、待ち受けに怯えていたのをヒントに  
虹川さんをやらせようと思いました。録画した映像を見ていたら、  
道端さんが「ピコった」発言をしていたので、ストーリーが進めば  
徐々に垢抜け始めていたいつきに言わせたほうが自然だと思い、道  
端さんを担当しました。

## 鍵（カードキー）発見・伝説の戦士の正念場・（前書き）

前回までの粗筋あらすじ

ボウリング場にハンターが侵入したが、辛うじて難を逃れたなぎさ。

一方黄色の鍵カードキーを持っていたラブといつきは、途中でほのかを発見して鍵を託した。

そして、いつきは偽装ハンターを探していた咲と一本道で遭遇。

その一本道でハンターに咲が発見されてしまい逃走劇を展開したが、途中でいつきを追い越してしまいあるうことかいつきが確保された。

鍵（カードキー）発見・伝説の戦士の正念場・

ハンター放出を阻止するには、ボックスと同じ色の鍵を、挿入しなければ成らない。

黄色の鍵を持つほのかが、颯爽と駐車場を走る。

えりか（マリリン）「何々？ハンターが来ちゃうの？」  
うららと  
一緒に走るほのかを目撃

危険を顧みず、ハンターボックスの封印にやって来た！

ほのか（ホワイト）「これね！」

ガコン 黄色の鍵をボックスに挿入

ゲーム残り時間：90分49秒

賞金：580,400円

雪城ほのか（キュアホワイト） 指令成功

黄色のハンターボックス封印！

ほのか（ホワイト）「ハアツ…ハアツ…ハアツ…き…君達が放出するから…君達が放出させるから…」（滝汗）  
駐車場のベンチに  
屈み、えりかとうららを息絶え絶えに責める

えりか（マリリン）「し…ごめんなさい！本当に御免なさいほのかさん！（汗）」

うらら（レモネード）「御免なさい…！」

えりか（マリン）「止めよう！やっぱり放出を止めよう！」  
うすら（レモネード）「そうですね！頑張って探しましょう！」

残るボックスは、赤と青の2つ。ハンター放出を阻止するには、偽装ハンターを探し、鍵を手に入れなければ成らない。

奏（リズム）「ハンターが……見えない」

アイランドエリアの路地で、ハンターに見つかった奏。近くに居たミルキイローズこと美々野くるみも巻き添えに……

くるみ（ローズ）「ヤバい！（汗）」

2人共、上手く撒いたようだ。

くるみ（ローズ）「如何しよう！自首しちゃうかなあ」（汗）」

奏（リズム）「あつ……丁度ハンターだ！」

偶然、逃げた先で偽装ハンターを見つけた奏。

奏（リズム）「赤のサングラスで……鍵が有った！」

ゲーム残り時間：88分23秒

賞金：638,800円

南野奏（キュアリズム） 赤鍵獲得

奏（リズム）「我ながら賢いわ！ようし……気合の調理術、見せてあげるわ！」

鍵をボックスに挿入すれば、ハンター放出を阻止できる。しかし、動けば捕まる危険が高まる。

偽装ハンターを探すえりか。

えりか（マリリン）「うう…やっぱり怖いよ。皆の為に頑張りたいけどさ…ここで…」

ハンターに近付くのは、かなりの危険を伴う。

美希（ベリー）「えりかに電話するわ！…あつ、えりかが居た！」

ガレージシヨップエリアで、えりかに電話をかけようとしていた美希がえりかを発見。しかし、既に舞と相談していた。

舞（イーグレット）「えりかさん。偽装ハンター居ました？」

えりか（マリリン）「あたしも、偽装のハンターを探してるんだけど…」

舞（イーグレット）「ちょっとやばいって…」

その様子を見た美希は

美希（ベリー）「えりか…舞と浮気してるわね…私は、えりかの為に助けようとは思ってるわ。」

そして舞に近付いて一言…

美希（ベリー）「舞！…ちょっと来て！」

舞（イーグレット）「ん??…何ですか美希さん。」

美希（ベリー）「あんまり…あたしのえりかに必要以上に仲良くし

ようとなしないでね!」　　そう言いながら離れる  
舞（イーグレット）「な…何なの貴女!お〜い、偽装ダミーのハンターは  
何所に居るの!?!」

偽装ダミーか本物かを見分けるには、近付いて、サングラスの色を確認す  
るしかない。

奏（リズム）「ようし…来たわ!」

赤の鍵カードキーを持っている奏が、ボックスに到着。

奏（リズム）「差し込むわよ。…えいつ!」

ガコン　　赤の鍵カードキーをボックスに挿入

ゲーム残り時間：8分58秒

賞金：672,800円

南野奏（キュアリズム）　　指令成功ミッションクリア

赤のハンターボックス封印!

奏（リズム）「ようし…後一個!青だけ来てないのね。」

残る青のハンターボックスを封印するには、青の偽装ダミーハンターを探  
さなければならぬ。



鍵（カードキー） 発見・伝説の戦士の正念場・（後書き）

ほのかと奏の二大白<sup>ホワイト</sup>プリキュアの活躍によって2体のハンター放出は免れた。

残るは青のハンターボックスを封印するだけ。

指令（ミッション）終了・阻止と思いがけぬ逃避・（前書き）

前回までの粗筋あらすじ

ラブに否応無しに黄色の鍵カードキーを託されたほのかが、ハンターボックスの封印に成功！

前の指令でハンターミッションを放出させて以来、駐車場にいたえりかとうらはら、ボックスを封印したばかりのほのかに息絶え絶えに諭され、指令ミッションに参加。

一方、一度ハンターに追われた奏は、逃げた先で赤の偽装ハンターダミーを発見して鍵カードキーを入手。そのまま封印に成功した。

残るハンターボックスは青の1つ。青のハンターボックスを封印するには、青の偽装ハンターダミーを探さなければならない。



ハンター放出まで50秒を切った。阻止出来るかは、せつなに託された。

うらら(レモネード)「あと…何分ですか？」

牢獄

かれん(アクア)「ちよつと不味いわよ！」

祈里(パイン)「やっぱりハンターを、3人は出しちゃ駄目よ。」

かれん(アクア)「出しちゃ不味いつて！」

ハンター放出まで…間もなく20秒。

せつな(パッション)「あつ、よっしゃあ！トレーラーに着いたわ！！」

舞(イーグレット)「青…あつせつなさん！青の鍵カードキーを見付けました！？」  
トレーラーを走るせつなを目撃

せつな(パッション)「此处にあるわ！これでチェックメイトよ！」

ガコン 青の鍵カードキーをボックスに挿入

ハンター放出まで：7秒

東せつな(キュアパッション) 指令成功ミッションクリア

せつな(パッション)「ようし…青、封印ロック！全部封印したのね、よし！精一杯頑張ったわ…」

これで…3つ全てのハンターボックスが、封印された！

つぼみ（ブロッサム）「もう…何をやってるんですか私は…」

未だ指令で活躍できない少女。

つぼみ（ブロッサム）「今日は英雄に成りに来たんでしょ私は…」

そこへ奏がやって来た。

奏（リズム）「唯の大口叩きなだけでしょ。」

つぼみ（ブロッサム）「いやいや、貴女だって何もしてませんよね！？」

奏（リズム）「じゃあ、次のメールをご覧ください。」

つぼみ（ブロッサム）「メールですか！？」

プルルルル プルルルル

ゆり（ムーンライト）「ほう…『指令成功！』」

つぼみ（ブロッサム）「『雪城ほか・南野奏・東せつなの活躍により、ハンター放出は無し』！はっ…か…奏さん！」

奏（リズム）「ふっ…」 近くの電信柱から顔を出して、ドヤ顔をしながら近付く

せつな（パッション）「まあ自分が言う事じゃないけど、凄い勇気ね。」

ほか（ホワイト）「普段体力的に絶対活躍しない3人よ！嬉しいわ！やったわね奏さん…せつなさん！」

指令成功により、ハンターの数は4体のまま。

奏（リズム）「まあ私は…当然の事のように、気合の調理術を見せてあげただけだわ。…唯の大口叩きな…誰かさんとは違うから…」

つぼみ（ブロッサム）「ちっ…畜生…」

奏（リズム）「まあ…頑張りなさい。」

差を付けられた。

つぼみ（ブロッサム）「ちっ…畜生…」

奏（リズム）「私の背中が大きく見えるでしょ？」

つぼみ（ブロッサム）「私、堪忍袋の緒が切れました！…絶対奏さんには負ける訳にはいきません！」

牢獄

いつきが入獄して来た。

祈里（パイン）「いつきちゃん、お疲れ様です。」

ひかり（ルミナス）「いつきさん、ご苦労様です」

いつき（サンシャイン）「いや…さつきね。完全に私と同じ様に体力のある奴を信用して…そしたらハンターが来て、そこで『危ないよ！』って言いながらも、さらつと追い抜かれてしまっ…」

ひかり（ルミナス）「えっ…誰にですか？」

いつき（サンシャイン）「えっと…咲に。」

こまち（ミント）「咲さんにですか!？」

かれん（アクア）「そんな…咲はそんな事をするのかしら？」

祈里（パイン）「咲ちゃんがそんな事をする筈が無いって…私、信じてる！」

咲（ブルーム）「いやあ…さつきいつきを追い越しちゃったから、心が…痛いわね。『来たよ！』って言うっておきながら、横を摺り抜<sup>す</sup>けちゃったから（笑）」

舞（イーグレット）「昔から…鬼ごっこしたら最後まで逃げ切れたので、もう最後まで逃げ切つて最終的に鬼が降参<sup>キブアツテ</sup>したから。だからそれ位自信に満ち溢れているわ。」

くるみ（ローズ）「そうね。2年前からマラソンを始めてて、まあ普通の道<sup>ロード</sup>を走るよりもトリアスロンのような山のレースとかに挑<sup>チャ</sup>戦<sup>レンジ</sup>したりしてるわね。後は色々なレースとかで鍛えてはいるし…」

せつな（パッション）「最初の目標（78万円）に行くよ、みんな見ててね。あつ今行つた、78万円を超えたわ…ふふふふ…」

カメラにタイマーを見せてあげた

ゲーム残り時間が82分30秒を切つた時点で、78万円を突破した。

せつな（パッション）「私はね、占いに凝っているから一番大きな水晶が欲しいのよ。ごめんね今までで言ってる事が全く変わったよ。276万円だったら、私の欲しい者が手に入りそうな気がするわ。」

但し、ハンターに捕まれば、即失格。賞金は…0となる。

なぎさ（ブラック）「何をしているの…あれは!？」

駐車場で人集<sup>だか</sup>りを見付けたなぎさ。どうやらバルーンアートが得意なピエロのようだ。

観客「おおー!!」

なぎさ(ブラック)「いや、確かに見たいけど…楽しんで見たいけど、ぶっちゃけいつハンターに出くわすかと思うと、怖くてそれどころじゃないわ!？」

舞(イーグレット)「ああ…ハンターが居るなあ。」

ハンターに発見された舞。細い路地を利用して上手く撒いたようだ。

舞(イーグレット)「ああ…ハンターが居るなあ。」

ガレージショップエリアを走る舞。しかし向かう先で先程撒いたばかりのハンターに見付かった。

舞(イーグレット)「いやー!!」

来た道を戻りが距離は縮まるばかり。そして駐車場を差し掛かった所で最早、逃走不可能…

舞(イーグレット)「きゃあっ!!」 ポンッ

ゲーム残り時間：80分17秒

賞金：833,200円

美翔舞(キュアイーグレット) 確保

残り14人

舞(イーグレット)「はあっ…はあっ…くそ、捕まっちゃったわー!!」 そのまま倒れこむ



咲（ブルーム）「ああ〜舞…捕まっちゃたの!？」

ラブ（ピーチ）「舞ちゃん捕まった!」

なぎさ（ブラック）「舞が捕まったかあ…案外舞は足が速い方なんだけどなあ…」

残るは14人。現在エリアには4体のハンター。彼等は逃走者を発見次第、すぐさま確保へと動き出す。

ラブ（ピーチ）「もういいや!ごめんねテレビの前のみんな。お金が無いので、自首（用電話）ボックスの前に来てるよ。」

シフォン「キュア」。

ソリー「何で自首するの?」って言うてるソソ。」

ラブ（ピーチ）「だってさ〜生活の足しにもならないもん。こうでもしないと…んっ!」

何かの気配を感じたラブ。どうやら、近くにいるハンターの気配ではない様だ。気配が消えたかと思うと、重い口を開き愚痴る。

ラブ（ピーチ）「こうでもしないと…!お母さんはくれないのよ。」

のぞみ（ドリーム）「わっ!」

ラブ（ピーチ）「ああっ（汗）!もう!」

上を見渡すと、のぞみが脅かしていた。

のぞみ（ドリーム）「びっくりしたな〜もう!」

ハンターは神出鬼没、油断は禁物だ!

奏（リズム）「わあ…1秒が400円にしたら、めっちゃ早いわねえ。だって最初は78万円を目指して頑張ってたんだから」

そこへ…

えりか（マリリン）「奏…そっちはどう？」

奏（リズム）「あっ…えりかだ。どうしよう」

回想

奏（リズム）『えりかとかこまちさんが遣ったら…私には何とも言えないわ？』

奏（リズム）『えりか以外…絶対に許せない（激怒）！！』

えりか（マリリン）「ハンター居る？」

奏（リズム）「ハンターは居ないよ。でも、来るかも知れないわ。だって私が来た方向から1体居たから。」

えりか（マリリン）「本当？」

ゲーム開始から、ずっとえりかの事が気になっていた奏。

奏（リズム）「私になんで話しかけようとしたの？」

えりか（マリリン）「えっ？」

奏（リズム）「だって…私、妄想に浸る痛い子だし…」

えりか（マリリン）「そんな事無いよ！だって優しいもん！」

奏（リズム）「本当？」

えりか（マリリン）「うん！だって私達の友達に痛い痛くないは関係無いじゃん！」

奏（リズム）「本当？」

えりか（マリン）「ホントの本当よ！」  
うらら（レモネード）「きゃ〜！」  
えりか（マリン）・奏（リズム）「（汗）！」

楽しい時間ひとときに、ハンター！

ラブ（ピーチ）「来た！ハンター来た！」

ラブも駐車場でハンターに気づき、近くに居た美希と合流。

美希（ベリー）「大丈夫！？いざとなったら助けるわよ、ラブ！」

ラブ（ピーチ）「要らん！自首：自首（用電話）ボックスへ行く！」

美希（ベリー）「えっ…もう自首する気！？」

ラブ（ピーチ）「もう自首するよ！」

美希（ベリー）「何考えているのよ！止めなさいって！」

ラブ（ピーチ）「やだやだ！自首するもん！」

美希（ベリー）「駄目よ！皆で頑張るんじゃないの！？」

ラブ（ピーチ）「もう嫌だ！絶対自首する！！！」

美希（ベリー）「恋と一緒だよ！最後の最後まで何が起きるのかわからないのよ！自首は止めなさいって！」

ラブ（ピーチ）「バイバイ、美希たん！」

しかし、自主用電話を通り過ぎた。

ラブ（ピーチ）「えっと…何処に有るの！？」

指令（ミッション）終了・阻止と思いがけぬ逃避・（後書き）

思い思いの逃走劇を繰り広げるプリキュア達だが、クロノス社ではゲームマスター・月村の知らない処で、ある陰謀が繰り広げようとしていた。

舞が捕まり、残るは14人。

~~~~~

配役情報？

美翔舞（キュアイーグレット） 〃 川田広樹（カレッジセール）
元々は執筆を開始する段階で、足の速い方でもあり、リリカルさんの「水面に眠る海神^{わたつみ}」でも活躍していた舞には、川田さんの逃走スタイルが近かったので、やらせるのは確定していました。川田さんは沖縄編では、はんにゃ金田さんと一緒に逃走成功を果たしていましたが、今回のオンエアでは余り目立っていませんでした。

暗躍・抽選という名の新たな試練 - (前書き)

前回までの粗筋^{あらすじ}

駐車場ビルにいたせつながら、青の偽装^{ダミー}ハンターを発見。残り鍵^{カードキー}を手し、放出まで残り7秒に差し掛かる時に、ハンターボックスを封印しハンターの放出を阻止した。

その後、舞が捕まり残る逃走者は14人になった。

当初の目標金額である78万円を超えた途端、金が無いという理由から自首へ向かうラブ。駐車場で美希に止められるが、言う事を聞かずに自首用電話へ向かう筈だったが、あるうことが通り過ぎてしまった。

暗躍・抽選という名の新たな試練

プリキユア達が逃走劇を繰り広げている頃、「逃走中」を開催しているクロノス社では、ゲームの心臓部であるサーバー室ルームに助手の望月ミレイが遣って来た。そして室内に幹部Cが入電してきた。

幹部C「順調か!？」

望月「はい! 逃走中のゲーム機構プログラムに侵入しました。」

幹部C「ようし! 月村のミスに見せ掛ける様、上手く遣れ。あの計画アイツには月村は邪魔だからな。ふはははは!」

ゲームマスター・月村の知らない所で、望月ミレイが2人の男を操作。彼等がこの後、思いも寄らない展開を引き起こす。

AI「ココマデノ集計ハ、観客動員10万1211人、スタジアム会場以外デノモニター数ハ、200万7635人デス」

幹部A「第1回から会場の席が粗埋まるとは、盛況だな。」

月村「では、次の指令ミッションに移る前にここで質問です。逃走者に選ばれたのは、全員伝説の戦士・プリキユアです。彼女達の魅力とは何でしょうか!？」

幹部A「例え、どんなに窮地に陥ってもかけがえのない仲間の絆と共に、危機ミッションを乗り越える事だ。」

月村「次の指令ミッション、その絆が本物かを試しつつ、人間性を楽しむ仕掛けを用意しています。ゲームは更に盛り上がります。」

月村は中央の画面をスライドさせた。するとそこには『NEW M ISSION』の文字が・・・

それをタッチすると、モニターに映し出されたのは先程なぎさが駐車場で見ただ体のピエロ。

すると突然、ピエロ達の動きが止まり次の瞬間、瞳が発光した。

牢獄

舞（イーグレット）「何か来ましたね。」

ピエロ「（ピアノニカの音）」

突如牢獄の前に現れた、2体のピエロ。一方はピアノニカを弾きながら、もう一方はカードを持ってきた。

取り出したのは、現在エリアに残っている逃走者達のカード。

こまち（ミント）「何だかカードを、混ぜてますね!?!」

かれん（アクア）「えっ私?」 ピエロに指名された

ひかり（ルミナス）「私もですか!?!」 同じくピエロに指名された

祈里（パイン）「かれんさんとひかりちゃん、引いて見て下さい。」

理由も解らぬまま、カード引くよう指示される牢獄の者達。かれんが引いたのは響、そしてひかりがひいたのはえりかのカード。そして、ピエロは立ち去った。牢獄の人達は何が何だか解らず、唯、呆然としていた。その時。

響（メロディ）「...!?!?...何で光ってるの」 左腕の装置が光った事に気付いた。

選ばれた響とえりかの腕に付けられた装置が起動した。

プルルルル プルルルル

くるみ（ローズ）「んっ!?! MISSION? だって...」

せつな（パッション）「ふはははははははははは（笑）」

つぼみ（ブロッサム）「ええええ（汗）！！！」

美希（ベリー）「嘘でしょ……」

えりか（マリン）「MISSION?…『抽選に因って選ばれた北条響と来海えりかは残り55分になると、強制失格となる』!?ええっ何でよ何でよ!私と響だけ…酷過ぎない!?海より広いあたしの心も…此処等が我慢の限界よ!」

ほのか（ホワイト）「強制失格になる!?!」

牢獄

かれん（アクア）・ひかり（ルミナス）以外「ええっ!」

かれん（アクア）・ひかり（ルミナス）「どっ…どうしよう（汗）!」

その内容には、牢獄からもどよめきが飛び交っていた。この後、衝撃の指令が降り掛かる!

暗躍・抽選という名の新たな試練 - (後書き)

謎の抽選によって左腕の装置が光った響とえりかの運命は!?

次回、衝撃の指令が逃走者である伝説の戦士に試練となつて降りかかる!

強制失格阻止・試されるは絆の力・（前書き）

前回までの粗筋あらすじ

クロノス社のゲームの心臓部であるサーバー室サーバールームに侵入した望月は、自らの昇進を懸け 月村を失脚させる為に幹部Cとの計画を実行。エリアに投入されていた 2人を制御しコントロール、ゲームの妨害へ動き出す。

一方 月村は次の指令ミッションを発動させる。それは、プリキユア達にとって絆の強さがどれだけの事かを確かめる、新たな仕掛けだった。

月村に操作された2体のピエロが牢獄に到着し、現在残っている逃走者の写真の入ったカードを確認させ、牢獄の面々は理由も解らぬままカードを引くように指示され、かれんとひかりが、それぞれ響とえりかのカードを引いた。

牢獄での謎の抽選によって、響とえりかの左腕の装置が突如光り出した。

そして、届いた新たな指令ミッションを知らせるメール。それは装置が光った響とえりかは、残り55分になると強制失格になってしまふという内容だった。

強制失格阻止・試されるは絆の力

えりか（マリン）「MISSION?」『抽選に因って選ばれた北条響と来海えりかは残り55分になると、強制失格となる』!?!ええっ何でよ何でよ!私と響だけ!海より広いあたしの心も!此処等が我慢の限界よ!」

響（メロディ）「さ!最悪だよ!何で私とえりかだけ!」

ほか（ホワイト）「彼女等が強制失格から逃れるには、腕の時限装置に暗証番号を入力しなければならない。』」

ゆり（ムーンライト）「但し暗証番号を知るには、他の逃走者の協力が必要だ。』」

MISSION? 強制失格を阻止せよ!

抽選に因って選ばれた北条響と来海えりかの2人は、時限装置の起動によって、残り55分になると強制失格となる。

阻止するには、時限装置に暗証番号を入力し、解除しなければならぬ。但しその番号を知るには、他の逃走者の協力が必要となる。

観覧車ビルとアイランドエリアには指紋認証装置が有り、逃走者全員（響とえりか以外）から指紋を認証して貰えば、駐車場のトレーラーが一斉に動き出し、暗証番号が現れる。

その番号は、時計台から確認出来る。

なぎさ（ブラック）「響!あたし一人の為にデンプシーロールを見せてくれたからね!行こう!」

咲（ブルーム）「よっしゃあ、行くよ！1ヶ所で良いのよね。」

ハミィ「どうするニヤ！？指令ミッションに参加するかニヤ！？

ゆり（ムーンライト）「遣るわ！」

美希（ベリー）「確かに指令ミッションの危険リスクは有るけど、えりかを助けたい
！」

レリー「別に響とえりかを助けなくても奏には賞金は変わらないし、
利点メリットは無いレレー！」

奏（リズム）「私への利点メリットは…無いようで有るわ！『私にとって大
切な二人』という利点メリットがね！響：えりか：待ってて！！」

ラブ（ピーチ）「分かるけど自首する！」

シフォン「プリ〜！」

ソリー「『認証してあげないの？』って言うてるソソ。」

ラブ（ピーチ）「しないよ！だって捕まるもん！」

指紋認証装置のある観覧者ビルは、目の前だ。

ラブ（ピーチ）「これ！？じゃあ認証してあげようかな…」 ビ

ルを発見

牢獄

祈里（パイン）「一人でも行かない人が居ると、えりかちゃんと響
ちゃんが脱落アウトって事に…」

こまち（ミント）「という事は、残り55分にえりかさんと響さん
助けようとしないと…」

祈里（パイン）「もしかしたら、誰かは裏切るなんて事も…」

いつき（サンシャイン）「それは…怖すぎるわ。」
ひかり（ルミナス）「これは行ってほしいですね…」

エリアには4体のハンター。えりかと響を助けに動けば、自らも確保される危険が高まる。

くるみ（ローズ）「もう…どうでもいい…本当はどうでもいいなんて思っちゃいけないけど…」

せつな（パッション）「助けていよ、そりゃ助けていよ。だって人間だもの！…助けていさ！でも…助けるときに私が助けられなかったらどうなる訳？」

ほのか（ホワイト）「私が例え協力しても、他の皆が協力しなかったら、えりかさんと響さんが強制失格になるのよね…のぞみさんは絶対分かってなさそうだなあ。」

のぞみ「……………」 呑気にシーサーの上で、ぐったりしている。

予感的中し、呑気だった。

えりか（マリリン）「はあっ…お願いだから、皆見捨てないでよ」

強制失格に選ばれた響が観覧車ビルにいたつぼみを発見。

響（メロディ）「つぼみ…お願い。腕が光ってしまったよ。」
つぼみ（ブロッサム）「うわあ！光ってます」

逃走者に協力を求める。

響（メロディ）「どうしよう…腕が光ってから混乱パニックに成って…」
咲（ブルーム）「OK響！」

つぼみ（ブロッサム）「遣るしか無いです！」

なぎさ（ブラック）「守り神シーサーの上で何をしてんのよ！」

のぞみ（ドリーム）「皆行つて来てよ！」

ラブ（ピーチ）「響…もしかして…！」

響（メロディ）「うん！」

のぞみ（ドリーム）「響ちゃんがなんか大変そうだし、制限時間が無いのよ。」

なぎさ（ブラック）「そうだよ…指紋認証に行こうよ。」

のぞみ（ドリーム）「助けに行つて来てよ！」

ラブ（ピーチ）「でも、全員でやらなきゃいけないんだよ。」

なぎさ（ブラック）「そうだよ！行くよ。」

響（メロディ）「有難う御座います！」

なぎさ（ブラック）「待つてて助けてあげるから！あたし一人の為にデンプシーロールとか見せてくれたからね。」

響（メロディ）「お願いします！」

のぞみ（ドリーム）「じゃあ…待つてて！」

この指令は、2人以外の逃走者には何の利点メリットも無い。行くかどうかは逃走者の自由だ。

えりか（マリリン）「あたしは時計台へ行けばいいのね。」

強制失格を免れるには、時計台に上り、そこから見える暗証番号を確認しなければならない。

ルルン「この指令ミッドマンに参加しないと、えりかと響が強制失格になるけどそれでも見捨てるきかルル？」

くるみ（ローズ）「それは…しょうがないじゃん！…うっ！…！」

前方に迫るハンターを見つけたくるみ。

くるみ（ローズ）「あのね、競争レースとかでもそうだけどね…他人ひとに構つてると、自分が前に進めなくなるのよ。」

勝負に、情けは無用。

くるみ（ローズ）「厳しいし可哀想だけど、仲間でも時には冷酷ドライに成らないと。」

その頃、指紋認証装置のある観覧者ビルには、2人を助ける為、次々と逃走者達が到着。

なぎさ（ブラック）「装置を見つけた！皆、ビルの下にあるよ。」

ビルの1階エスカレーター前に設置した装置に5秒間指を翳かざせば認証となる。最初に到着したのはのぞみ。

5秒間指を翳し、装置に「認証」の文字が浮かび上がった。

のぞみ（ドリーム）「ちょっとゆね。OK！？…じゃみんな遣つて！」

続いて咲。

咲（ブルーム）「よし…！」

更になぎさ。

なぎさ（ブラック）「よし！これで後は何人だ！？」

ラブ（ピーチ）「よし！」

ラブ…

ゆり（ムーンライト）「よし…よしよし！」

ゆり…つぼみも成功^{クリア}

つぼみ（ブロッサム）「遣りました！これで私も英雄^{ヒーロー}です！」

これで、あと6人。残り55分までに全員が認証^{クリア}しなければ、えりかと響は強制失格となる。

そして…ゲームマスターの知らない処で、逃走者が集まる観覧者ビルに、怪しい2人の男が侵入していた。

ラブ（ピーチ）「じゃあ…自首（用電話）ボックスに向かうわ。御免ね皆、100万を頂くわ。」

自首へ急ぐラブの近くに、ハンター。目標の100万はもう…目の前だ。

ラブ（ピーチ）「きゃーっ！」

見つかった。自首用電話に到着寸前にハンターに見つかり、電話を

通り過ぎ、駐車場へ走るが、追いつかれた。

ラブ（ピーチ）「あっ！」 ポンッ

ゲーム残り時間：65分55秒

賞金：1,178,000円

桃園ラブ（キュアピーチ） 確保

残り13人

ラブ（ピーチ）「あ〜ん、もうちょっとだったのに〜！」

つぼみ（ブロッサム）「『確保情報 桃園ラブ確保』！ラブさん捕まりましたね。」

なぎさ（ブラック）「指紋認証なんかに行かなかつたら…100万を貰えたのに（笑）。」

ラブ（ピーチ）「あたしの100万〜（泣）！」

ハンターに捕まれば即失格。賞金は0。

その頃、観覧者ビルでは怪しい2人の男が、周囲を窺^{うかが}っていた。

強制失格阻止・試されるは絆の力・（後書き）

殆どの者が助ける為に動く中、利点メリットの無さから動くこととしないくるみ。

このまま、えりかと響は強制失格になってしまうのか！？

そして、観覧者ビルには怪しい2人の男が、プリキュア達に迫っていた。

ラブが捕まり、残るは13人。

~~~~~

配役情報？

桃園ラブ（キュアピーチ） 〃 misono

執筆を開始する段階で、リリカルさんの「水面に眠る海神わたつみ」でも自首しか頭に入っていなかったラブは、misonoさんをやる事を決定してました。今後もラブは、自首を念頭に考えそうな逃走者の配役ばかりやりそうかもしれませんが、因みにmisonoさんは、2008年に放送された浅草編では、自首には成功しているそうです。

## 決心 - 指紋認証と怪しい男達 - (前書き)

前回までの粗筋あらすじ

新たに課せられた指令ミッション。それは抽選で、腕の時限装置が光った響とえりかが残り55分までに強制失格から逃れるには、逃走者全員（響とえりか以外）から指紋を認証して貰って、駐車場のトレーラーを動かして、時計台から見える暗証番号を入力しなければならぬという内容だった。

2人を助ける為に続々と動き出し、指令前ミッションから自首を図っていたラブも、ビルが近かったので助けに向かった。だが、ハンターと遭遇したくないくるみは行くこととはしなかった。

観覧車ビルで、のぞみ・咲・なぎさ・ラブ・ゆり・つぼみが認証に成功し、これで未認証は6人となった。

その後、自首用電話へ向かったラブだったが、到着寸前で脇道からハンターが現れそのまま確保され、これで残り13人となった。

そして観覧車ビルには、望月が操作している怪しい2人の男が周囲を窺うかがっていた。

## 決心 - 指紋認証と怪しい男達 -

なぎさ（ブラック）「咲…この間札幌での模擬戦前の練習で、本塁<sup>ホーム</sup>打を打って御免ね。」

咲（ブルーム）「いやいや、気にしないで！これからも宜しくね！」

なぎさ（ブラック）「うん！」

詳細は、ピッキーさんの作品「プリキュアオールスターズ 野球で真剣勝負！！プリキュアドリームカップ」を見てください。

そんな二人の前に…怪しい2人がやって来た

男A（演：安達健太郎（カナリア））「あの…すみません。」

なぎさ（ブラック）「咲（ブルーム）「!？」」

男A「プリキュアのキュアブラックさんですよね!？」

なぎさ（ブラック）「そうですね…」

男B（演：ボン満黒（カナリア））「キュアブルームさんですよね!？あつちよつとすみません。」

男A「写真…良いですか!？1枚だけ！」

なぎさ（ブラック）「全然良いですけど…何で!？（どうみても友達さんよね!？）」

男B「あの写真を一緒に撮らして貰っても大丈夫ですか!？」

咲（ブルーム）「良いけど…（明らかにボンさんだ）」

男A「すみません。もうちよつと寄って頂いて良いですか!？」

なぎさ（ブラック）「ん!？」

男A「良いですか!？」

なぎさ（ブラック）「うん。」 背中謎の装置を付けられた（本人は気づかない）

カチッ デジカメのシャッター

なぎさ（ブラック）「あたししか、写らくない!？」

そして、咲の方でも…

咲（ブルーム）「……」 背中に謎の装置を付けられた（本人は気づかない）

男B「あっはい！有難う御座います。すみませんどうも!」  
咲（ブルーム）「いえいえ。」

怪しい2人の男は謎の行動を執り、立ち去った。

えりか（マリリン）「あれね。」 駐車場から時計台を目撃

時計台を指すえりかと響。全員が協力してくれば、装置を解除する暗証番号が駐車場に現れる。

せつな（パッション）「自首は…したらどうなるの!？自首したら私の認証は要らない訳!？」

自首を申告すれば、ゲームから脱落と成る為、指紋認証リタイヤの必要はなくなる。真剣な表情をしたせつなが重い口を開いて出た答えは…

タルト「パッションはん、助けますか!？」

せつな（パッション）「……助けるわ!」

ハンターに見つかる危険を冒し、2人を救う事を選んだせつな。

せつな（パッション）「助けるさ〜!行くよ…指紋認証装置!」

障害物を利用し、軽快にエリアを移動するほか。

ほか（ホワイト）「行くわ！えりかさんと響さんを助けるわ。」  
ミッブル「どうしてほかは、利点メリットの無いと知っててえりかと響を助けに向かう気に成ったミポ？」

ほか（ホワイト）「だって…抽選で選ばれたのは…自分かも知れないでしょ…それに皆を見捨てられないわ。行くわ。」

カンツ 布風の金属オブジェが肩に激突

ほか（ホワイト）「痛ッ…ぬ…布じゃないの!？」

1人でも協力して貰わなければ、えりかと響は強制失格となる。残り63分を切り指令終了まで後8分。一方、未だ指紋認証をしていないうらはは…

うらら（レモネード）「如何しようかなあ…私1人で自首しよう。」

賞金が120万円を超えたことにより、手堅く賞金を持ち帰ろうとするうらら。その近くに…ハンター。

うらら（レモネード）「……」 しゃがみながらトレーラーを移動。

20番の貨物コンテナを利用し上手く躲かわしたが 見通しの良いエリアでは隠れ場所がなく、ハンターに見つかった。

うらら（レモネード）「あっ…来た〜！」

更に逃げた先にも別のハンターが現れ、広い駐車場に逃げ場がなく

なり牢獄前で力尽きた。

うらら（レモネード）「あっ〜！」 ポンッ  
牢獄一同「ああっ」

ゲーム残り時間：61分52秒

賞金：1,275,200円

春日野うらら（キュアレモネード） 確保  
残り12人

うらら（レモネード）「捕まった〜…！くっそ〜、挟み撃ちなんてきついわ〜。」

つぼみ（ブロッサム）「『春日野うらら確保』！…」

ほのか（ホワイト）「ハンターを放出するから…」

強制失格の制限時間タイムリミットが迫る響が、くるみを発見。

響（メロディ）「くるみ〜、見てよ腕が光っててさ。」

くるみ（ローズ）「えっ…でもどうすればいいの！？暗証番号なんて私は分ないわよ。」

響（メロディ）「あのさ…指紋認証をやりについて来て貰いたいんだけど。」

くるみ（ローズ）「私に認証を協力しろって言うの！？」

響（メロディ）「お願いだから行って来てよ。」

くるみ（ローズ）「やなこった！」

響（メロディ）「そ…そんな、皆に協力してくれないと私は強制失格に成るのに…」

くるみ（ローズ）「ええ〜、狡ずるいよ、ハンターが来そうだし怖いか

ら行きたくなかったのに」(泣)「  
響(メロディ)「お願いだからそんな事言わないで…」

一人でも、指紋認証をしなければ、響とえりかは強制失格となる。  
一方、美希とほのかが装置の有る観覧車ビルにやってきた。

ほのか(ホワイト)「指紋認証装置は何処!？」

なぎさ(ブラック)「あ…ほのか、美希!もう指紋認証を遣ったの!？」入り口で発見し話しかけた。

ほのか(ホワイト)・美希(ベリー)「ど…何処に装置があるの!？」

なぎさ(ブラック)「其処に有るわ!エスカレーターの裏側よ!」

ほのか(ホワイト)・美希(ベリー)「有難う!」

なぎさ(ブラック)「凄いでしょ、この私達の団結力。響とえりかを助ける為に皆が走り込んでる姿は…下手なドラマより、名場面<sup>シーン</sup>を出してるわね。」

これで、ほのかと美希も成功。<sup>クリア</sup>

せつな(パッション)「えりか…響…助けに来たよ!」

せつなも観覧車ビルの認証装置に到着。

せつな(パッション)「OK!」

これで指紋認証をしていないのは、くるみと奏の2人…



決心・指紋認証と怪しい男達・（後書き）

果たして、なぎさと咲の背中に付かれた装置とは、何なのか!?

そして、くるみと奏は間に合うのか!?

うららが捕まり、残るは12人。

~~~~~

配役情報?

春日野うらら（キュアレモネード） 〃 水無昭善

のぞみの次にポケに徹しているキャラのうららは、住職でありながら強欲だった水無住職をやらせました。

勿論、ポケ役を重視しての人選なので、本来とはキャラの面影はあんまりありません。

ファンの皆様、ごめんなさい。

遂に番号出現・絆が実を結ぶ瞬間・（前書き）

前回までの粗筋^{あらすじ}

響とえりかを強制失格から救う為、指紋認証装置へ向かうプリキユア達。

続々と向かう中、装置が有る観覧車ビルには怪しい2人が認証を終了したなぎさと咲に接触し、デジカメの撮影をお願いされ承諾。

撮影してる隙に、背中に謎の装置を取り付けた。

更に駐車場にいたうらはは、認証に向かおうとせず到手堅く賞金を持ち帰ろうとして、2体のハンターに挟み撃ちをくらい、残り12人になった。

その後、観覧車ビルでほのか・美希・せつなが認証を終え、これで認証をしてないのは、響に説得されて泣く泣く動く事になったくるとみと奏の2人だけとなった。

遂に番号出現・絆が実を結ぶ瞬間・

奏（リズム）「早くしないと行きたいけど、体力が無い…指紋認証装置は何処に有るの!？」

アイランドエリアにある指紋認証装置を目指す奏。

えりか（マリン）「 駐車を走る

他の逃走者を信じ、時計台を目指すえりか。一方響は、時計台に辿り着いた。その視線の先には…

響（メロディ）「あれ…!?電話がある…もう自首しようかな…」

自首用電話だ。万が一間に合わない場合は、屋上に設置された電話で自首するしかない。くるみと奏の2人が指紋認証すれば、トレーラーが動き暗証番号が現れる。

男B「はいすいません!」

のぞみ（ドリーム）「うん!」

男B「はい!」

のぞみ（ドリーム）「OK!」 背中に謎の装置を付けられた

男B「はい有難う御座います!」

のぞみ（ドリーム）「いえいえ!」

男B「こんな処で会えるなんて、光栄ですよ。」

一方、観覧者ビルでは、再び怪しい2人の男が謎の行動を執っていた。

男A「有難う御座います！」 謎の装置を美希の背中に取り付けつつ写真を撮った

美希（ベリー）「此方こそ有難う御座います！」

男A「うわぁ嬉しい！」

えりか（マリン）「やっと着いた！」

えりかも時計台に到着。後は他の逃走者を信じて、待つしかない。

ピリリリリ… ピリリリリ…

奏（リズム）「あっ…もしもし！」

なぎさ（ブラック）「奏…あんた未だ認証して無いんだって!？」

奏（リズム）「はい！指紋認証の位置が……ちよつと分らなくなつてね。」

なぎさ（ブラック）「どっちの方？」

奏（リズム）「今時計台の近くにいるんですけど……」

なぎさ（ブラック）「時計台？」

奏（リズム）「はい…あ、有りました！OK…今行きますよ!！」

なぎさ（ブラック）「OK！急いでね…宜しく!！」

漸く指紋認証装置に辿り着いた奏。

奏（リズム）「ようし、今認証しましたなぎささん!…あっ切れる!！」

残るはアイランドエリアに移動してきたくるみ唯一人。果たして指令シヨンに向かうのか!？

行かなければ暗証番号が表示されず、残り55分になるとえりかと響は強制失格となる。

果たしてくるみの決断は…

くるみ（ローズ）「やっぱりね…頼まれたらさ…行ってあげないとさ…って思ったのよね。」

危険を覚悟し、2人を助けに向かう。

えりか（マリリン）「間に合うのかなあ!?!」
響（メロディ）「ううん…」

ゲーム残り時間は57分を迎え、強制失格まであと2分。間に合わなければ、2人は自首を選ぶしかない。

くるみ（ローズ）「指紋認証何処!?!お願い…教えて…教えてよ」
残り55分までにくるみが指紋認証出来なければ、響とえりかは強制失格となる。

くるみ（ローズ）「!?!」

くるみに迫るハンター。

くるみ（ローズ）「ヤバい…教えて…」

えりか（マリリン）「奏に電話するわ。」

ピリリリリ… ピリリリリ…

奏（リズム）「あっ…えりかから電話だ。もしもし。」

タイムリミット
制限時間が迫り、誰かに電話せずにはいられないえりか。

くるみ（ローズ）「あっ…有った！」

漸くくるみが、装置に到着。

ゲーム残り時間：5分02秒

賞金：1,415,200円

ミッションクリア
指令成功

これで、全員が認証となった。

くるみ（ローズ）「ふうっ…」

ブロロロロ

えりか（マリリン）「あっ…動き出した！」

一斉に動き出したトレーラー…それは牢獄からでも動いている様子を
確認できおり、一同は拍手をしていた。

牢獄

こまち（ミント）「動きましたね」

ラブ（ピーチ）「成る程ね。」

舞（イーグレット）「凄いですね。」

時計台

えりか（マリリン）「動き出したよ、奏！動いてるよ！」

響（メロディ）「皆がやってくれたのよ！」

駐車場に（エリア）に巨大な数字が表れた。

えりか（マリン）「あっ番号が出てきた！有難う！」

奏（リズム）「あっ切れちゃった。」

牢獄

かれん（アクア）「あっ確かに上から見たら数字に成ってるわ！」

時計台

えりか（マリン）「『9・0・3』!？」

響（メロディ）「『903』ね！」

えりか（マリン）「『903』だって！あたしが押すね!：「9・

「0」・「3」・「E」^{エンター} 響の装置に番号を入力

響（メロディ）「『9』・「0」・「3」・「E」^{エンター} えりかの装

置に番号を入力

えりか（マリン）「あっ…消えた消えた消えた！」

響（メロディ）「ホントだ！」

えりか（マリン）「やった〜！」

響（メロディ）「皆のおかげだね！嬉しい！」

響（メロディ）「えりか（マリン）「みんな〜！有難う〜！」

逃走者全員で、2人を強制失格から救った。

牢獄

祈里（ミツユメパイン）「指令…成功！」^{クリア}

牢獄一同「やった〜！」

くるみ（ローズ）「『北条響と来海えりかは時限装置に暗証番号を入力し、強制失格を免れた』…ふうっ…良かった。間に合って良か

った。」

つぼみ（ブロッサム）「やりましたよ！」

咲（ブルーム）「良かった。」

なぎさ（ブラック）「なんかさ…一人一人…唯金が欲しいだけに逃げてたけど、この指令ミッシェンに困って、皆の心が一つに成った感じがして…物凄く…心が心地いいわ。」

美希（ベリー）「結局は指令ミッシェンって、誰かを助ける為にする物なのよね。今までの指令ミッシェンは、正直自分の為でもあったりするじゃない。この…誰かの為の指令ミッシェンは、皆が完璧に動く物よ！」

奏（リズム）「えりかと…どんどん距離近く成っちゃってる？どうしようこの…ドキドキ？何処にぶつけたらいいのこの気持ち？初めてこの気持ち？…恋ってこんな感じかなあ…」 真っ赤な表情

つぼみ（ブロッサム）「130分逃げ切った戦士。で…プラスアルファ何か乗っけたいですよ。」

低い姿勢で周囲を警戒するつぼみ。駐車場でハンターを見付けた。

つぼみ（ブロッサム）「此处は危険です…離れましょう…」

更に…別のハンターが接近。

つぼみ（ブロッサム）「ちょっと待って下さい！向こうにいます。」

しかし、逃げた先に居た別のハンターに見付かった。

つぼみ（ブロッサム）「きゃあ〜!!」

なおも逃げるも…2体のハンターに挟み撃ちに遭ってしまった。

つぼみ（ブロッサム）「ああ〜!!」 ポンッ

ゲーム残り時間：52分32秒

賞金：1,499,200円

花咲つぼみ（キュアブロッサム） 確保

残り11人

つぼみ（ブロッサム）「最悪です〜!ハアッ…ハアッ…私…英雄ヒーローに
成れなかつた〜!」

これで残る逃走者は11人。賞金は既に152万円を超えた。

但し、4体のハンターに捕まれば、0。此処までの苦勞も…無駄となる。

遂に番号出現・絆が実を結ぶ瞬間・（後書き）

観覧車ビルで怪しい装置を付けられたなぎさ達の運命は!?

次回、観覧車ビルで更なる指令ミッシェルンが発動される。

つぼみが捕まり、残るは11人。

~~~~~

配役情報？

花咲つぼみ（キュアブロッサム） Ⅱ 狩野英孝

リリカルさんの「水面に眠る海神わたつみ」で、悲惨な結末ばかりを迎えているつぼみですが、このままでは可哀想だったので執筆を始める段階でなるべく生き残れて勇敢な逃走者を配役使用とした時に、狩野さんを見付けて担当させることにしました。狩野さんは最近ドラマパートの方で配役されることが多いですが、2010年放送の「呪われた遊園地」では熱い見せ場を作った貢献者でもあったりします。

## 事件発生 - 観覧車ビル脱出計画 - (前書き)

前回までの粗筋あらすじ

未だに指紋を認証していないくるみと奏。

その間に響とえりかは時計台に到着。目の前にある自首用電話の誘惑に負けずに仲間を信じた。

その後、なぎさに発破をかけられた奏が、アイランドエリアの装置に到着。

そして最後の1人であるくるみも認証が完了し、トレーラーが動き出し暗証番号を獲得。残っている逃走者の絆で2人を強制失格から救った。

その後に、つぼみが何の爪痕も残す事無く確保され残り、11人となった。

更にビルを彷徨っていた怪しい2人の男はのぞみと美希にも近付き、なぎさと咲同様、背中に謎の装置を付けられた。

## 事件発生・観覧車ビル脱出計画・

観覧車ビルに集まっている逃走者達。

なぎさ（ブラック）「あれ！？何処行けば良いの？……上へ行ってみよっか一回！」

その一部の逃走者の背中には、謎の装置が付けられている。

男A「撮って頂いて良いですか!？」

男B「あっはい！有難う御座います。」

それは、近付いてきた怪しい2人の男に因って、知らない間に取り付けられた装置。

そしてクロノス社では、ゲームマスターの知らない処で、助手の望月が再び2人の男を操っている。操られた2人の男は不敵な笑みを浮かべながら、右手に持っているリモコンを使い装置を起動させる。

ピッ　　美希の背中の装置が点灯

逃走者の背中に付けられた装置が起動した。

ピッ　　のぞみの背中の装置が点灯

彼女らはその事に気付いていない。

ピッ 咲の背中の装置が点灯

なぎさ(ブラック)「何だろう…大きな悪魔によって…私達餌を一つの建物に集められてるような気がしてしょうがないんだけど…」

ピッ なぎさの背中の装置が点灯

一方、何も知らずにゲームを進める月村。モニターには観覧車ビルに設置した指紋認証装置の映像が映されていた。

月村「実は、前の指令で装置を屋内に設置したのには…理由が有ります。」

幹部C「ほう…どんな理由だ」

月村は、観覧者ビル1階にハンターを設置した。

幹部A「一体何体居るんだ？」

月村「ハンターの数は30体です。先程装置を置いた建物と同じ場所に設置しました。」

幹部A「成程…客が喜びそうだ。」

逃走者に迫る更なる指令<sup>ミッシェル</sup>。そして、ゲームマスター・月村も予期せぬ展開が、ゲームを混乱に導く。

ブルルルル プルルルル

メールだ。

せつな(パッション)「又メールが来たわ!」

ほのか（ホワイト）「指令ミッシェンが来たわ！『MISSION？』！」

ゆり（ムーンライト）「えええええ（汗）！！……『観覧車ビルの中に、30体のハンターが設置した』!?」

奏（リズム）「『残り35分になると、全ての扉が閉じられハンターが放出される』」

せつな（パッション）「『逃げるには観覧車ビルを脱出しなければならぬ』。観覧車ビルって何処!?…もしかして此処!?」

MISSION? 観覧車ビルを抜け出せ!

観覧車ビルに、30体のハンターが設置された。

残り35分になると、3箇所全ての扉が閉じられ、30体が放出。

中はハンターによって、埋め尽くされてしまう。

現在、ビルにいる8人（なぎさ・ほのか・咲・のぞみ・美希・せつな・ゆり・奏）は、残り35分までに建物から出なければならぬ。

ゆり（ムーンライト）「30体！それは要するに、（観覧車ビルが）閉鎖される事ね。」

奏（リズム）「此処よね観覧車ビルって…えっ!?じゃあ脱出しないとい…」

ほのか（ホワイト）「か…観覧車ビルって此処じゃない!ええ!?ヤバイヤバイヤバイ!」 2階入口で待機していた

ゲーム残り時間：49分28秒

賞金：1,572,800円

雪城ほのか（キュアホワイト） 指令成功（ミッションクリア）

ほのか（ホワイト）「えっ：ハンターが30体も！？ビルの中に放出されるの!？」

せつな（パッション）「逃げるよ!」

次々と動き出す逃走者達。

ゆり（ムーンライト）「ビルの中は安全だと思ってただけどなあ…」

30体のハンターが放出されれば、中に居る逃走者は確実に確保となる。

奏（リズム）「あつせつなさんだ!」 走るせつなの後を追う

ゲーム残り時間：48分57秒

賞金：1,585,200円

東せつな（キュアパッション）・南野奏（キュアリズム） 指令成功

せつな（パッション）「30体がビルの中に…」

奏（リズム）「危なかった!」

ゆり（ムーンライト）「35分までだよね。」

ゲーム残り時間：48分44秒

賞金：1,590,400円

月影ゆり（キュアムーンライト） 指令成功  
ミッションクリア

ゆりは悠然と成功。<sup>クリア</sup>これで4人が抜け出した。

美希（ベリー）「…あれ？」 リンクルンの画面を確認  
フリー「どうしたフアフア!？」

美希（ベリー）「私のリンクルンが反応しないわ…」

なぎさ（ブラック）「勝手に電源が落ちてる…」

咲（ブルーム）「あれ?…電源が切れてる…」

しかし4人（なぎさ・咲・のぞみ・美希）は、携帯電話の電源が入らず、指令に気付いていない。<sup>ミッション</sup>

のぞみ（ドリーム）「 小声で「パンパン」言いながら、シャド  
ーボクシングをしている

ゲームの様子を見ていた月村は、メールが届かないこの緊急事態に  
焦り始めた。<sup>トラブル</sup>

月村「何故メールが届かない…」

幹部C「どうしたんだ?」

月村「一部の逃走者達が持っている…携帯電話が使用不能になりま  
した。」

幹部C「ふふふ…何だ、緊急事態か?」<sup>トラブル</sup>

此の俛では4人の逃走者達は、指令を知らないまま確保されてしま  
う。



月村「この装置が原因で…逃走者の携帯電話モバイルの電源が入らないよう  
です。」 美希の背中の装置を発見  
幹部A「これがバレたら、客が騒ぎ出すぞ。」  
幹部C「このゲームの開催にどれだけの予算が掛かっと思って  
るんだ…今から中止にするか!？」

幹部Cの発言に対して月村は重い口を開いた。

月村「直ぐに対応します!」

ミッシュン指令を知らない、4人(なぎさ・咲・のぞみ・美希)の逃走者。無  
事: 抜け出せるか!?

プルルルル プルルルル  
メールだ。

くるみ(ローズ)「ううう又指令ミッシュンかなあ!？」

えりか(マリリン)「通達?」夢原のぞみ・美墨なぎさ・蒼乃美希・  
日向咲の背中に携帯電話無効化装置が付けられ、携帯電話が使用不  
可になっている。『』

奏(リズム)「『そのため彼女達は、残り35分に30体のハンタ  
ーが放出される事知らない』」

ほかか(ホワイト)「『指令ミッシュンを伝え、彼女等を助けるかどうかは君  
達次第だ』! えっ…えっ…えっ…えっ…えっ…えっ…えっ…えっ…えっ…  
なっ…何で知らない  
の(汗)!?」

通達？ 指令を伝達せよ！

指令を知らず、観覧車ビルに残っている4人（なぎさ・咲・のぞみ・美希）の逃走者達。

彼女等の背中には、携帯電話無効化装置が付けられており、指令のメールを受け取る事が出来ない。

このまま残り35分に成ると、建物全ての扉が閉じ、ビルは封鎖。設置されている30体のハンターが放出され確保となる。

助けるには、観覧車ビルの中から4人を見付け出し、背中に付けられた装置を外して、指令を伝えてあげなければならない。

せつな（パッション）「のぞみとはラブの次に信頼してるし、同じ野球チームとして戦ったなぎさも居るし、咲とも仲いいし、…自力で頑張れそうな美希だけでいいじゃない！」

その…せつなにどうでもいいと扱われた美希は…

美希（ベリー）「ちよつと手洗に行きたいなあ…」

ほか（ホワイト）「し…知らせに行くわ。」 ベンチの裏で屈んでいた。

えりか（マリン）「皆を助けに行かないと！だって…あたしと響、たった二人の為にあれだけの…皆が…協力してくれたんだから…今度はあたしが助ける！」

響（メロディ）「私とえりかの為に助けてくれたから、今度を私が助けるわ！此処で決めなきや女が廢る！」

助けても他の逃走者には何の利点も無い。向かうかどうかは逃走者

の自由だ。

えりか（マリリン）「よし、やるっしゅ！みんな待ってて〜！」  
駐車場近辺を走る

前の指令で強制失格を救って貰ったえりかと響。その恩を返す為、ハンターに見付かる危険を冒し、観覧車ビルへと向かう。

なぎさ（ブラック）「もうこれさ…其処らへん位から来たらもうアウトだもんなあ…うわぁ曲がり角が多いけど、危険な所に来ちゃったなあ…」 ビルのレストラン街のにいる

観覧車ビルの中にあるレストラン街で彷徨っていたなぎさ。

なぎさ（ブラック）「！！」 視線の先にびびる

立ち止まった先に有ったのは、タイ料理店の物凄い形相をしていた人形であった。

なぎさ（ブラック）「びびったよ…ややこしいなあ…」

くるみ（ローズ）「伝言は伝えたいんだけど…行ったら捕まっちゃうからあ…行けないんだよね〜」

咲（ブルーム）「166万円を超えたよ…凄い…」

えりか（マリリン）「166万…えっ…もうそんなに行ってたの!？」

自首用電話から申告すれば、その時点の賞金を獲得出来る。

えりか（マリリン）「でも、そんなの需要じゃないよ！だって助けて貰っという…自首をするなら…助けてからにするわ。」

電話の近くにいたが自首をせずに助けに向かうえりか。受けた恩は忘れない…しかし脇道へ向かう所をハンターに見付かった。

えりか（マリリン）「キャ…ッ…！」

悲鳴を上げながら…観覧車ビルが見える辺りで走り抜けるえりか。その様子はビル付近で伏せていたゆりも目撃していた。

ゆり（ムーンライト）「伏せ

逃げ続けたえりかだが、あと一歩のところまでハンターに追い付かれた。

えりか（マリリン）「ああっ…！」 ポンッ

ゲーム残り時間：44分55秒

賞金：1,682,000円

来海えりか（キュアマリン） 確保  
残り10人

えりか（マリリン）「こんなのヤダよ！折角皆に助けて貰ったのに…あっ…あ…ん…！捕まっちゃったよ…！！（大泣）」

ゆり（ムーンライト）「又メールが来た…」 伏せた体制

ほのか（ホワイト）「確保情報…『来海えりか確保』！わあ…捕まっちゃった…えりかさん捕まったんだ！（汗）」

奏（リズム）「ああ…えりか〜！！（絶叫）」

えりか（マリン）「く…悔しい…」（涙目）」

恩返し…ならず…

えりか（マリン）「皆に合わせる顔が無いよ〜」（泣）」

## 事件発生 - 観覧車ビル脱出計画 - (後書き)

果たしてほのかと響は、携帯電話無効化装置を付けられ指令を知らず<sup>ミッソン</sup>にビルに残ったなぎさ達を、助けて脱出する事が出来るのか!?

助けたかったえりかが確保され、残り10人。

~~~~~

配役情報?

来海えりか(キュアマリン) || AMO

今回のえりかは、唯金欲のままに動いているものの、仲間思いで涙脆い部分を強調しようとした結果、AMOさんをチヨイスさせました。

ハートキャッチ組の中では思い入れが強いので相應しい役だったと思います。

救出・指令（ミッション）伝達は茨の道・（前書き）

前回までの粗筋あらすじ

強制失格を阻止する為に使用した指紋認証装置を、観覧車ビルに設置したのは、理由があった。

それは、ビルに残った人達を対象にした次の指令ミッションを発動する為だった。

月村の思惑通り、ビルには8人（なぎさ・ほのか・咲・のぞみ・美希・せつな・ゆり・奏）が残っており、その状況を利用しビルの中にハンターを30体投入。残り35分までに封鎖され、更に30体のハンターが放出されるビルを脱出する指令ミッションを発動した。

30体のハンターへの恐怖からビルを脱出したほのか・せつな・ゆり・奏。

だが、残る4人は携帯電話の電源が入らず、指令ミッションを知らずに観覧車ビルに残っていた。

実は、望月が制御コントロールしていた怪しい2人の男によって、背中に付けられた携帯電話無効化装置が作動し、電源が入らなくなってしまったのだ。

この緊急事態に月村は、なぎさ達を助けるには背中の装置を外して指令ミッションを伝達させる通達を発動した。

この通達を見て、ビルを抜け出したほのかと、前の指令ミッションの恩返し

為に動くえりかと響が助けに向かった。

ところが助けに向かおうとしたえりかは、自首の誘惑を断ち切って向かおうとした所を、ハンターに発見されあえなく確保。

恩返しをする事が出来ずに残り10人となった。

救出・指令（ミッション）伝達は茨の道

現在、観覧者ビルにいるのは、なぎさ・咲・のぞみ・美希の4人。彼女等は残り35分になると、ビルが封鎖され30体のハンターが放出される事を知らない。

ミッブル「30体がでるミポよ。」

ほのか（ホワイト）「はい…でも行きます！」

危険を顧みず、助けに向かうほのか。万が一ビルに取り残されれば、自らも30体ハンターの危険に晒されてしまう。

美希（ベリー）「えりかと…7泊8日の欧州ファッショ^{ヨーロッパ}ンショーの聖地巡礼に行きたいなあ…」 2階エスカレーター付近で呑気な呟き

メールが届かずえりかの確保情報を知らない美希。そこへほのか、助けにやって来た。

ほのか（ホワイト）「あつ…美希さん！ハンター30体が来る…此処のビルに、30体のハンターが来るわ！」 1階から吹き抜けを通じて呼び掛ける

美希（ベリー）「えっ!？」 運転してないエスカレーターを降りて合流

ほのか（ホワイト）「なぎさは!?なぎさは何処？」

美希（ベリー）「分からない…未だ出会ってないわ！」

なぎさ（ブラック）「此処まで逃げ切つたら逃げたいなあ…正直^{ぶひつじやま}さ！」
「タイ料理店の待ち合わせ用の椅子^{ベンチ}に腰掛けている

ほのか（ホワイト）「あつ！携帯電話無効化装置が付いてるじゃない！」

美希（ベリー）「何それ！？そんなの何時付けられたの!？」

ほのか（ホワイト）「分からないわ。」 美希の装置を外した

美希（ベリー）「有難う御座います！」

ほのか（ホワイト）「ええ！」 外した装置を下へ置いた

美希（ベリー）「何なの!？」

ほのか（ホワイト）「本当になぎさが何処に居るか知らない？」

美希（ベリー）「私はなぎささんとは出会ってないわ！」

ほのか（ホワイト）「早く知らせないと、この観覧者ビルに30体のハンターが来る。そしてビルが封鎖されて放出されるのよ！」

美希（ベリー）「ええ!?!?!有難う御座います！」

ゲーム残り時間：42分29秒

賞金：1,740,400円

蒼乃美希（キュアベリー）・雪城ほのか（キュアホワイト）
ミッシュ
指令
成功

美希（ベリー）「お蔭で助かりました！」

これで観覧者ビルに居るのは、なぎさ・咲・のぞみの3人。残り35分になるとビルは封鎖。30体のハンターが放出されてしまう。しかし…

なぎさ（ブラック）「駄目だ…やっぱり電源が入らない…」

彼女等の背中には装置が付けられている為、携帯電話の電源が入らず指令を知らない。

咲（ブルーム）「やっぱりこのビルの中が一番安全な気がする…」

その頃ほのかは、ビル付近で残る3人の情報収集を行う。

美希（ベリー）「30体のハンターが来るから此処を離れないと…」
ほのか（ホワイト）「なぎさがビルの何処に居るか知らない？」

美希（ベリー）「私はなぎささんを見てないわ！」

ほのか（ホワイト）「逃げたのかしら？…あつゆりさん！」 向こうでゆりを発見

ゆり（ムーンライト）「はい！」

ほのか（ホワイト）「ゆりさんは知ってるのかしら…ちょっと後ろを見せて下さい。」

ゆり（ムーンライト）「いいわよほのか。」 背中を見せた

ほのか（ホワイト）「装置は…付いてない！」

ゆり（ムーンライト）「知ってる！」

ほのか（ホワイト）「なぎさを見ました!？」

ゆり（ムーンライト）「いや…なぎさは見てないわね。」

ほのか（ホワイト）「のぞみさんも…」

ゆり（ムーンライト）「のぞみもよ！」

のぞみ（ドリーム）「此処で一気に3体が、ビルの中に入ってこられると不味いなあ…」

30体のハンターが一気に放出されるまで…あと5分30秒。更にエリアには4体のハンター。助けに向かえば…見付かる危険も高まる。

せつな（パッション）「どうして美希を助けてるの？」 ビル付近に到着

美希（ベリー）「あつ…せつな！」

せつな（パッション）「何で助けられてるの？」

美希（ベリー）「今…ほのかさんが助けてくれたわ！」

2人の背後のトレーラーの背後にハンター。

美希（ベリー）「助けてくれて…ってちょっと待ってよ！『何で助けられてる』ってどういう意味よ！」

見付かった。

せつな（パッション）「いやね…美希だけでもいいと…!!」
ハンターとの距離が残り2mになったところで気付いた美希とせつな。ハンターが視界に捉えたのは、正面へ逃げた美希ではなく、横へ逃げたせつな。

せつな（パッション）「あゝ！」 ポンッ

ゲーム残り時間：39分38秒

賞金：1,808,800円

東せつな（キュアパッション） 確保
残り9人

せつな（パッション）「あゝ！くそ〜！（泣）」

その間に美希はビルから離れた。

美希（ベリー）「あっ…怖かった！」

せつな（パッション）「美希が……み…美希があ……」

ブルルルル　ブルルルル

ゆり（ムーンライト）「『東せつな確保　残り9人』」　寝そべった状態

響（メロディ）「『東せつな確保』…」

ドリー「のぞみ達を助けないのかドド!?」

響（メロディ）「行きたいけど…ハンターが本当に多過ぎる…」

未だ観覧者ビルに残っているのは、のぞみ・なぎさ・咲の3人。ゲーム残り時間が39分を切り、ハンター30体放出まであと4分。放出されれば、全員が確保となる。

なぎさ（ブラック）「咲…咲の携帯って生きてる?」

咲（ブルーム）「いや…付かないけど…」

なぎさ（ブラック）「あたしも付かないけど…」

咲（ブルーム）「あっ…良かった!壊れてたかと思った。」

なぎさ（ブラック）「いやいや、喜んじゃ駄目でしょ!」

咲（ブルーム）「いやいや…皆壊れてるのかなあって思ってた…」

ハンターに見付かる危険を冒し、助けに向かう為に駐車場を走る響。

響（メロディ）「何処に有ったっけ…観覧車ビルは!?…あっハンターだ!」

向かう途中で…見付かった。逸早く反応した響は来た道を逆走し、アイランドエリアの入り組んだ道へと逃げ込む。ハンターの視界から、外れたようだ。

響（メロディ）「振り切れたけど…助けに行けない…あっちにも…」

思ひつゝに進めない…

救出・指令（ミッション）（伝達は茨の道・（後書き））

ほかの活躍で美希を救出したが、ビルの中には未だなぎさと咲とのぞみが残っていた。

ビルが封鎖される時間は3分を切った。

果たしてなぎさ達は脱出出来るのか!?

せつなが捕まり…残るは9人。

~~~~~

配役情報？

東せつな（キュアパッション） 〃 山崎邦正

せつなは、リリカルさんの作品でも活躍をしていますが、活躍を決めて調子が出た矢先に悲惨な結末を見かけたので、つぼみの次に活躍の場を与えたいと思う気持ちから、意外な活躍を決めた山崎さんを担当しました。

ちなみに山崎さんは、「ジャンプ！ 中」内で行われた第1回逃走中（お台場編）で、100体のハンターに囲まれる恐怖を味わってしまった事でも有名です。

## 脱出・信じあう絆が生んだ奇跡・（前書き）

前回までの粗筋あらすじ

携帯電話無効化装置を背中に取り付けられ、指令を知らずに観覧車ビルに残っているなぎさ・咲・のぞみ・美希。

観覧車ビルから早々に脱出していたほのかが、仲間を助ける為に再びビルへ進入。

美希を発見し、指令を伝達ミッシェン。背中につけられた装置を取り外して、一旦ビルを脱出した。

その後ほのかは、ビル付近で残る3人の情報収集を行ったが、誰も知らなかった。

一方せつなは、脱出したばかりの美希と合流。話し込んでいる内にハンターに確保され、残り9人となった。

その頃、同じように助けに向かおうとしていた響は、ハンターに追われ観覧車ビルから遠ざかり、思う様に動けないでいた。

一方観覧車ビルでは、なぎさと咲が合流。同じように携帯電話が使えない者同士で情報交換をしていた。





脱出 - 信じあう絆が生んだ奇跡 -

30体のハンター放出まで、間もなく2分30秒。

ほのか（ホワイト）「もう、知らせたかしら？…ビルの中に30体も…！！」 前方のハンターに気付き鉢植えの後ろにしゃがむ。

ハンターは気付いていないようだ。

ほのか（ホワイト）「危なかった…！！」

放出まで、2分を切った。

ほのか（ホワイト）「35分でしょ…！！ビルに行くわ！」

再び助けに向かうほのか。

ハンター1体が観覧者ビルに侵入。

咲（ブルーム）「他の人を探そう！」

ほのか（ホワイト）「なぎさ！咲さん！」

危険を顧みず、観覧者ビルに侵入する。

のぞみ（ドリーム）「あつ…びつくりしたなあ！」

ビルに居た3人が1カ所に集まった

なぎさ（ブラック）「あのさ…のぞみって持つてる携帯キユアモって電源が

入ってる？」

のぞみ（ドリーム）「入ってるよ…」

なぎさ（ブラック）「本当に入ってるの？」

のぞみ（ドリーム）「はあっ…」 シャドーボクシングに夢中で、  
空返事

なぎさ（ブラック）「聞いてんの？」

のぞみ（ドリーム）「え？」

一方ほのかは、ビルの2階でなぎさを探していた。

ほのか（ホワイト）「なぎさ…！なぎさ…！」

その頃3人は…

咲（ブルーム）「私達はビルの隅っこに居るね…」

のぞみ（ドリーム）「そろそろ来るよ…そろそろ来るよ…」

なぎさ（ブラック）「わぁ…焦ったなあマジで、人が怖いなあ」

30体のハンター放出まで、間もなく1分。

ほのか（ホワイト）「なぎさ…！」

ハンター放出まで：60秒

ほのか（ホワイト）「お願い返事して、返事してくれ…返事して…」

2階のエレベーター前の隅でハンターを警戒しているなぎさ。そこへほのかがやって来た。

ほのか（ホホワイト）「なぎさ…あつ、なぎさこっち来てこっち来て！」

なぎさ（ブラック）「？」

ほのか（ホホワイト）「ハンターが30体来る…早く逃げないと…貴女達に携帯電話無効化装置が付いてるのよ！」

なぎさ（ブラック）「何それ？」

ほのか（ホホワイト）「背中に付いてるこれが、携帯電話無効化装置よ！」なぎさの装置を外した。

なぎさ（ブラック）「どういう事？」

ほのかと出会い、指令ミッションを知る3人。一緒に居た咲とのぞみの装置も取り外した。

なぎさ（ブラック）「どういう事よ？」

ほのか（ホホワイト）「ハンターが30体来る…此処のビルにハンターが30体来るのよ！」

なぎさ（ブラック）・咲（ブルーム）「ハンターが30体！！？」

ほのか（ホホワイト）「早く急いで！こっちよ！」

言われるままに、観覧者ビルを抜け出していく。

ハンター放出まで：29秒

雪城ほのか（キュアホホワイト）・日向咲（キュアブルーム）・夢原のぞみ（キュアドリーム）・美墨なぎさ（キュアブラック） 指令成功（ミッシヨソクリア

のぞみ（ドリーム）「ちょっと意味が分からないよ！？」 走りながら

なぎさ（ブラック）「30体！？ありえない！！！」

美希（ベリー）「あつ…皆出て来たわ！良かった良かった！今助けに行こうと思っていたから…」 ビルの道路を挟んで見える方の建物から目撃

なぎさ（ブラック）「危なかった〜！」

そしてハンターも、観覧者ビルを脱出。

10…

次々に扉が閉ざされていく観覧者ビル。

9…

8…

7…

6…

5…

4…

3…

2…

1…

0…

指令終了

完全に封鎖され、30体のハンターが放出。  
ビルの中は、ハンターで埋め尽くされた。

プルルルル　プルルルル

くるみ（ローズ）「何〜!？」

奏（リズム）「『逃走者全員が、観覧車ビルを脱出した。』」

響（メロディ）「良かったけど…助けに行けなかった…」

なぎさ（ブラック）「ほのか…有難う!」

ほのか（ホワイト）「いえいえ…全然よ!」

なぎさ（ブラック）「助かったわ!」

パンツ　　ハイタッチ

のぞみ（ドリーム）「素晴らしいです!…有難う!」

パンツ　　ハイタッチ

咲（ブルーム）「有難う御座います!」

ほのか（ホワイト）「ええ!」

パンツ　　ハイタッチ

のぞみ（ドリーム）「後ろに何か有ったのね。」

ほのか（ホワイト）「危なかった…でも良かった…皆を助ける事が

出来たわ！」

再び携帯電話が使えるようになった逃走者達。

ハンター30体が放出された観覧者ビルは、封鎖されエリア外となった。

ほのか（ホワイト）「思えば…咲さんやのぞみさん達とはライブ会場でカゲの巨人と戦った時に知り合って友達になったけど、こんなに感動したのはプリズムフラワー事件以来よ。良かった…よし！知らない間に私達との間で結ばれた絆が更に強くなってる！」

ライブ会場の詳細は「ちょく短編 プリキュアオールスターズ GoGoドリームライブ」を見て下さい。

現在、賞金は1秒400円ずつ上昇…止まらぬ勢いで増え続けている。

咲（ブルーム）「あと…もうちょっとで200万になるわ！196万だって…凄いなあ…」

なぎさ（ブラック）「自首なんて有り得ないわ。人間の欲っているのは永遠に有る物よ…だから怖いよ。貰えるなら貰える分だけ貰おうとしちゃうのよ。」

奏（リズム）「200万も有ったら、お菓子を沢山作れる程の材料が変えるなあ…調理器具自体買った方が良いのかなあ。」

しかし、ハンターに捕まれば賞金は0。奏は材料を…調達出来ない。

ゆり（ムーンライト）「雪隠詰めに成っちゃうわね…此処だと…」

木陰に身を隠す

雪隠とは、昔の手洗トイレットの事です。

のぞみ（ドリーム）「ああ…なんか…段々興奮エキサイトしてきたなあ…来たよ来たよ来たよ！」

増え続ける賞金が、戦士ファイターの闘志を掻き立てる。

のぞみ（ドリーム）「此処まで来たら…最後まで行きたいよ！」

なぎさ（ブラック）「常に…警戒しながら…来たら逃げる…それだけよ！」

逃走者達に接近する…ハンター。

なぎさ（ブラック）「わあ…もうちょいで200万の瞬間が来るよ！」

のぞみ（ドリーム）「もう…200万来るよ！」

なぎさ（ブラック）「ハンター来た！ハンター来た！咲…ハンターが来てる…！」  
遠くにハンターを発見し呼び掛ける

見付かった。ハンターの接近に気付いたのは、咲・のぞみ・なぎさの3人。

その内、逃げるのぞみの近くに、別のハンター。

駐車場で別のハンターに追われて、体力の限界が来てしまった。

のぞみ（ドリーム）「ああ〜！」  
ポンッ

咲（ブルーム）「あぶねえ…あぶねえ…超怖え…！」

駐車場のト



レーラーの間に隠れている。

ゲーム残り時間：30分54秒

賞金：2,018,400円

夢原のぞみ（キュアドリーム） 確保

残り8人

のぞみ（ドリーム）「ちよっちゆね…ちよっちゆね捕まっちゃった

！…ハアツ…ハア…ハア…ちよっちゆね捕まったよ…」

響（メロディ）「あぁっ…のぞみが捕まっちゃった…！」

なぎさ（ブラック）「あぁ…ちよっちゆね」 小声

脱出・信じあう絆が生んだ奇跡・（後書き）

賞金は200万円を超え、ゲームは残り30分を切った。

ゲームは遂に終盤を迎えたが、更なる過酷な事態がプリキュア達に迫っていた。

のぞみが確保され、残る逃走者は8人。

~~~~~

配役情報？

夢原のぞみ（キュアドリーム） 〃 具志堅用高

のぞみは原作だと、あんまり頭がおっむ良くない方として描かれており、具志堅さんも感情の赴くがままで、気分になんか任せて動く逃走劇を展開してしまった為、最終的に違和感がなくチョイス出来ました。まあ「ちよっちゅね」なんて言ってる時点で、察しがつきますが…

反撃・流出したハンターとの戦闘（たたかい） - （前書き）

前回までの粗筋^{あらすじ}

30体のハンターが観覧車ビルに放出される制限時間が、残り2分30秒を切った所で、先程美希を助けたほのかが、再びビルに入った。

そして、一カ所に集まったなぎさ・咲・のぞみの3人に指令^{ミッション}を伝え、背中にある携帯電話無効化装置を取り外し、4人で脱出。

ビルが閉鎖される前に救出に成功した。

そして賞金は200万円を越えようとしていた矢先に、ハンターがビルを脱出したばかりののぞみを確保。

残り8人になった所で、30分を切り、過酷な事態がプリキュア達に迫っていた。

反撃・流出したハンターとの戦闘（たたかい）

ゲームの残り時間が30分を切った頃、ゲームの妨害を目論む望月は…

望月「さっきは上手く切り抜けられたけど…今度はそうはいかないわよ…」

ゲームマスター・月村の知らない所で、再びエリアに居る男達を操作する。

ガチャン　観覧者ビルの扉が開く

2人は封鎖された観覧者ビルの扉を開け、中に居るハンターの内、一部をエリアに出してしまった。その数は…5体！

この緊急事態に指令室は警報が鳴り響き、月村は再び焦り始めた。

月村「どういう事だ！？ハンターが流出している！」

幹部C「何だ…又緊急事態か？」

早急に原因を突き止める月村は、観覧者ビルの扉を開けている男達の映像を発見した。

月村「ハンターの流出は、これ（操作された男達）が原因のようです…2人を消去します！」

ところが男達を消去しようと画面をタッチしたら、消去できずに「ERROR」の文字が浮かび上がった。

月村「何故だ…」

幹部C「失態ばかりだな…このままじゃゲームは成立しないぞ。」

原因を究明する為、逆探知を開始した。

月村「直ぐに逆探知します！」

逆探知した結果、サーバー室^{ルーム}が赤く点灯していた。同じ頃望月の居るサーバー室^{ルーム}に警報が鳴り響いた。

ゲームを操作している事がバレってしまったのだ。そして画面^{パネル}が切り替わり中央に月村が映った。

月村「まさか君だったなんて…」

サーバー室^{ルーム}から逃げようとした望月だったが、扉は閉鎖された。

月村「何故こんな事をした…!?!」

全てを観念したかのように開き直った表情で、望月は口を開いた。

望月「このゲームを潰そうとしている人が居るって事…」

月村「…誰の指示だ!?!」

望月「貴方の知らない所で…別の計画が…」

望月が計画を漏らそうとする様子を見ていた幹部Cは、会話を遮った。

幹部C「月村はゲームに集中しろ…裏切り者は此方^{こちら}で処理する。」

こうして警備隊が出現。光線銃レーザーを放たれ意識が薄れていく。

望月「何故……わたs……」

警備員「望月ミレイ確保。連行します。」

ゲームを妨害する者が居なくなり、操作された2人の男エキストラを消去した月村は、安堵の溜め息をついた。

月村（誰が邪魔しようとして……このゲームは必ず成功させる！）

残る逃走者8人に対し、ハンターは合計9体が増加。
この事態により、ゲームは更に過酷な物と成った。

幹部A「如何する……何か打つ手は有るのか？」

幹部C「第1回目で逃走中は終了か？」

月村「心配要りません！この状況を利用して、ゲームを更に面白くして見せます。ハンターは-239 以下になると、機能が停止する設定に成っています。これを利用した通達を出し、ゲームに新たな展開を起こします。」

月村が、ハンターの機能を停止させられる冷凍銃をエリアに投入。
逃走者に反撃の好機チャンスが与えられた！

プルルルル プルルルル

ゆり（ムーンライト）「何だ何だ何だ何だ!?」

くるみ（ローズ）「通達……ハンター5体がエリアに流出し、合計9体となった。」

なぎさ（ブラック）「^{コンテナ}貨物の中にある冷凍銃を使えば、ハンターを停止させる事が出来る。」

奏（リズム）「^{コンテナ}冷凍銃は全部で5丁。1丁につき停止させる事が出来るハンターは1体まで：^{コンテナ}貨物が開放しているのは残り20分までだ。」

ほのか（ホワイト）「冷凍銃！……ちよ……超格好いいわぁ！」
徐々に目を輝かせる

通達？ ハンターを停止させる！

現在エリアでは9体のハンターが、逃走者を搜索している。

エリアの西側の駐車場にある20番の^{コンテナ}貨物に設置された5丁の冷凍銃。残り20分までに手に入れば、1丁につき1体ずつ、ハンターを停止させる事が出来る。

美希（ベリー）「へえ……^{コンテナ}貨物の中の冷凍銃か……それを使えばハンターを1体止める事が出来るんでしょ？」

ほのか（ホワイト）「ようし……是非使いたいわ冷凍銃！……^{コンテナ}貨物に有るだけ！？」

ゆり（ムーンライト）「確かに冷凍銃を取りに行くのは危険^{リスク}だけど、冷凍銃によって更にその危険^{リスク}が軽減出来るのならば、これは遣る価値は有るわね！」

ハンターが5体増えた事により、その数は合計9体。捕まる危険が一気に高まった。

奏（リズム）「これは遣るわ！残り9体だったら絶対もう…無理だから！」

冷凍銃を手に入れば、1丁につき1体ハンターを減らす事が出来る。

奏（リズム）「有った！」

逸早く奏が、^{コンテナ}貨物に到着。

奏（リズム）「重い…」銃を担ぐ

牢獄

舞（イーグレット）「早く銃を持って…」

牢獄一同「頑張れー！」 冷凍銃を取る奏を目撃

ゲーム残り時間：27分56秒

賞金：2,089,600円

南野奏（キュアリズム） 冷凍銃獲得

奏（リズム）「ようし…何処からでも掛かって来なさい！」

一方、アイランドエリアの屋内に居る響はというと…

響（メロディ）「皆…何処に居るのかな…冷凍銃は取りたいけど、皆が居る所へ行きたいわ…」

何時もとは違う緊張感と戦う響。^{プレッシャー}
その近くに…ハンター。

響（メロディ）「物凄い速度スピードで来たんだったら、これはしょうがないわ。」

階段を上り、背後に迫るハンターに、気付かない…

響（メロディ）「私は…諦める様な事はしな…あっ！」

至近距離での接触で反応が遅れてしまい、それが仇になって…

響（メロディ）「！！」 ポンッ

不意打ちの…ノックアウト…

ゲーム残り時間：26分56秒

賞金：2,113,600円

北条響（キュアメロディ） 確保
残り7人

響（メロディ）「言葉が出ない…運が悪かったなあ…」

ほのか（ホワイト）「ああ…響さんが捕まっちゃった！」

くるみ（ローズ）「残ってるほうかな…あたし…」

これで残る逃走者は、7人となった。

反撃 - 流出したハンターとの戦闘（たたかい） - （後書き）

現在冷凍銃を獲得しているのは奏のみ。

果たして、ハンターを減らす事が出来るのか！？

響が確保され、残る逃走者は7人。

~~~~~

配役情報？

北条響（キュアメロディ） Ⅱ 井岡一翔

響は、絶対的な体力スタミナキャラ演じさせるのを前提にしていました。井岡さんは番組では若干薄く描かれてました。あんまり深く考えなければ軽妙な身のこなしを優先にチョイスしました。因みにデンプシーロール等は原作の名残です。

## 切り札（ジョーカー） - ハンター停止と冷凍銃 - （前書き）

前回までの粗筋あらすじ

月村の機転で妨害に失敗した望月は、再びエキストラ男達を使い封鎖された観覧車ビルを解放。中からハンターを5体エリアに放ってしまった。

コントロール制御する者を逆探知した結果、望月の妨害が発覚。

開き直って謎の計画の事を喋ろうとしたが、計画を漏らした望月は、幹部Cによって排除された。

そして、コントロール制御していた男達を消去し、ハンターが9体となり難易度が格段に上がってしまったているその状況を利用し、新たな武器をエリアに送り込んだ。

そして逃走者達にきた通達。その内容は貨物コンテナに設置された5丁の冷凍銃を手に入れば、1丁につき1体ずつハンターを停止させる事が出来る内容だった。

その直後奏が、逸早く冷凍銃を1丁手に入れた。

一方、アイランドエリアに居た響は皆と合流しようと考えていたが、背後に近づくハンターに反応が遅れ、自慢の足で振り切ることも出来ずに確保され、残り7人となった。

切り札（ジョーカー） - ハンター停止と冷凍銃 -

なぎさ（ブラック）「ようし…指令行こうか…行こう！」  
ゲイ  
ムセンターのUFOキャッチャーに寄りかかって座ってる状態から  
立ち上がる

現在エリアに、ハンターは9体。  
貨物コネテに設置された冷凍銃を使えば、その数を最大で5体減らすこと  
が出来る。

奏（リズム）「ギャフンと言わせてやるわ！」

冷凍銃を持ち駐車場を歩く奏に、ハンターが接近。

奏（リズム）「来たわね！」  
ハンターとの距離が10mになった  
所で反応して振り返り、噴射

プシューーーー 噴射

奏（リズム）「やったあ！凍った！」

ハンター…冷凍フリーズ

奏（リズム）「ざまあ見なさい！」

奏が冷凍銃で1体を停止させ、ハンターは8体となった。  
一方、冷凍銃を取りに向かうなぎさとトレーラーの間に隠れる咲の  
近くに、ハンター…

なぎさ（ブラック）「あつ…居た居た…ヤバい！」ハンターに反応し、駐車場に逃げ、その途中で貨物の間に隠れていた咲に危険を知らせる

咲（ブルーム）「えっ…居るの!？」トレーラーの間に隠れている。

ハンターに気づき、身を隠すなぎさ。

なぎさ（ブラック）「危ねっ…危ねっ…！」狭い貨物の隙間で、ハンターの様子を窺う。

その場を離れ、アミューズメントビルへ向かう咲。しかし、その様子をハンターが捉えた。

咲（ブルーム）「…!!」ビルの通路を走っていたが、振り向いた瞬間、迫り来るハンターに反応。

必死に逃げる咲だが、逃げた先は一本道。直線勝負で追いつかれしまい、通路を抜け出した途端追いつかれてしまった。

咲（ブルーム）「ああっ!!…捕まっちゃった…」ポンッ

ゲーム残り時間：22分34秒

賞金：2,218,400円

日向咲（キュアブルーム） 確保  
残り6人

咲（ブルーム）「全然駄目だ…一直線じゃ負けたあ…くそ…!絶不調なり〜!」

ソフトボール戦士…試合終了

ゲームセット

祈里（パイーン）「『日向咲 確保』」  
牢獄一同「あゝ〜！」

美希（ベリー）「立て続けに行ってるじゃない…のぞみ・響・咲と…なぎささんを除いてピンクチームは粗全滅じゃない…」

くるみ（ローズ）「5組ってあたしだけ!？」

エリアには8体のハンター。残り4丁の冷凍銃を使えば、1丁につき1体その動きを止める事が出来る。

切り札（ジョーカー） - ハンター停止と冷凍銃 - （後書き）

残り4丁の冷凍銃を手に入れる為に動き出す逃走者達。

全ては己の運命の為に…そして何より逃げ切る為に…フリキュア伝説の戦士の戦いが今、始まる。

咲が捕まり、残り6人。この時点で Splash Star 組は、全滅。

~~~~~

配役情報？

日向咲（キュアブルーム） 〃 上野由岐子

言うまでもなくソフトボール選手繋がり。執筆の段階で、上野さんの役は咲にやらせるのを位置づけにしました。直線勝負は不利だったのですが、此処まで残れただけでも凄いと、作者自身も感じています。

立場逆転・己の運命を賭けた戦闘・（前書き）

前回までの粗筋^{あらすじ}

いち早く冷凍銃を手に入れた奏が、ハンター1体を封印した。

残り4丁の冷凍銃を手に入れて、ハンターの数を減らすことが出来るのか！？

咲が捕まり、残るは6人。

立場逆転・己の運命を賭けた戦闘・

美希（ベリー）「20番の貨物^{コンテナ}つてどれ!？」

冷凍銃が設置された貨物^{コンテナ}を指す逃走者達。

ゆり（ムーンライト）「銃は何処だ…」

ほのか（ホワイト）「冷凍銃は…有った!あの貨物^{コンテナ}ね!」

ほのか^{コンテナ}が貨物に到着。

なぎさ（ブラック）「あれか…ほのかが行ってる…よし!」

続いてなぎさ。

ゲーム残り時間：21分31秒

賞金：2,243,600円

雪城ほのか（キュアホワイト） 冷凍銃獲得

なぎさ（ブラック）「ほのか…ハンターが来るのを私が見てるね

!」ほのか（ホワイト）「有難う!」 銃を下ろしながら

美希（ベリー）「有った有った!？」

反撃の為、続々と集まって来る伝説の戦士達。

ほのか（ホワイト）「重たいわね!」 なぎさに手伝って銃を

背負う

なぎさ（ブラック）「美希…早く銃を持って!」

ゲーム残り時間：21分18秒

賞金：2,248,800円

蒼乃美希（キュアベリー） 冷凍銃獲得

己の運命を賭け、ハンターとの戦いに挑む。

ゆり（ムーンライト）「銃は未だ有るの？」

なぎさ（ブラック）「ゆりさん、未だあります！私が入ります！」

ほのか（ホワイト）「早く退治しに行きましょう！」

美希（ベリー）「はあ…何だかんだ言っつて、完璧にこなす所を見せてしまったわね。」

残り4丁の冷凍銃、全てが逃走者の手に渡った。

ゲーム残り時間：20分58秒

賞金：2,256,800円

月影ゆり（キュアムーンライト） 冷凍銃獲得

冷凍銃を使えば、1丁につき1体ハンターを凍らせ、停止させる事が出来る。

ゲーム残り時間：20分43秒

賞金：2,262,800円

美墨なぎさ（キュアブラック） 冷凍銃獲得

なぎさ（ブラック）「よっしゃあ！ぶっ飛ばしてやる！」

牢獄

つぼみ（ブロッサム）「皆、カッコいいですね。」

祈里（パイン）「ゆりさん、似合いますね。」銃を背負ってるゆりを目撃。

冷凍銃を獲得したゆり。

ゆり（ムーンライト）「ちょっと安心だわ。一発だけだけど…」

ほのか（ホワイト）「ようし！格好良い物を手に入れたわ！（嬉）」

ハンターを減らす事が出来れば、逃走成功の確率は格段に高まる。

なぎさ（ブラック）「凄く気持ちが良い！立場が逆転すると…探してやるよ！」

ほのか（ホワイト）「もう…ハンターっていざ探すとすると、全然見付からない物ね。」

冷凍銃を使い果たし、丸腰の奏の近くに、ハンター。

奏（リズム）「ちょっとヤバいわね…あつ来た！」遠くから走ってきたハンターを発見

逃げる先には、冷凍銃を獲得しているゆりがいた。

ゆり（ムーンライト）「おーい！此処よ！」手を振り呼び掛ける奏（リズム）「助けて下さい！」走りながら返事する。

ハンターの標的が、冷凍銃を持っているゆりに変わり近付くが、冷

凍銃を持っているゆりには。

ゆり（ムーンライト）「はいこっちよこっちよ！こっち来なさいこっち来なさい！」

プシューーー 10秒近く噴射

その様子は牢獄からでも肉眼で確認する事が出来る為、牢獄の中では歓声が湧き上がっていた。

牢獄一同「おおおおー！」

祈里（パイン）「やったーっ！」

つぼみ（ブロッサム）「ゆりさん、かっこいいです！」

ハンター…^{フリーズ}冷凍

ゆり（ムーンライト）「ふう…！」

奏（リズム）「有難う御座います、ゆりさん！」

ゆり（ムーンライト）「いえいえ良いのよ。」

奏（リズム）「助かります！」

ほのかもハンターを探す。

ほのか（ホワイト）「あつ…1体居た。」

見付けた。

ゆり（ムーンライト）「ふう…良かった…」

一息ついたゆりと奏の近くに、ほのかが狙うハンター。

奏（リズム）「あっ…もう1体来た！」

ゆり（ムーンライト）「…」 冷凍中をおろしている最中

2人に反応したハンターを、後ろから追うほのか。しかし、

ゆり（ムーンライト）「ああっ！あっ！」 ポンッ

ブシューー

ほのか（ホワイト）「くっそー遅かった…ゆりさん、ごめんなさい。

」

ハンター1体を停止させるも…

ゲーム残り時間：18分08秒

賞金：2,324,800円

月影ゆり（キュアムーンライト）

確保

残り5人

ゆり（ムーンライト）「悔しい…」

間に合わなかった。一方、窮地を抜け出した奏に、またしても別のハンターが接近していた。

果たして、逃げ切れるのか!?

立場逆転・己の運命を賭けた戦闘・（後書き）

残る冷凍銃を持っているのは、なぎさと美希のみ。

果たしてハンターを減らすことが出来るのか！？

そして、ハンターに狙われた奏の運命やいかに！？

ゆりが捕まり、残るは5人。

~~~~~

配役情報？

月影ゆり（キュアムーンライト） 〃 テレンス・リー

テレンスさんの頭脳プレーを生かす人物を探していたときに、ゆりならばできそうな潜伏行動を踏まえての配役になりました。

## 佳境 - ハンターとの決着 - (前書き)

前回までの粗筋<sup>あらすじ</sup>

残り4丁の冷凍銃を、ほのか・なぎさ・ゆり・美希が手に入れ、ハンターとの戦闘<sup>バトル</sup>が始まった。

その頃、先に冷凍銃を使い果たして丸腰になった奏に、ハンターの魔手が迫ったが、逃げた先に居たゆりが冷凍銃を使って助ける事に成功した。

その近くで、駐車場付近でハンターを捜しまわるほのかが、遠くにハンターを見つけ追跡を開始。

しかしそのハンターが、一息ついたゆりと奏を捉えた。

冷凍銃の取り外しで油断していたゆりが逃げ遅れて確保され、残るは5人になった。

その背後から追ってきたハンターをほのかが冷凍。ハンターを停止させたが、ゆりを助ける事が出来なかった。

一方奏は、逃げた先でも別のハンターが出現し、大危機<sup>ピンチ</sup>に陥っていた。

## 佳境 - ハンターとの決着 -

窮地を抜け出したと思われた奏が、別のハンターに発見された。

奏（リズム）「きゃあー！」 ハンターに見付かり来た道をUターン

必死にハンターの追跡を躲そうと、駐車場のトレーラースタミナを利用し逃げ回るが、元々体力が強い訳じゃ無かったので体力切れが起き始め、逃走不可能に…

奏（リズム）「あっ！」 ポンッ

ゲーム残り時間：17分29秒

賞金：2,340,400円

南野奏（キュアリズム） 確保

残り4人

奏（リズム）「なっ…何でなのよ！？単純に多すぎるわ〜」 確保  
後、そのまま倒れて咳く

残るは、ほのか・くるみ・そして冷凍銃を持っているなぎさと美希の4人。

その前には6体のハンターが立ち塞がり、逃走成功を阻む。

牢獄

祈里（パイン）「くるみちゃんって、何処に行ってるのかなあ？」  
えりか（マリン）「くるみは…あんまり見かけないわね。」  
せつな（パッション）「此处でくるみが自首なんかしたら、面白くは成りそうだけどなあ…」



牢獄一同」「一同爆笑

くるみ(ローズ)「もうね行かないよあたしは…絶対捕まっちゃうじゃない…」

自ら動かず、危険性を避けるようだ。

なぎさ(ブラック)「狩猟欲って、堪んないわね。アドレナリンが毛穴中から湧き出てるわよ！全身という全身の毛穴から出てるって事は、相当なアドレナリンが出てるのよ！」

美希(ベリー)「ふう…やってようじゃないの！」

エリアには6体のハンター。

残り2丁の冷凍銃を使えば、1丁に付き1体、その数を減らす事が出来る。

ルルン「最高金額って…幾らか覚えているかルル？」

くるみ(ローズ)「270(万円)ぐらいじゃない！？276万円じゃなかったっけ？」

ルルン「276万円だけドルル。」

くるみ(ローズ)「凄いでしょ。そういうのは覚えてるの！(笑)」

なぎさ(ブラック)「もうインパラじゃな…あれ…どうしたのほのか！？」 建物の隙間で倒れるほのかを発見

ほのか(ホワイト)「今…撃ったけど…ゆりさんと奏さんが…安心して居る隙にもう1体来て…やられちゃった…」

なぎさ(ブラック)「えっ…何処に居るの!？」

ほのか(ホワイト)「あんまり攻撃を仕掛けない方が…良いわ！」

なぎさ（ブラック）「えっ…!？」

冷凍銃を使えるのは、1回限りだ。

ほのか（ホワイト）「後15分かあ…」

駐車場近辺で、ハンターを探す美希。

美希（ベリー）「ハンターが居た!…この銃はめっちゃ重いわね…後ろからかけてやるわ!」 遠くに発見したハンターに向かって走り始めた

重い冷凍銃を背負い、ハンターの背後に迫った美希。

走る足音に反応したハンターが振り返るが、その瞬間に冷凍銃を発射。

プシュー 噴射

ハンター…冷凍<sup>フリーズ</sup>

美希（ベリー）「あたし完璧!見たかい皆…結局やる時はやるのよ!」

その様子を上から見ている者が居た。

くるみ（ローズ）「凄いじゃない…ハンターを退治してくれてるわ!」

ルルン「誰がルル?」

くるみ（ローズ）「えっと美希が…」

美希が1体を停止させ、残るハンターは5体となった。

プシュー　空撃ち

なぎさ（ブラック）「何処だハンター！」

最後の冷凍銃を持つなぎさ。

なぎさ（ブラック）「出てこい！」　見通しの良い駐車を歩き  
回る

その後ろ姿をハンターが捉えたが、距離が10mになったところで  
反応し…

なぎさ（ブラック）「来いよ…オリヤーーッ！」

プシュー　噴射

なぎさ（ブラック）「よっしゃあ！」

ハンター…<sup>フリーズ</sup>冷凍

冷凍銃を使い果たした逃走者達。残るは4人。  
ハンターの数も同じく、4体。

佳境・ハンターとの決着・（後書き）

これで、ハンターの数と逃走者が4人になり、終盤戦に突入する。

~~~~~

配役情報？

南野奏（キュアリズム） 〃 田中卓志（アンガールズ）

正直言うと、奏には個人的に大好きな上に、放送日のオンエアでは主役だったので、活躍の場をどうしても与えたかったです。

田中さんにしたのには、本編でも妄想癖があり、一人芝居もしていたりしていることがあるからです。

感謝・ハンター停止後のひと時・（前書き）

前回までの粗筋^{あらすじ}

窮地を抜け出したと思われた奏が、別のハンターに発見されて確保され、残るは4人になった。

そのころ美希は、発見したハンターを、重い冷凍銃を背負いハンターの背後に迫り、冷凍に成功した。その様子は、捕まるのを恐れて隠れていたくるみに、目撃されていた。

そして、なぎさも最後の冷凍銃で、ハンターを冷凍。

残る逃走者とハンターの数が、4人になった。

感謝・ハンター停止後のひと時

ほのか（ホワイト）「後15分…残り4人。最後まで…逃げ切れるのかしら……」

ピリリリリ… ピリリリリ…

美希（ベリー）「誰からかしら…もしもし！」

美希に電話を掛けた相手は…

くるみ（ローズ）「美希！私よ…くるみよ！さっき退治してくれたでしょ！？上から覗いてただけど！」

美希（ベリー）「えっ！？退治してた所を見てたの？」

くるみ（ローズ）「そうよ！凄じじゃない！とっても頼もしかったし、格好良くて尊敬しちゃうわ！」

美希（ベリー）「いえいえ！少しでも…くるみの中で、完璧な奴だったと思って頂ければと思うわ。」

くるみ（ローズ）「本当に有難う！」

美希（ベリー）「なんか…困った事が有ったら、私に連絡をお願い。」

くるみ（ローズ）「分かったわ！」 そう言いながら電話を切る。

美希（ベリー）「くるみにも、可愛い所があるじゃない…格好良かったってさ！」

ゲーム残り時間は、11分30秒を切った。

逃げ切れれば276万円。但し捕まれば0。

美希（ベリー）「さっき上から覗いてたと言ってたけど、どこで見

てたのかしら…」

くるみ（ローズ）「やだなあ…ちょっと逃げよう」 アイランドエリアの建物の中へ

建物の中へ向かうくるみ。しかし、その近くにハンター…

くるみ（ローズ）「やばいなあこの中…」

前方にいたハンターがくるみを発見し、確保へ動いた。

くるみ（ローズ）「いやああ…！！！」 後方から迫るハンターに反応し、走り出す。

ハンターに見付かったくるみは、急いでアイランドエリアから駐車場へ移動しながら、牢獄を通過しながら逃げ続けたが、体力の限界に到達してしまっただらしく…

くるみ（ローズ）「あああっ！」 ポンッ

ゲーム残り時間：10分20秒

賞金：2,512,000円

美々野くるみ（ミルキイローズ） 確保

残り3人

くるみ（ローズ）「く…悔しい！？もうしょうがないよね」 ホントに。いきなり来たんだもん。」

残るは、ほのか・なぎさ・美希の3人。賞金は250万円を超えている。

美希（ベリー）「ラスト…10分…此処から勝負よ！」

感謝・ハンター停止後のひと時・（後書き）

残り10分をきつたが、月村は最後の仕掛けを用意していた。

次回、その仕掛けが明らかとなる。

くるみが捕まり、残るはなぎさ・ほのか・美希の3人。

~~~~~

配役情報？

美々野くるみ（ミルクイローズ） 〃 梅宮アンナ

捕まる危険性から、指令ミツムンに行く気が起きない梅宮さんは、くるみそのものと言っても、過言じゃありませんでした。

投入 - 恐怖のBMX通報部隊 - (前書き)

くるみが確保され、遂に残り3人で10分を切った。

そして、月村が最後の仕掛けを発動する。

## 投入 - 恐怖のBMX通報部隊 -

残る逃走者は、美希・なぎさ・ほのかの3人。  
対するハンターは、4体。

幹部B「なんとか持ち直したようね。」

幹部C「一時はどうなるかと思った」

タイマーが10分を切りだし、月村は宣言する。

月村「残り10分を切りましたが、最後の仕掛けを用意しています。」

月村が最後に、仕掛けたもの。それはハンターの衣装とは違う、黒ずくめの格好をしているBMXに乗っている通報部隊を12人投入することだった。そして、残る逃走者にメールが来た。

プルルルル プルルルル

なぎさ(ブラック)「12体のBMX通報部隊を投入した。」「  
ほのか(ホワイト)「彼等は逃走者を見付け次第、笛を吹きハンターに通報する。気を付けたまえ。」BMXでって…自転車で通報するの!？」

最終通達 通報部隊を回避せよ!

エリアに「BMX通報部隊」が現れた。彼等は3人×4チームに分かれて、エリア内をくまなく搜索。

逃走者の姿を発見次第笛を吹き、ハンターに居場所を知らせる。

牢獄

かれん（アクア）「あっ！」

牢獄一同「あれだ！」

牢獄の面々は、華麗なテクニックを披露している通報部隊の様子を目撃していた。

なぎさ（ブラック）「そんな…12体でしかも自転車に乗ってるなんて…捕まれって言うてるようなものじゃない…ありえない…もう…何処に居るんだBMX（通報部隊）は!？」

BMX通報部隊は、エリア内、全ての場所を搜索。

建物の中も、安全ではない。

ほか（ホワイト）「はあっ…はあっ…怖い…はあっ…来ないで…通報部隊もハンターも、絶対に来ないで…はあっ…はあっ…体力回復中…」

現在エリアには、4体のハンター。

捕まれば此処まで積み上げてきた賞金が、0となる。

牢獄

ゆり（ムーンライト）「もうこうなったら、皆逃げ切ってほしいわね。」

えりか（マリリン）「そうだね。」

祈里（パイン）「でも、逃げ切った後の…美希ちゃんは見たくないわね。」

ラブ（ピーチ）「そうだね。超ウザそう！」

響（メロディ）「それ、同じ仲間が言う事かなあ…」

美希（ベリー）「何度も言わせようとししないで！逃げ切る自信が無いのなら、私はこのゲームには参加しないわ。みんな…見逃さない

ですよ！」

ゲーム時間は残り、7分30秒。

4体のハンターと、12体のBMX通報部隊が、逃走者の前に立ち  
はだかる。

牢獄

ラブ（ピーチ）「ほのかさんだつて、やる気満々だったよ！」

せつな（パッション）「美希は結構強いよ。」

祈里（パイン）「自転車が通らない所に行けば、いいもんね。」

こまち（ミント）「そうね。」

なぎさ（ブラック）「あつ…BMXがいる。」アミューズメント  
ビルから出てきた通報部隊を、コンテナ貨物から覗いた。

逸早く通報部隊の接近に気付いたなぎさ。

「22番」の貨物コンテナの裏に回り込んで、ゲームセンターに逃げ込んだ。  
通報部隊に見付かれれば笛を鳴らされ、ハンターに居場所が伝えられ  
る。

最早逃走者にとって、安全な隠れ場所は…無い。

美希（ベリー）「…！」

通報部隊に気付いて、建物の隙間を移動する美希。上手く回避した  
が油断したところにハンターが接近。

美希（ベリー）「捕まえられるものなら、捕まえてみなさいって話  
よ！」

残り時間を確認していた為…

美希（ベリー）「時間まで…アッ!!」

残り3mでようやく気づき逃走。逃げた先は、隠れ場所も何も無い広い駐車場。

方向転換しハンターから逃れようとするが…

美希（ベリー）「ああッ!!」 ポンッ

通用しなかった。

美希（ベリー）「ああッ…くそっ…悔しい…!!」

ゲーム残り時間：5分33秒

賞金：2,626,800円

蒼乃美希（キュアベリー） 確保

残り2人

美希（ベリー）「やっぱり、恋愛と一緒に、一瞬の油断が命取りとなったのね…勉強になったわ。」

そして牢獄では…

祈里（パイン）「『蒼乃美希 確保』」

牢獄一同「 大歓声

歓声が湧き上がっていた。

残るは、なぎさとほのかの初代コンビ2人。

投入 - 恐怖のBMX通報部隊 - (後書き)

残るはなぎさとほのかの2人。

果たして、通報部隊の搜索を掻い潜り、逃げ切れるのか!?

~~~~~

配役情報?

蒼乃美希(キュアベリー) 〃 井上裕介(NON STYLE)

ナルシスト 気障な態度つながり。井上さんは悪気はなく真面目ですが、勝気なナルシストであるが故に、反感を買ってしまい易く、叩かれ方が半端じゃなかったです。

美希は井上さんの魅力を引き出すには、相応しかったです。

因みに私は、井上さんのああいうのは好きですね。

希望 - 終局へ一直線 - (前書き)

残り10分を切った時に繰り出した、月村の最後の仕掛け。

それは、BMX通報部隊の投入だった。

美希も捕まり、残るは初代組の2人。

ゲームは終盤を迎え始めた。

希望・終局へ一直線・

残る逃走者は2人。

なぎさ(ブラック)「もうこの場に全てを賭ける。」

数々の危機を乗り切り、此処まで逃げ延びたキュアブラックこと美墨なぎさ。

ほのか(ホワイト)「じ…自分がこんなに逃げるとは思わなかったわ…す…凄いわ私。」

果敢に指令に挑み、他の逃走者達を救ってきたキュアホワイトこと雪城ほのか。

4体のハンターが、彼女等の逃走成功を阻む。

なぎさ(ブラック)「もう…このゲームセンターで、最後を迎える決心がついたわ！是で挟み撃ちにあつたらしょうがない！」

ほのか(ホワイト)「慎重に動こう…！…ハンターだ！」

ハンターの接近に逸早く気付き、細い通路の中を慎重に移動するほのか。

その近くに、BMX通報部隊が迫る…

ほのか(ホワイト)「どうしたら…ああっ、BMX(通報部隊)だ！」

ピーッ

通報部隊の笛の音が、ハンターを呼び寄せる。
標的は、ほのかだ。

ほのか（ホワイト）「うっ、ハンターだ！」 建物エリアの螺旋階段を使用していて、ハンターを発見され建物内に折り返す。

建物内へ折り返すも、逃げた先にも別のハンター。
そして、出会い頭に会ってしまった。

ほのか（ホワイト）「きゃあああ！！」 ポンッ

ゲーム残り時間：3分6秒

賞金：2,685,600円

雪城ほのか（キュアホワイト） 確保
残り1人

ほのか（ホワイト）「ああ…捕まった…くっそーっ！！…挟み撃ち
！」 そのまま壁に着く

牢獄では…

祈里（パイン）「ほのかさん確保！」
牢獄一同「あああゝ」 落胆の声

ほのか（ホワイト）「なぎさ…後は頼んだわよ！皆の為に逃げて
」！！」

残るはなぎさ…唯1人。

なぎさ（ブラック）「行くしかないでしょ！私1人でしょ！？これ

を挑戦出来る資格が有るのは…行ってやるわ！絶対に逃げ切ってる！絶対捕まらないから！」

希望 - 終局へ一直線 - (後書き)

遂にほのかも捕まり、残るはなぎさ唯1人。

次回、遂に決着。

~~~~~

配役情報？

雪城ほのか(キュアホワイト) 〃 濱口優(よるこ)

ほのかは、プリキュアの中でも個人的には1番大好き。  
純粹に活躍を描きたかった事が生んだ活躍でした。

「狙われたハンター」編での活躍にもご期待ください。

**逃走終了・ゲームセンター内の決着・（前書き）**

遂にほのかが捕まり、残る逃走者はゲームセンターの中に居るなぎさだけとなった。

そして、「エリア01」での逃走劇に決着が付く。

逃走終了・ゲームセンター内の決着・

ゲームは残り、2分30秒を切った。

そんな時、BMX通報部隊が、ゲームセンターの中へ侵入。

なぎさ(ブラック)「私だって、皆やほのかに助けられて此処まで来たんだし! : やべえBMXが来た! : 此えっ! : 中まで入ってくるのBMXって! ?」

実際はBMXで、ゲームセンターの中に入るのは非常に危険なので、真似をしないで下さい。

通報部隊に見付かれれば笛を鳴らされ、音に反応したハンターが、直ちに確保へと動く。

なぎさ(ブラック)「やばいやばい! ! 中まで入ってこれるの! ?」  
プリクラコーナーの中へ

残り1分45秒! :

逃げ切れば276万円。捕まれば賞金は0。

なぎさ(ブラック)「居た居た居た! ?」 遠くからBMX通報部隊を発見。

ピーッ BMX通報部隊が笛を鳴らす。

なぎさ(ブラック)「ヤバい! !」

何処に逃げても、通報部隊の笛の音が鳴り響き、ゲームセンターの音すらも掻き消してしまう。

牢獄

祈里（パイン）「あと1分よ！」

ほのか（ホワイト）「逃げ切ってー！！」

牢獄の面々は、なぎさの逃げ切りを祈っていた。

なぎさ（ブラック）「くっそー！此処まで来て捕まってたまるか！！」

しかし、ハンターに見付かった。

なぎさ（ブラック）「あつ…ハンター居た！！」

入り組んだゲーム機を使い逃げるなぎさだったが、どんなに走っても距離を縮める事が出来ずに…最早、逃走不可能…

なぎさ（ブラック）「ああつ！！」 ポンッ

ゲーム残り時間：42秒

賞金：2,743,200円

美墨なぎさ（キュアブラック） 確保

なぎさ（ブラック）「あああああああああつ！！…あーくそーー！！うっそーっ！？あ…ありえなーーーーーい！！！」

GAME OVER





逃走終了・ゲームセンター内の決着・（後書き）

遂に全滅してしまったプリキュア達。

だが、逃走劇は終わらなかった。

ゲームマスター・月村も予期せぬ非常事態が、これから始まること  
していた。

~~~~~

配役情報？

美墨なぎさ（キュアブラック） 〃 ゴリ（ガレツジセール）

ほのかを残そうとした時点で、ゴリをやらせました。

やはり体力を兼ね備えているピンクチームを束ねるものとして、活躍を描けたのが凄いです。

というわけで、次回は2週間更新をストップです。

驚愕・ハンターX計画始動 - (前書き)

こうして、なぎさが最終的に確保され、全滅という形で幕を下ろした第1回「逃走中」。

ゲームを終了し、データを管理しようとした月村だが、そこで事件が発生した。

驚愕・ハンターX計画始動・

時は2500年。

地球は人類が生存出来ない環境へと変貌し、人々は宇宙移民船に乗り、月へと脱出。

月面に入植地^{コロニー}を建設し、新たな生活を始めた。

そして2900年。

クロノス社の若き天才科学者・月村サトシが、「逃走中」を開発。

人々を熱狂するゲームとして成功させるが、月村の知らない所で、別の計画が進んでいた。

AI「ゲームデータを保存しますか？」

AIの問いに、月村は「Yes」をタッチした。

ゲームが終了したこともあり、データを管理していたのだ。

AI「セキュリティをかけますか？」

「Yes」に手をかけようとしていたが…

ピピピピピ

掛けてきた相手は、クロノス社の幹部でもあり上司の有明ジョージ

からである。

有明「凄いね、月村君。」

月村「有明さん！」

有明「今日の売り上げは、最高記録だったようだな。」

月村「有難う御座います。」

有明「亡くなったお母さんも、君の活躍をきつと喜んでいるだろうね。」

月村「はい。」

有明「うん…それじゃ、次回も頼んだぞ。」

有明に労いの言葉と、亡くなった母親のことに触れられた月村は、胸からブローチを取り出し中にある飾りを外した。

飾りが外れたブローチから、亡き母の立体映像が現れた。

亡き母の立体映像を眺めながら、思いを馳せつつ決意を漏らした。

月村「必ず誰もが喜ぶ…エンターテイメント 娯楽大会にしてみせる…」

ところが、そこへ緊急事態が発生した。

指令室に警報が鳴り響く中。AIから意外な報告が出された。

AI「ハンターの機密ファイルが複製コピーされました。」

この状況には、月村も驚きが隠せなかった。

何と、管理を中断しセキュリティを掛け終えていなかったデータに、何者かによって侵入され 機密ファイルが複製コピーされてしまったのだ。

月村「複製された！？誰にだ！？」

複製経路を確認する為、すぐにクロノス社のデータにアクセスすると…

月村「何だこれは！？」 ファイルを見て驚愕

AI「ハンターに関する新たなファイルを発見しました。」

その先で「ハンターX計画」と名付けられたファイルを発見。

月村は閲覧しようとしたが、「ファイルブロック」されており、何度も閲覧を試みようとするも、ブロックを掛けられており、AIからは「アクセス出来ません」というメッセージが送られてくるばかりだった。

何者かの手によって複製コピーされてしまった、ハンターの機密情報。

そして、水面下で進行する「ハンターX計画」とは！？

次回、その全貌が明らかとなる・・・

驚愕・ハンターX計画始動 - (後書き)

と言う訳で、「エピソード1 ハンター誕生編」はこれで終了です。

次回からは、江戸の町を舞台に繰り広げられた「エピソード2 狙われたハンター編」が始まります。

今回は主な配役を説明したいと思います。

主な配役（前書き）

というわけで、「エピソード2 狙われたハンター」編のスタートです。

例に倣って、配役の説明です。

エピソード1と同じ用に参加している逃走者は、引き継がれます。

主な配役

・配役引継

川田広樹（ガレッジセール） 〓 美翔舞（キュアイーグレット）

具志堅用高 〓 夢原のぞみ（キュアドリーム）

ゴリ（ガレッジセール） 〓 美墨なぎさ（キュアブラック）

田中卓志（アンガールズ） 〓 南野奏（キュアリズム）

濱口優（よゐこ） 〓 雪城ほのか（キュアホワイト）

・配役変更

小椋久美子 〓 蒼乃美希（キュアベリー）

末吉秀太（AAA） 〓 九条ひかり（シャイニールミナス）

川島なお美 〓 秋元こまち（キュアミント）

杉村太蔵 〓 桃園ラブ（キュアピーチ）

JUNO 〓 日向咲（キュアブルーム）

徳井健太（平成ノブシコブシ） 〓 春日野うらら（キュアレモネード）

東国原英夫 〓 北条響（キュアメロディ）

山根良顕（アンガールズ）（偽逃走者） 〓 来海えりか（キュアマリン）

吉村崇（平成ノブシコブシ） 〓 美々野くるみ（ミルクイローズ）

渡辺直美 〓 東せつな（キュアパッション）

・新規参戦

大山加奈 〓 夏木りん（キュアルージュ）

千紗（GIRL NEXT DOOR） 〓 黒川エレン（キュアミューズ）

矢口真理 〓 調辺アコ（キュアミューズ）

(逃走者側に50音順に紹介)

主な配役（後書き）

どうしてこういう配役になってしまったのは、確保された回のあとがきで説明します。

今回はいよいよゲームスタートです。

オープニングゲームを始めますが、例によって変身と名乗りも披露します。

恐怖のオープニングゲーム(前書き)

遂に逃走劇の始まりです。

伝説の戦士達の活躍をお楽しみに。

恐怖のオープニングゲーム

時は2900年。

巨大企業「クロノス社」で、「逃走中」を操るゲームマスター・月村サトシ。

彼の手によって、逃走劇の舞台が舞台が選択された……。

江戸の町に集められた、17人の逃走者たちが一斉に変身をする。

伝説の戦士である彼女たちが変身をする。それは、ゲームを挑戦する覚悟の表れでもあるのだ。

なぎさ・ほのか「デュアル・オーロラ・ウェイブ！」

ひかり「ルミナス・シャイニング・ストリーム！」

咲・舞「デュアル・スピリチュアル・パワー！」

のぞみ・夏木りん・うらら・こまち・「プリキュア・メタモルフオーゼー！」

くるみ「スカイローズ・トランススレイト！」

ラブ・美希・せつな「チェインジ・プリキュア・ビートアップ！」

響・奏・黒川エレン・調辺アコ「レッツプレイ！プリキュア・モジューション！」

光輝いて伝説の戦士に変身を遂げる少女達。そして、名乗り上げる。

なぎさ（ブラック）「光の使者！！キュアブラック！！」

ほのか（ホワイト）「光の使者！！キュアホワイト！！」

ひかり（ルミナス）「輝く命、シャイニールミナス！！」

咲（ブルーム）「輝く金の花！！キュアブルーム！！」

舞（イーグレット）「煌めく銀の翼！！キュアイーグレット！！」

のぞみ（ドリーム）「大いなる！！希望の力！！キュアドリーム！！」

夏木りん（キュアルージュ）（以後：りん（ルージュ））「情熱の赤い炎！！キュアルージュ！！」

うらら（レモネード）「弾ける檸檬の香り！！キュアレモネード！！」

こまち（ミント）「安らぎの、緑の大地…キュアミント！！」

くるみ（ローズ）「青い薔薇は秘密の印…ミルキイローズ！！」

ラブ（ピーチ）「ピンクのハートは愛ある印！！もぎたてフレッシュ！！キュアピーチ！！」

美希（ベリー）「ブルーのハートは希望の印、摘みたてフレッシュ、キュアベリー!!!」

せつな（パッション）「真っ赤なハートは幸せの証!!! 熟れたてフレッシュ!!! キュアパッション!!!」

響（メロディ）「爪弾くは荒ぶる調べ!!! キュアメロディ!!!」

奏（リズム）「爪弾くは嫺やかな調べ!!! キュアリズム!!!」

黒川エレン（キュアビート）（以後：エレン（ビート））「爪弾くは魂の調べ!!! キュアビート!!!」

調辺アコ（キュアミューズ）（以後：アコ（ミューズ））「爪弾くは女神の調べ!!! キュアミューズ!!!」

プリキュア一同「我等、プリキュアオールスターズ!!!」

彼女達はこれより、恐怖のオープニングゲームが幕を上げる。

響（メロディ）「皆、行くよ!」

響（メロディ）以外「OK!!!」

ハンターボックスまでは30m。

逃走者は一人ずつ前に進み、サイコロ賽子を振らなければならない。

サイコロ賽子には、2と6とハンターの目……。

このハンターの目が出たら、その瞬間ゲームスタート逃走開始。

ハンターが放出され、逃走者に襲いかかる！

成功するには、2〜6の数字を出し、ボックスを16升以上進めなければならぬ。

成功出来れば、ハンター放出まで1分間の猶予が与えられ、安全にゲームを始められる。

アコ「なんか怖いなあ……」

うらら・ラブ・アコ「せーのっ！」 一斉に籤を引く（この時出た数字は、うららは？番・アコは？番・ラブは？番）

賽子を振る順番は、籤引きで決定。全ては運次第だ。

ほのか「ああつ、？番だつて…嘘でしょ……」

先陣を切るのは、『ふたりはプリキュアMax Heart』のキユアホワイトこと雪城ほのか。

なぎさ（ブラック）「ほのか、頑張つて！せめて？出して……」

アコ（ミューズ）「お願いよ！」

ほのか（ホワイト）「OK！！行くよ！！大丈夫……」

他の16人は必死に祈っている。でも、自信が無い方で……。

ほのか（ホワイト）「私つてこういう時、結構出しちゃうかも…でも大丈夫！今日は絶対出さないから！」

でも、みんな応援してくれており、後には引けない。

ほのか（ホワイト）「皆で成功しましょうー！」

少しでも大きな数字を出せば、その分成功に近づく。

なぎさ（ブラック）「遣る時言って！」

ほのか（ホホワイト）「行くよ！」

しかしハンターの目が出た瞬間、恐怖のゲームが始まる。

ほのかは、すべての運命をかけて賽子を振り上げた。

逃走者達は全員で固唾を飲んでた。ハンターの目を出さないように祈っていた。

そして皆が祈る中、賽子は止まった。

出た目は――4。

ほのか（ホホワイト）「やったわ！」

ほのか（ホホワイト）以外「おお」 大歓声

一同がほのかにハイタッチする中、進み出したハンターボックス。
成功に近づく程ハンターも接近し、放出された時の危険が高まる。

アコ（ミューズ）「怖い怖い。近いし！」

なぎさ（ブラック）「もうこんなに…近いなあ…」

成功まで、残り12升。

二人目は、プリキュア達の中では本命の一人。『スイートプリキュア』のキュアメロディこと北条響。

響（メロディ）「じゃあ、行きます！」

是まで、持ち前の明るさと根性で、数々の危機から仲間達を引っ張り、乗り越えてきた勇敢な戦士。

響（メロディ）「大丈夫かなあ、自信ちよつと無いのよねえ……」

なぎさ（ブラック）「何でもう弱気なのよ！？いつものあの台詞よ！」

その手腕を発揮できるのか！？

響（メロディ）「此处で決めなきゃ女が廃る！よし、全力を掛けて行きます！」

ハンターが放出されれば、一番前に居る響は、真っ先に危険に晒される。

響（メロディ）「せーのっ！」 賽子を振り上げた。

ハンターが出ないように祈る中、ついに止まった。

響（メロディ）「……あ、あ……！！やった！」

出た目は…2。

ハンターボックスが更に前進し、放出された時の危険が増してゆく。
成功まで、残り10升。

くるみ（ローズ）「もうヤバいんじゃない!？」

三人目は、響と同じく本命候補。『Yes！プリキュア5 G O G O！』のキュアルージュこと夏木りん。

響同様体育会系の部活を掛け持った際に培った体力と根性で、ビーチでの逃走劇を逃げ切った功績を持つりん。

詳細はリリカルショーバイさんの「プリキュアオールスターズ×逃走中」水面に眠る海神」を見て下さい。

この勝負所で、運を引き寄せられるか！？

りん（ルージュ）「じゃあ、行くよ！」

りん（ルージュ）以外「うん！」

ハンターの目が出た瞬間、ゲームスタート逃走開始。

4体のハンターが解き放たれ、逃げ遅れた者が餌食となる。

勇気を振り絞り、賽子を振ったりん。

皆が心配そうに声が入り混じる中、賽子は止まる。

出た目は…5。

くるみ（ローズ）「凄いわ！なんだか私達の戦いを見せ付けているみたい！」

一同がりにハイタッチをする中で、ハンターボックスが前進。残りは…5升。

これで次の一投で、成功が可能クリアとなった。

なぎさ（ブラック）「もう此処から失敗は許されないからね！次の人は絶対に、5日6を出さなきゃ駄目だからね！」

エレン（ビート）「次は誰かな！？」

ラブ（ピーチ）「次は…舞じゃん！」

舞（イーグレット）「わ…私！？」

この重要な局面で回って来たのは、『ふたりはプリキュア Sprinkle Star』のキュアイーグレットこと美翔舞。

舞（イーグレット）「何だか怖いわ…」

奏（リズム）「頑張つてよ舞さん！」

舞が、5以上出せば成功。^{クリア}

逃走者達は安全に、ゲームを開始出来る。^{スタート}

舞（イーグレット）「行きます！」

咲（ブルーム）「頑張つて！」

但し、ハンターの目を出せば4体が放出。容赦無く逃走者に襲い掛かる！

成功か！？^{クリア}

ハンター放出か！？

舞（イーグレット）「行きます！」

万感の思いを込めて、賽子を振り上げた舞。

一瞬だけハンターの目が出そうになったが、出た目は…2。

一同は危なげな展開に、声を上げずに要られず、ハンターの目が出なかつた事により安堵の表情を浮かべてしまった。

是で、後残り3升。

アコ（ミューズ）「ちょっと待ってよ！これは近すぎるよ！」 近
付くボックスに、次第に表情に怯みが出た。

次の一投で、^{クリア}成功となるか！？

その行方は、『ふたりはプリキュアMax Heart』のシャイ
ニールミナスこと九条ひかりに、全てを託された。

ひかり（ルミナス）「まさか私の番までに、回って来るとは思わな
かつたです。」

なぎさ（ブラック）「大丈夫よ！ひかりなら出来るわ！」

ひかり（ルミナス）「では…頑張ります！」

ひかりが3以上出せば、オープニングゲーム^{クリア}成功。

しかし…この距離でハンターの目を出せば、為す術も無くハンター
4体の餌食となる…

ひかり（ルミナス）「行きますっ！」

響（メロディ）「頑張つて！」

^{クリア}成功か！？

それとも…

ハンター放出か!?

運命の一投を投げたひかり。ある者は成功を信じて祈り、ある者は成功を信じて叫ぶ。

転がっていた賽子は、静かに動きを止めた。

そして、出た目は…

4

プリキュア一同「やったー!」 『全員大喜び』

オープニングゲーム 成功^{クリア}

これでハンター放出まで、逃走者に一分間の猶予が与えられる。

ハンター放出まで：60秒

59…

ボックスが止まり、逃走者達は一斉にハンターボックスから離れた。

何処でスタートするかは、この1分間が運命を分ける!

響(メロディ)「ヤバイよ…1分でハンター来るもん!」 走りながらタイマーを見る。

ラブ（ピーチ）「幸先がいいなあ…」

ハンター放出まで：40秒

少しでも、遠くへ逃げる逃走者達。

4体のハンター放出まで、あと30秒…

美希（ベリー）「怖いなあ…」

アコ（ミューズ）「ちょっと待ってよ！思った以上に隠れる場所が無いじゃない…しかもこの垣根は、私じゃ見えないわ。」

果たしてハンターから逃げ切る者は、現れるのか！？

せつな（パッション）「なんだか怖いなあ…」

恐怖と欲望の逃走劇が、幕を開ける！

10…

くるみ（ローズ）「もう少しで1分よ。」

なぎさ（ブラック）「え…マジ！？ヤバいつて！」

9…

8…

7…

6
⋮

5
⋮

4
⋮

3
⋮

2
⋮

1
⋮

0
⋮
逃走開始ゲームスタート

プシュー 煙と共にハンターが解き放たれる。

ゲームが…始まった…

恐怖のオープニングゲーム（後書き）

最初の内に変身なり口上なりをしていますが、これは彼女達がプリキュアの格好で逃走劇を繰り広げる為に欠かせない行為なので、キャラクターショーで活躍している着ぐるみだと思って見て下さい。

さて、オープニングゲームは成功したプリキュア達^{クリア}。

江戸の町を舞台に、逃げ切る者は現れるのか！？

次回もお楽しみに。

江戸の町は危険がいっぱい!? (前書き)

前回の粗筋^{あらまし}

ゲームマスター・月村の手によって選択された新たな逃走エリアは「江戸の町」。

其処に集められた17人のプリキュアが、^{サイコロ}賽子を振ってハンターの目を出さずにハンターボックスを16升進めるオープニングゲームに挑戦した。

最終的に、ほのか・響・りん・舞・ひかりの活躍で、16升以上進むことが出来、オープニングゲームは成功^{クリア}。

1分間の猶予が与えられ、彼女達はボックスから離れた位置に移動。

そして…ゲーム開始のカウントダウンが始まった。

江戸の町は危険がいっぱい!?

5
…

4
…

3
…

2
…

1
…

0
…
逃走開始ゲームスタート

プシュー　　煙と共にハンターが解き放たれる。

ゲームが…始まった…

奏（リズム）「怖い…遂に始まったわね。」

ほのか（ホワイト）「これ…何て言ったら良いのかしら？溢れるばかりの好奇心…」

ハンターは神出鬼没。

何時何処から現れるか、判らない…

村人A「鼠ねずみ僧が又出たつてよ。」

村人A「ああ聞いた聞いた。」

舞（イーグレット）「『鼠小僧』が出た!？」

なぎさ（ブラック）「鼠小僧だつてさ。…あれ！？でもこの鼠小僧…何処かで見た事が有るような顔だなあ…」
鼠小僧の手配書が書いてある立て看板を見てる

ほのか（ホワイト）「凄い…本物の江戸の町よ！今迄京都の修学旅行で映画村に行った事が有るけど、タイムスリップ時間移動したらこんな感じになるのね。」

逃走劇の舞台は…『江戸』

人で賑わう宿場町や、茂みの多い農村エリアが有る。

広さは、東京ドーム凡そ4個分。

この中を17人が逃げ回る。

美希（ベリー）「何だか凄く活気が溢れているわね。」
宿場町を怯えつつ歩く

常に華麗な姿勢を崩そうとせず、完璧に熟すこな為ならば努力を怠らないキュアベリーこと蒼乃美希。

美希（ベリー）「何だか怖いなあ…」

宿場町を恐る恐る歩く美希の背後に忍び寄る…ハンター…

村人「鼠小僧が出ているだつてさ…」

美希（ベリー）「鼠小僧!？」

徐々に近づく不吉な足音。

しかし美希は、町中の賑わいで気付かない。

そして…ハンターは走り出した。

標的は…ゆっくり歩いている…美希だ。

美希（ベリー）「ちょっと…きゃあっ！」 背後を振り向き、走り出す

不意に後ろを無た瞬間に、走り出すハンターを目撃。

すぐさま逃走したが、突き放す事が出来ずに距離は縮まる。

そしてそのまま為す術を無くし、逃走不可能…

美希（ベリー）「ああっ！」 ポンッ

ゲーム残り時間：77分46秒

賞金：26,800円

蒼乃美希（キュアベリー） 確保

残り16人

美希（ベリー）「ちょっと…怖すぎるんですけど…」

身体能力の高い美希が開始早々…呆気無く脱落^{あっけ}。

美希（ベリー）「いつ見ても…顔が無表情のまま追い駆けて来るんだけど…怖いわ…」

ブルルルル プルルルル

響（メロディ）「？」 着信音が鳴る携帯電話が入っている、左腕のケースに手を入れる

メールだ…

ほのか（ホワイト）「あつ！美希さん…『蒼乃美希 確保』だって…」

アコ（ミユーズ）「えっ…美希が捕まるのって、ちょっと早くない！？」

奏（リズム）「ああっ…行けそうな人がいきなり捕まったよ…」

ハンターから逃げた時間に応じて、賞金を獲得出来る…

それが…

run for money 逃走中

響（メロディ）「『39,000円』凄っ！現実過ぎない…だって数十秒でもう4万円になったし。」腕のタイマーの所にある賞金を眺める

賞金は1秒200円ずつ上昇、逃げ切れば96万円を獲得出来る！

うらら（レモネード）「今回の目標金額は、50万円です。でも場合によっては…体力によっては、自首をしようと思います。」

このゲームでは、自首が可能。

エリア内2か所（武家屋敷付近と忍ヶ原付近）に設置された自首用電話から申告すれば、その時点までの賞金を獲得し、ゲームから脱^{リタ}落^イ出来る。

しかし、エリアには4体のハンター…
捕まれば即失格。
賞金は…0(ゼロ)！

江戸の町は危険がいっぱい！？（後書き）

美希の確保で始まった逃走劇。

そして最初の指令が、次回…発動ミッションされる。

残る逃走者は、16人。

配役情報？

蒼乃美希（キュアベリー） 〃 小椋久美子

今回は前回の出演で活躍を果たした奴程、最初に捕まり易いです。

小椋さんのバトミントンにおける完璧な活躍を見立てたかったので、現実は厳しく、まさか放送を見た時に最初の確保者と成ったのには、驚愕でしたね。

進む！謎の計画（前書き）

宿場町で油断している隙に、ハンターが接近し美希が、開始から3分たって確保された。

だがこれは、江戸の町で巻き起こる逃走劇のまだ序章に過ぎない。

進む！謎の計画

なぎさ（ブラック）「ハンター怖いけどさ…ハンター以外に、もう一人厄介なのが居るのよ…」

なぎさが心底呆れている人物…それは…

のぞみ（ドリーム）「キタ（。。（）！』って思ったらすぐに！すぐにこう入るっ！」 突然左の立て札のある方向へ走る。

のぞみだ…

なぎさ（ブラック）「のぞみの奴…ハンターじゃないのに私を追いかけてくるのよ…しかも大声で…」

なぎさにそう言われてもまったく気にせず、のぞみはよくわからない練習をしている。

おそらく、ハンターが来てしまう事を予期しての練習だと思うのだが…

のぞみ（ドリーム）「キタ（。。（）！』って…！」 今度は右の立て札のある方向へ走る。

無邪気な…リーダー…

のぞみ（ドリーム）「細かく動きたいのよ…」

響（メロディ）「奏と2人で一緒に演奏しようとして新しく買ったピアノが、4、5十万もしたのよ…私ってパパにおねだりして買っ

た訳じゃないから、全部割り勘よ。」

ナッツ「ハンターを見て怖かったかナッツ!？」

こまち（ミント）「皆さん怖いって言うてるけど、まだそんなに怖くなかったわ」

まだまだ余裕を見せる、キュアミントこと秋元こまち。

ハンターはエリア内を汲ま無く搜索。

建物の中も安全ではない。

響（メロディ）「賞金は…ヨーロッパまでの交通費。私のママのバイオリンの演奏を間近で見たいから、飛行機とか宿泊代とかの類にしたいわ。」

賞金はそのまま、バイオリニストである自分の母親に海外で再会するための旅行費用に充てるようだ…

隠れ場所を探すこまちが、民家の中に入った。

こまち（ミント）「ああ、いい匂い。田舎の匂いって感じがするわ…」

嘗て、海辺での逃走劇を制した事で有名な、キュアルージュこと夏木りん。

りん（ルージュ）「優柔不断だったり、ネガティブだったりする事もあるのよ…」

その抜群の身体能力を、今回も生かせるか？

咲（ブルーム）「一番高くて…美味しい料理が食べたいっ！特上力ルビとかがいいな」

余裕の表情を崩したりしない咲。
その後方に…

アコ（ミューズ）「あっ、咲ですね。おい咲！」

なぎさ（ブラック）「やっぱりアコちゃんってあれね…背丈の高い奴に選ぶのね…」 アコと咲が話している場面を遠くで目撃。

咲（ブルーム）「活躍はいつも見ているからね。」

アコ（ミューズ）「えっ、ちょっと嬉しいなあ…ありがとう。」

そのアコと咲の近くに、ハンター……

アコ（ミューズ）「まだ来てないんのね！ここにいようかな……」

咲の後ろに隠れる…（咲の方は手を水平に広げている）

楽しい時間はつかの間だった…

咲（ブルーム）「ハンター居るよ、アコちゃん！」

アコ（ミューズ）「あっホントだ！」

アコと咲が二手に分かれた。

走り始めたハンターが視界に捉えているのは、咲だ…

ソフトボール
軟式野球部のエースとして活動を通して鍛え、水準より高い身体能力を誇る咲…

なぎさ（ブラック）「げっ！！」 咲と追いかけるハンターが向かって来た為、一目散に逃走

巻き添えを食ったなぎさ共々…振り切れるか！？

一方、民家の中に入ったアコは、難を逃れた…

一方咲は農家の敷地の曲がり角を利用し、ハンターの視界から外れた。

アコ（ミューズ）「こっ…怖いわ…」 民家の裏の隙間を動く

最年少プリキュアの味わう、初めての恐怖…

咲（ブルーム）「ヤバイヤバイ！超怖いんですけど！！」

なぎさ（ブラック）「ちよっと何でこっちに来たのよ！？」

見事ハンター振り切った咲。

咲（ブルーム）「だってこっちに来た方が早いと思っただから！」

なぎさ（ブラック）「しっかりしてよ！結構衣装的にも私達は目立つんだからさ！」

ソフトボール
軟式野球で鍛えた腕は…伊達じゃ無い。

エレン（ビート）「ちよっとここで…走ってみようかしら 一回も未だ…全力を出していないし…」

元が猫の妖精であった時代で鍛えた身軽な身体能力を生かして逃げ、^{スイート}組曲の第3戦士。キュアビートこと黒川エレン。

エレン（ビート）「一回も猛ダツシュしてないしね」

一目散に走り始める。

くるみ（ローズ）「何よ！？びつくりした」

その前方に居たくるみが擦れ違い様に驚く。

奏（リズム）「おー、すっごい逃げてきてるのね」

エレン（ビート）「これくらい速かったら大丈夫よね!？」

奏（リズム）「エレン、どうしてそんなにダツシュしてるの？」

エレン（ビート）「…うん、皆にちよつと身軽なのをアピールしたくて、少し猛ダツシュの練習してみたのよ。」

奏（リズム）「そうだったの。怖いじゃない」

エレン（ビート）「別になんともないから大丈夫よ」

奏（リズム）「もう、エレンったら…もしかして私と運命を感じてるの?」

エレン（ビート）「…ううえっ、えっ!?!いや…」

奏（リズム）「もしかして彼氏とかがって出来たの?」

エレン（ビート）「えっ!?!何でそんな質問をするの?」

奏（リズム）「一応訊こうと思ってね。私の中ではある企画が進んでいるのよ。」

エレン（ビート）「どんな企画?」

奏（リズム）「『ハンターX計画』ってのが進んで、『奏恋愛妄想中』ってのも進んでるのよ。この番組は色々同時進行で進んでいる物なのよ。後で色々そういうのを教えてあげるから…」

一方でクロノス社では、ゲームマスター月村がその様子を眺めていた。

遡るは西暦2500年。

地球は人類が生存出来ない環境へと変貌し、人々は月へと脱出。月面に入植地を建設し、新たな生活を始めた。

そして、2900年。

巨大企業クロノス社の若き科学者？月村サトシが、ハンターの開発に成功。

逃走中を開催し、観客を熱狂させていた。しかし前回のゲーム終了後、クロノス社社内にあった『ハンターX計画』という謎のファイルを発見。

月村はそのファイルを開き、ハンターX計画の全貌を突き止めようとした……。

AI「ファイルが開けません。作業を続けますか？」

AIが喋る。画面にはハンターX計画ファイルを開けません。作業を続けますか？の文字。

何とかして計画の全貌突き止めようと「YES」を押したが、出てくる答えは「ERROR」……。

どんなに検索をしてもアクセスは不可能に……

月村「駄目かあ……一体誰が何の為に……？」

すると突然…

ガンツ　　ビルの外で何かが激突

ビルに何かがぶつかった音がした。

驚いた月村はそちらを見る。其処に見えるのは、黒い鳥のような形をしている。

すると突然、黒い鳥のような形をした奴の目が赤く光り、かなり低い声の電子音声が聞こえた。壁にも文字が投影される。

投影された文字には、このように記されていた。

「これ以上ハンターX計画を嗅ぎ回るな。さもなければゲームを妨害する。」

月村一（この計画には、それほど知られたくない秘密が隠されているのか……。）

ゲームを辞める訳にはいかない月村は、脅迫に屈せずハッキングを続行した。

そのころ、クロノス社の別の部屋では…

??「懲りない男だねえ」

クロノス社幹部、有明リョージ。

前回のゲームデータにセキュリティを掛けようとした時に話しかけて来た月村の上司である。

有明「どうなっても知らないよお？」

ピロロロロロ。

電子音が鳴り、画面が今まで眺めていた月村の部屋から切り変わる。

総裁 > 有明。計画の件だが、ハンターの起動方法は分かったか？ <

相手はクロノス社の総裁。

有明「計画は進んでますが、やはり起動方法だけが判りません。」

総裁 > 何か策は考えているんだろうな？ <

有明「はっ。勿論です。楽しみにしてして下さい。」

月村「脅迫には屈しない。ゲームは予定通りに進める。」

こうして、月村は画面にある「NEW MISSION」をタッチした。

そして、逃走者達に新たな指令ミッションを与えた……。

プルルルル プルル

せつな（パッション）「？」

メールだ…

ほのか（ホワイト）「MISSION? …」エリアに2000円・3000円・5000円の賞金単価装置を設置した。『「

こまち（ミント）「『現在2000円の装置に、球が置かれており…』

「
アコ（ミューズ）」「それを他の装置に移動させれば、賞金単価を上げる事が出来る。』…ふうん。」

MISSION? 賞金単価を上昇せよ!

エリアに現れた巨大な球は現在、2000円の装置に置かれている。

この球を動かし、3000円の装置に移動させれば、逃走成功時の賞金が132万円、5000円の装置であれば204万円になる!

但し指令終了時に球を何処にも置けず路上にあると、50円に減額となる!!!

ほのか（ホワイト）「やっぱ5000…5000円まで行きたいわ! 200万よ、動かすしかない!」

のぞみ（ドリーム）「これ行った方が良くない。行かないと駄目よ。」

ドリー「指令はどうするドド?」
響（メロディ）「そりゃ勿論高い方が良くわよ。旅行代は嵩むからさ。」

賞金単価上昇の欲望に駆られる逃走者達。

しかし、動けばハンターに見付かる危険が高まる!

進む！謎の計画（後書き）

脅迫に屈さずゲームを続行しようとした月村の手によって開かれた、
最初の指令。^{ミッション}

球を転がして500円の装置まで辿り着く事が出来るのか！？

次回もお楽しみに。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2056t/>

プリキュアオールスターズ×run for money 逃走中-エピソード1 ハンター誕生

2011年12月11日19時51分発行